平　成　28　年　度　決　算

内部評価結果一覧

加　賀　市

１．平成28年度に実施した事務事業について、内部評価を行った結果は以下の通り。

平成28年度決算　内部評価結果　集計一覧

	拡充	継続	縮小	廃止	合計
最重点事業 （市が特に力を入れている事業）	9	100	1	4	114
重点事業 （継続事業）	8	62	0	0	70
合計	17	162	1	4	184

	優	良	可	不可	合計
公の施設 （市の所管施設）	13	33	2	0	48

総合計　232事業

２．内部評価報告書（個票）の配布場所

・企画課
・議会事務局
・総合案内
・山中温泉支所
・加賀市立中央図書館
・加賀市立山中図書館
・加賀市ホームページ

【行政評価】 事務事業一覧

「第1次加賀市総合計画（後期実施計画） 地域共創プラン」 ベース

Ⅰ．最重点事業

【将来への備え】

A 「健康・福祉」を増進します

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1. 子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます	A	1	01	こども医療費助成事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	1	
	A	1	02	保育園保育事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	3	
	A	1	03	こども育成相談センター運営事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	4	
	A	1	04	学童クラブ運営委託事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	1	
	A	1	05	ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	1	
	A	1	06	放課後子ども教室開催事業	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	2	
	A	1	07	ひとり親家庭医療費助成事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	5	
	A	1	08	子育て応援ステーション運営事業（仮称）子育て世代包括支援センター	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	4	
	A	1	09	（仮称）楽しい遊び場整備事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	1	
2. 医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます	A	2	01	在宅医療介護連携推進事業	地域医療推進室	継続	介護保険特別会計	4	1	2	
	A	2	02	医師招へい推進策事業	医療センター企画経営課	拡充	病院事業会計	1	1	1	
	A	2	03	統合新病院建設事業	医療センター総務課	廃止	病院事業会計	3	1	1	
	A	2	04	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別会計	4	1	2	
	A	2	05	介護サービス事業者振興事業①②	地域包括支援センター	継続	介護保険特別会計	4	1	3	
	A	2	06	地域医療推進事業	地域医療推進室	継続	一般会計	4	1	1	
3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます	A	3	01	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）	地域包括支援センター	拡充	介護保険特別会計	4	1	1	
	A	3	02	地域福祉コーディネート業務委託事業	地域包括支援センター	拡充	介護保険特別会計	4	1	2	
	A	3	03	認知症予防・支援体制構築事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別会計	4	1	1	
	A	3	04	地域見守り支えあいネットワーク事業	地域福祉課	継続	介護保険特別会計	4	1	3	
	A	3	05	配食サービス事業	長寿課	継続	介護保険特別会計	4	1	3	
	A	3	06	通所型介護予防事業委託事業	地域包括支援センター	拡充	介護保険特別会計	4	1	1	
	A	3	07	地域介護予防支援委託事業	地域包括支援センター	拡充	介護保険特別会計	4	1	1	
	A	3	08	高齢者ひとり暮らしふれあいの集い事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別会計	4	1	3	
4. 障がいのある方が「あたりまえ」に暮らせるまちづくりを進めます	A	4	01	じりつ支援協議会運営強化事業	ふれあい福祉課	継続	一般会計	3	1	2	
	A	4	02	理解促進研修・啓発事業	ふれあい福祉課	拡充	一般会計	3	1	2	

B 「都市基盤」を創造します

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1. 市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます	B	1	02	総合防災訓練開催	防災対策課	継続	一般会計	9	1	5	
	B	1	03	災害用備蓄品購入事業	防災対策課	継続	一般会計	9	1	5	
	B	1	04	防災コミュニティスクール推進事業	防災対策課	廃止	一般会計	9	1	5	
	B	1	05	片山津処理区管渠築造事業	下水道課	継続	下水道事業特別会計	2	1	1	
	B	1	06	大聖寺川処理区管渠築造事業	下水道課	継続	下水道事業特別会計	2	1	1	
	B	1	08	老朽管更新事業	水道課	継続	水道事業会計	2	1	3	
	B	1	09	柴山潟浸水対策事業	下水道課	継続	下水道事業特別会計	2	1	1	
	B	1	10	農業集落排水施設整備事業	下水道課	継続	下水道事業特別会計	2	1	3	
	B	1	11	基幹水道構造物の耐震化事業	水道課	継続	水道事業会計	2	1	1	
	B	1	12	導送水施設整備事業	水道課	継続	水道事業会計	2	1	2	
	B	1	13	鉛給水管更新事業	水道課	継続	水道事業会計	2	1	3	
	B	1	14	合併処理浄化槽設置助成事業	経営企画課	継続	下水道事業特別会計	2	1	4	
	B	1	16	防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業	防災対策課	継続	一般会計	9	1	5	
2. 地域間ネットワークの整備を進めます	B	2	01	都市計画道路整備事業	都市計画課	継続	一般会計	8	5	2	
	B	2	02	生活道路整備事業	土木課	継続	一般会計	8	1	1	
	B	2	05	都市計画基礎調査事業	都市計画課	継続	一般会計	8	5	1	
	B	2	06	市道C第590号線外2路線（道整備交付金）	土木課	廃止	一般会計	8	2	3	
	B	2	07	橋梁長寿命化対策事業	土木課	継続	一般会計	8	2	4	
	B	2	08	加賀温泉駅前活性化対策事業	都市計画課	継続	一般会計	8	5	1	
3. コンパクトシティに向けた取り組みを進めます	B	3	01	地域交通対策事業	企画課	継続	一般会計	2	1	8	

C 「ひとづくり」と「まちづくり」を支援します

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1. 各地区の特色を活かした市民との協働のまちづくりを進めます	C	1	01	まちづくり事務局助成事業	地域づくり推進課	継続	一般会計	2	1	12	
	C	1	02	まちづくり活動助成事業	地域づくり推進課	継続	一般会計	2	1	12	
2. 人口減少対策を進めます	C	2	01	空き家バンク構築事業	人口減少対策室	継続	一般会計	8	6	3	
	C	2	02	移住住宅取得助成事業	人口減少対策室	継続	一般会計	8	6	3	
	C	2	03	婚活支援事業	人口減少対策室	継続	一般会計	2	1	8	

D 「行財政改革」を推進します

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1. 行財政改革を進めます	D	1	01	地方公会計整備事業	財政課	継続	一般会計	2	1	5	
	D	1	02	公共施設マネジメント事業	企画課	継続	一般会計	2	1	8	
	D	1	03	行政評価「公開外部評価会」開催事業	企画課	継続	一般会計	2	1	8	
	D	1	04	下水道事業の公営企業会計化移行事業	経営企画課	廃止	下水道事業特別会計	1	1	1	
	D	1	05	道路台帳整備委託事業	土木課	継続	一般会計	8	2	1	

【成長戦略】

E 「産業」の成長と創造を図ります ～「スマートウェルネスKAGA」の推進～

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1. 地場産業の基盤強化を進めます	E	1	02	九谷焼販売促進活動助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	03	伝統工芸等担い手販路開拓支援事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	05	新商品開発助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	06	産学官連携体制構築事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	07	産業人材育成支援事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	08	ロボット研究支援事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	09	ロボレーブジャパン国際大会推進事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	10	山中漆器産地振興対策助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	11	山中漆器祭開催助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	12	山中木製漆器新作見本市開催助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	13	山中木地挽物技術保存会助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	14	石川県伝統産業合同見本市開催助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	16	山中漆器技術マーケット開拓助成事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	17	JAPANブランド育成支援事業「先進国ブランド展開事業」	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	1	18	教育国際大会参加事業	学校指導課	拡充	一般会計	10	1	2	
	E	1	19	商業活性化推進事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
2. 地域資源を活用したメイドイン加賀の展開を進めます	E	2	01	地産地消・6次産業化推進事業	農林水産課	拡充	一般会計	6	1	3	
	E	2	02	食のブランド化事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	E	2	03	企業等顕彰事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
3. 新たな産業の創造に向けた取り組みを進めます	E	3	01	企業誘致推進事業	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	

F 「観光」を推進します

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1. 観光PRの強化を進めます	F	1	01	都市圏出向宣伝事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	02	コンベンション誘致助成事業	観光交流課	拡充	一般会計	7	2	2	
	F	1	03	首都圏プロモーション事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	04	加賀温泉郷情報発信事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	05	「いしかわの観光」企画助成事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	06	ようこそ加賀百万石の旅事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	07	ほっと石川キャンペーン事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	08	石川県の観光と物産展事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	09	首都圏アンテナショップ事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	1	10	観光交流促進事業	観光交流課	拡充	一般会計	7	2	2	
	F	1	11	学生等交流事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
2. 「共創」環境の構築を進めます	F	2	01	観光地ブランド化推進助成事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	2	02	三温泉観光誘客助成事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	2	03	芸妓活動支援事業	観光交流課	拡充	一般会計	7	2	2	
	F	2	04	山代温泉観光地景観保全助成事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	2	05	片山津温泉観光地景観保全助成事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	2	06	温泉地回遊性向上（湯めぐりまち巡り促進）事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
3. 自治体外交を進めます	F	3	01	広域連携事業	観光交流課	拡充	一般会計	7	2	2	
	F	3	02	海外都市交流事業	観光交流課	拡充	一般会計	2	1	14	
	F	3	03	インバウンド戦略事業	観光交流課	拡充	一般会計	7	2	2	
	F	3	04	白山白川郷ホワイトロード片道通行料助成事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	3	06	二次交通（加賀温泉郷リムジンバス）実証運行負担事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	3	07	国際力のある地域づくり事業	観光交流課	継続	一般会計	2	1	14	
	F	3	08	インターナショナルスクール合宿誘致事業	観光交流課	継続	一般会計	2	1	14	
	F	3	09	ジャパンテント受入事業	観光交流課	継続	一般会計	2	1	14	
	F	3	10	ジャパンテントいしかわ開催助成事業	観光交流課	継続	一般会計	2	1	14	
	F	3	11	小松空港・加賀温泉駅シャトルバス増便実証運行負担事業	観光交流課	継続	一般会計	7	2	2	
	F	3	12	国内都市交流事業	観光交流課	継続	一般会計	2	1	14	
4. イベントの戦略的な活用を進めます	F	4	02	伝統文化・芸能伝承の支援事業（古九谷修古祭・山中節全国コンクールなど）	観光交流課	継続	一般会計	10	5	2	
	F	4	04	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業	観光交流課	継続	一般会計	10	5	3	
5.「ガーデン・シティ構想」を進めます	F	5	01	ガーデンシティ構想推進事業	都市計画課	継続	一般会計	8	5	7	

G 「自然環境」を守ります

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1.「ガーデン・シティ構想」を進めます（再掲）	F	5	01	ガーデンシティ構想推進事業（再掲）	都市計画課	継続	一般会計	8	5	1	
	G	1	01	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	生活安全課	継続	一般会計	4	2	2	
	G	1	02	クリーンビーチインかが開催／海岸清掃助成事業	生活安全課	継続	一般会計	4	2	2	
2. ラムサール条約追加登録に向けた取り組みを進めます	G	2	01	ラムサール条約登録範囲拡大事業	環境政策課	縮小	一般会計	4	2	3	
	G	2	02	「ふゆみずたんぼ」普及定着支援事業	環境政策課	継続	一般会計	4	2	3	

H 「教育力」を高めます

施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
1. 教育内容と教育環境の充実を進めます	H	1	01	学校普通教室等冷房化事業	教育庶務課	継続	一般会計	10	3	3	
	H	1	02	学校講堂暖房復旧事業	教育庶務課	継続	一般会計	10	3	3	
	H	1	03	学校トイレ洋式化整備事業	教育庶務課	継続	一般会計	10	2	3	
2. 生涯学習と生涯スポーツの支援を進めます	H	2	01	加賀温泉郷マラソン開催事業	スポーツ課	継続	一般会計	10	6	5	

【行政評価】 事務事業一覧

Ⅱ．重点事業　（継続事業を中心とした主要事業）

政　策	施　策	事業番号			行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備　考
A 産業	1．伝統・地場産業の振興	A	1	01	九谷焼技能後継者奨励費	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
		A	1	04	伝統工芸等担い手工房借上支援事業助成	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
	2．商工業の振興	A	2	01	高校生人材育成支援事業助成	商工振興課	継続	一般会計	7	1	2	
B 人づくり	1．人権教育の推進	B	1	01	人権啓発教育	総務課	継続	一般会計	2	1	16	
	2．男女共同参画の推進	B	2	01	男女共同参画推進事業	地域づくり推進課	継続	一般会計	2	1	13	
	3．市民相互の交流の促進	B	3	01	公民館大会の開催	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	2	
C 健康・福祉	1．健康な心と体の育成	C	2	01	母子保健推進事業	健康課	継続	一般会計	4	1	1	
		C	2	02	健康づくり推進事業	健康課	拡充	一般会計	4	1	2	
		C	2	03	感染症予防対策	健康課	継続	一般会計	4	1	3	
		C	2	04	こころの健康づくり対策事業	健康課	継続	一般会計	4	1	3	
		C	2	05	国保保健事業	健康課	拡充	国民健康保険特別会計	8	1	1	
	2．子育て環境の充実	C	3	01	義務教育の円滑な実施のための学費支援	学校指導課	継続	一般会計	10	6	2	
		C	3	02	奨学金制度の充実	学校指導課	拡充	一般会計	10	1	2	
		C	3	03	子ども会活動への支援	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	2	
		C	3	04	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	継続	一般会計	3	2	1	
		C	3	05	多子世帯児童生徒給食助成事業	学校指導課	継続	一般会計	10	6	2	
	3．高齢者の元気な生活の支援	C	4	01	権利擁護事業	地域包括支援センター	継続	介護保険事業勘定	4	1	2	
		C	4	02	認知症ケア普及事業	地域包括支援センター	継続	介護保険事業勘定	4	1	3	
		C	4	03	屋根雪下ろし助成	地域福祉課	継続	一般会計	3	1	1	
		C	4	04	総合相談事業	地域包括支援センター	継続	介護保険事業勘定	4	1	2	
		C	4	05	老人クラブ育成	長寿課	継続	一般会計	3	1	3	
		C	4	06	いきいき大集合開催委託	長寿課	継続	一般会計	3	1	3	
		C	4	07	シルバー人材センター運営事業	長寿課	継続	一般会計	3	1	3	
D 文化・教育	1．地域の文化の高揚	D	1	01	中谷宇吉郎科学奨励賞	学校指導課	継続	一般会計	10	1	2	
		D	1	02	能楽・茶道活動の推進	学校指導課	継続	一般会計	10	1	3	
		D	1	04	市民文化講演会	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	2	
		D	1	05	文化体験プログラムの充実	観光交流課	継続	一般会計	10	5	3	
		D	1	06	市民文化活動の促進と支援	観光交流課	継続	一般会計	10	5	3	
		D	1	07	九谷磁器窯跡整備事業	文化財保護課	継続	一般会計	10	5	4	
		D	1	08	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化財保護課	継続	一般会計	10	5	4	
		D	1	09	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化財保護課	継続	一般会計	10	5	4	
		D	1	10	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業	文化財保護課	継続	一般会計	10	5	2	
		D	1	12	文化財の適正管理	文化財保護課	継続	一般会計	10	5	4	
		D	1	13	景観保存活動の支援	文化財保護課	継続	一般会計	10	5	6	
		D	1	14	ふるさと学習の推進	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	2	
		D	1	15	景観整備事業	建築課	継続	一般会計	8	5	7	
		D	1	16	町屋再生事業	建築課	継続	一般会計	8	6	2	
	2．教育内容・環境の充実	D	2	03	小学校施設の適正管理	教育庶務課	継続	一般会計	10	2	1	
		D	2	04	中学校施設の適正管理	教育庶務課	継続	一般会計	10	3	1	
		D	2	06	学校用（教師用を含む）パソコンの整備	学校指導課	継続	一般会計	10	2	2	
		D	2	07	指導力向上による学校教育環境の充実	学校指導課	継続	一般会計	10	1	3	
		D	2	08	学校保健の充実	学校指導課	継続	一般会計	10	6	1	
		D	2	09	学校給食施設の適正管理	学校指導課	継続	一般会計	10	6	2	
		D	2	10	学校図書館の充実	学校指導課	継続	一般会計	10	2	1	
		D	2	11	特別支援教育の充実	学校指導課	拡充	一般会計	10	2	2	
		D	2	13	小中学生の教育推進事業	学校指導課	拡充	一般会計	10	1	3	
	3．生涯学習・生涯スポーツの推進	D	3	01	市民スポーツ大会の開催	スポーツ課	継続	一般会計	10	6	5	
		D	3	02	各種スポーツ教室の開催	スポーツ課	拡充	一般会計	10	6	5	
		D	3	03	ニュースポーツ大会の開催	スポーツ課	継続	一般会計	10	6	5	
		D	3	04	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用	スポーツ課	継続	一般会計	10	6	5	
		D	3	05	スポーツ団体の育成支援	スポーツ課	拡充	一般会計	10	6	5	
		D	3	06	スポーツ教室の開催の運営支援	スポーツ課	継続	－	－	－	－	
		D	3	07	スポーツ指導員による指導	スポーツ課	継続	一般会計	10	6	5	
		D	3	08	各地区・スポーツ団体を対象とした体力テスト会の開催	スポーツ課	拡充	一般会計	10	6	5	
		D	3	09	各種活動情報の提供	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	2	
		D	3	10	かがやき市民大学の促進	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	2	
		D	3	11	かもまる講座の充実	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	1	
		D	3	12	蔵書の充実	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	3	
		D	3	13	レファレンス（相談機能）能力の向上	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	1	
		D	3	14	行政資料や郷土資料の充実	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	1	
		D	3	16	自動車文庫・地区巡回サービスの充実	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	3	
	4．青少年の健全な育成	D	4	01	家庭教育の推進	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	5	
		D	4	02	野外活動などの自然体験活動の推進	学校指導課	継続	一般会計	10	1	3	
		D	4	03	いじめ・不登校の解消	学校指導課	継続	一般会計	10	1	3	
		D	4	04	青少年育成センターの充実	学校指導課	継続	一般会計	10	1	3	
		D	4	05	スクールソーシャルワーカー配置事業	学校指導課	継続	一般会計	10	1	3	
		D	4	06	青少年健全育成の推進	生涯学習課	継続	一般会計	10	5	5	
E 都市基盤	1．安全な地域社会の形成	E	1	01	消防施設・設備整備	消防総務課	継続	一般会計	9	1	3	
		E	1	02	消防車両整備	消防総務課	継続	一般会計	9	1	3	
		E	1	03	放水器具購入助成	予防課	継続	一般会計	9	1	3	

【行政評価】 事務事業一覧

Ⅲ.「公の施設」

【原則　対象施設について】

① 市職員（臨時を含む）を配置している施設
② 公募による指定管理者制度導入施設
③ 非公募だが一般市民や観光客の利用に供する施設
（地域活動の拠点となっている施設は除く）

事業番号	事業内容	行政評価用事務事業名	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
A01	A 展観施設	加賀市美術館管理	観光交流課	良	一般会計	10	5	3	
A02		中谷宇吉郎雪の科学館管理	観光交流課	良	一般会計	10	5	3	
A03		北前船の里資料館管理	観光交流課	優	一般会計	10	5	3	
A04		九谷焼美術館管理	観光交流課	優	一般会計	10	5	3	
A05		魯山人寓居跡いろは草庵管理	観光交流課	良	一般会計	10	5	3	
A06		九谷焼窯跡展示館管理	観光交流課	優	一般会計	10	5	3	
A07		深田久弥山の文化館管理	観光交流課	良	一般会計	10	5	3	
A08		山中温泉芭蕉の館管理	振興課	良	一般会計	10	5	3	
A09		鴨池観察館管理	環境政策課	良	一般会計	4	2	6	
B01	B 体育施設	加賀体育館管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
B02		武道館管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
B03		大聖寺グラウンド管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
B04		大聖寺テニスコート管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B05		陸上競技場管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B06		相撲場管理	スポーツ課	可	一般会計	10	6	6	
B07		スポーツセンター管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B08		中央公園体育館管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
B09		山中健民体育館管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B10		山中武道館管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B11		山中弓道場管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B12		中央公園野球場管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B13		山中球場管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
B14		片山津野球場・ソフトボール場管理	スポーツ課	可	一般会計	10	6	6	
B15		グラウンド(山代・動橋)管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	
B16		中央公園テニスコート管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
B17		水泳プール管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
B18		いきいきランドかが管理	生活安全課	良	一般会計	4	1	2	
B19		ゆけむり健康村管理	振興課	良	一般会計	7	2	3	
B20		橋立自然公園運動広場管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	
C01	C 貸館施設	セミナーハウスあいりす管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3	
C02		加賀市文化会館管理	観光交流課	良	一般会計	10	5	3	
C03		山中温泉文化会館管理	振興課	良	一般会計	10	5	3	
C04		山中座管理	振興課	良	一般会計	7	2	3	
C05		はづちを楽堂管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3	
C06		竹の浦館管理	農林水産課	良	一般会計	6	1	3	
C07		ろくろの里施設管理	振興課	良	一般会計	7	1	4	
D01	D 入浴施設	山代温泉総湯管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3	
D02		片山津温泉総湯公園管理	観光交流課	優	一般会計	7	2	3	
D03		山中温泉共同浴場管理	振興課	良	一般会計	2	1	2	
E01	E　屋外施設	瀬越キャンプ場管理	農林水産課	良	一般会計	6	1	3	
F01	F 目的外使用施	高齢者ふれあいセンターみやま管理	振興課	良	一般会計	7	1	4	
F02		高齢者ふれあいセンターゆざや管理	振興課	良	一般会計	3	1	5	
G01	G その他	観光情報センター管理	観光交流課	優	一般会計	7	2	3	
G02		橋立自然公園管理	都市計画課	良	一般会計	8	5	6	
G03		中央図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3	
G04		山中図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3	
G05		高齢者健康プラザ管理	長寿課	良	一般会計	3	1	5	
G06		越前加賀県境の館管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3	

平　成　28　年　度　決　算

内　部　評　価　報　告　書

【最重点事業】

加　賀　市

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A101	事務事業名	こども医療費助成事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	児童家庭係

目的・概要

乳幼児及び児童生徒の疾病の早期診断・早期治療を促進し、健康保持と増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てできる環境を整備する。

実施状況

平成27年10月診療分以降は、助成対象を18歳に達する日以降の最初の年度末までに拡大するとともに、月額の自己負担額を撤廃して、医療機関等の窓口での支払いが不要となる現物給付方式で助成をおこなっている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	131	一般会計	3	2	1	4	2	こども医療費助成費	225,489
②	131	一般会計	3	2	1	2	1	一般経費	1,169
③									
								関連決算額合計	226,658

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、子どもを持つ家庭の経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、少子化対策としての重要な事業である。平成27年10月診療分から、より利便性が高い「現物給付方式」を導入したことにより、子どもの疾病の早期診断、早期治療にとってさらに有効な制度となっており、今後も継続して実施する必要がある。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	こども医療費助成事業

本事業は、子どもを持つ家庭の経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、少子化対策としての重要な事業である。平成27年10月診療分から、より利便性が高い「現物給付方式」を導入したことにより、子どもの疾病の早期診断、早期治療にとってさらに有効な制度となっており、今後も継続して実施する必要がある。
ただし、コンビニ受診による医療機関の混雑や医療費の増大の懸念もあるため、適正受診の啓発を効果的に実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A102	事務事業名	保育園保育事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	保育係

目的・概要

市内に住む就学前の保育を必要とする児童及び必要に応じて市外の児童を公立保育園17カ所、法人立保育園13カ所で受け入れ、保育を実施する。通常保育のほか、延長保育、休日保育、健やかふれあい（障がい児）保育等の特別保育を行う。

保育ニーズの多様化が進む中、家庭での保育が困難な保護者に代わり保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援する。

実施状況

1　通常保育の実施状況（平成28年4月1日現在）

公立保育園（17園）及び法人立保育園（13園）で実施

(1) 公立保育園在籍児童数　718人

(2) 法人立保育園・認定こども園在籍児童数　1，459人　(1)((2)合計　2，177人

2　主な特別保育の実施状況

(1)　延長保育

通常の保育時間を超えた保育を実施。　実施箇所数：公立・法人立保育園全園

(2)　休日保育

日曜・祝日に保護者の就労等のため児童を保育する法人立保育園に補助。　実施箇所数：4園

(3)　病児病後児保育

病時・病気回復期にある通園児童を対象に、加賀市医療センターにある専用施設で保育を実施。

(4)　健やかふれあい保育

軽度・中度障害児を保育する法人立保育園に補助。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	135	一般会計	3	2	3	1	1	職員給与費	500,889
②	135	一般会計	3	2	3	1	2	臨時職員給与費	177,647
③	135	一般会計	3	2	3	2	1	嘱託医報酬費	3,073
④	135	一般会計	3	2	3	2	2	保育教材費	442
⑤	135	一般会計	3	2	3	2	3	その他運営費	105,964
⑥	135	一般会計	3	2	3	4	1	保育実施費（17園）	67,269
⑦	135	一般会計	3	2	3	5	1	保育推進事業費	203
⑧	135	一般会計	3	2	3	5	2	市立保育園特別保育費	949
⑨	135	一般会計	3	2	3	6	1	保育実施費（13園）	1,522,477
⑩	135	一般会計	3	2	3	7	1	特別保育助成費	43,715
⑪	135	一般会計	3	2	3	7	2	経営安定助成費（13園）	28,873
								関連決算額合計	2,451,501

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	子育てを取り巻く環境が大きく変化する中で、保育ニーズの多様化が進展している。こうした状況の中、本事業の実施により、安心して子育てができる環境を提供し保護者の仕事と子育ての両立を支援することができることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	保育園保育事業

安心して子育てができる環境を提供するため、多子世帯を中心に保育料の無料化を進めてきている。平成29年9月からは、所得状況に関わらず2人以上の児童が同時に保育園等に入園する場合の第2子を対象に、無料とすることとしている。

今後も、多様化する保育ニーズに適した保育サービスの提供と質の向上に努め、子育て環境の一層の充実を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A103	事務事業名	こども育成相談センター運営事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	こども育成相談センター

目的・概要

子どもの心身の健全な発達を総合的に支援するため、発達に支援が必要な乳幼児(おおむね1歳から18歳まで)に、専門的な相談、助言及び訓練等を実施する。

実施状況

・発達に遅れや障害のある子どもに、保護者と一緒に個別指導、小集団指導、音楽療法教室で乳幼児支援を行った。
　また、電話やことばの相談及び外来相談により保護者の育児不安の相談を受けたり、ケース会、学習会、学校見学会等を実施し、保護者の支援を行った。
・総合的な相談に応じるため、保育士以外に、保健師、専門指導員（元教員）、臨床心理士の専門職を配置している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	131	一般会計	3	2	1	1	1	職員給与費	
②	139	一般会計	3	2	4	4	1	臨時職員給与費	11,175
③	139	一般会計	3	2	4	4	1	運営費	700
④	139	一般会計	3	2	4	4	2	光熱水費	1,360
⑤	139	一般会計	3	2	4	4	3	管理委託費	498
⑥	139	一般会計	3	2	4	4	4	その他管理費	757
⑦	139	一般会計	3	2	4	4	5	維持補修費	512
⑧	139	一般会計	3	2	4	2	4	施設整備費	3,294
								関連決算額合計	18,296

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・保育園、学校・健康課等の関係機関との連携を密にすることで、療育を必要とする子どもの早期把握と支援につながっている。また、障がい保育の質の向上を図るために、発達の遅れや障がいのある子どもを支援する保育士の研修を継続的に実施している。 ・保育士以外に専門職（保健師・教員OB・臨床心理士）が配置され、総合的な支援を実施している。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	こども育成相談センター運営事業

平成27年度4月に、「こども育成相談センター」が開設され、発達支援の対象年齢が、乳幼児（概ね1歳から小学校に就学する前まで）から、18歳未満までに拡大された。
今後さらに、福祉・保健・教育関係機関との連携強化を図り、相談支援・発達支援・情報提供などの包括的な支援を成長段階（小・中学校等）に応じて、切れ目ない支援体制構築が重要である。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A104	事務事業名	学童クラブ運営委託事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	児童家庭係

目的・概要

共働き等により、日中、家に保護者等がいない児童等に対して、放課後や長期休暇中において、家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、学童クラブの運営を保護者会や社会福祉法人等に運営を委託する。

実施状況

学童クラブは、学校の余裕教室等を利用して市内23箇所で開設しており、運営は保護者会や社会福祉法人等に委託して実施している。
「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、平成27年度からは対象児童を小学校6年生までに拡大し、平成28年度は745人の登録があった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	131	一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	129,643
②									
③									
								関連決算額合計	129,643

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	学童クラブは、児童福祉法で、着実に実施されるよう必要な措置の実施に努めなければならないとされており、地域のニーズに応じた保育サービスを提供している。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学童クラブ運営委託事業

各学童クラブに対し、「加賀市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」に基づく運営を求める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A105	事務事業名	ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	児童家庭係

目的・概要

ひとり親家庭の生計を担う父又は母が、安心して就労に専念し、子育てと仕事を両立できるように、放課後児童クラブ利用にかかる経済的負担を軽減し、児童の健全な育成を図るとともに、ひとり親家庭の就業の促進及び福祉の増進に資することを目的とする。

実施状況

ひとり親家庭が負担する放課後児童クラブ利用料に対する助成（県1/2、市1/2）

限度額　小学1～6年生の児童1人当たり3，000／月

支給制限等　児童扶養手当と同様の所得制限あり

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	131	一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	1,637
②									
③									
								関連決算額合計	1,637

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ひとり親家庭の親が、制度を活用しながら就労し、仕事に専念できることで、子育てと仕事の両立による経済的自立につながる支援となっている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成事業

ひとり親家庭の就労による経済的自立の促進を図るために、今後も放課後児童クラブ利用料の軽減により、ひとり親家庭の児童が放課後児童クラブを利用しやすくすることで、就労に専念できる環境の整備を行う。
また、制度の周知の方法についても工夫をこらし、更なる利用につなげる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A106	事務事業名	放課後子ども教室開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

放課後や土曜日等に子どもたちの安心安全な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、学習や地域での特色ある体験活動や交流活動、スポーツ・文化活動を通じて、豊かな人間性や社会性・自由性を育み、思いやりのある子どもを育てる。

実施状況

市内の8団体が地域の大人の参画を得て、地域の特性を生かして子どもたちに様々な体験を通じて社会性・自主性・創造性などの豊かな心を育み、地域でのコミュニティの充実を図っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	163	一般会計	10	5	2	3	2	豊かな心育成費	2,089
②									
③									
								関連決算額合計	2,089

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市内8か所で教室を実施し、放課後や土曜日等の子どもの安全安心の居場所づくりとして、様々な体験活動やふるさと学習、交流活動の取り組みを推進し、コーディネーターや地域住民の参加・協力のもと、円滑に事業を進めることが出来た。また、「まちの先生」派遣制度を設け、内容の充実を図っている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	放課後子ども教室推進事業

土曜日等の教育活動と、放課後子ども教室の実施個所を増やすとともに、土曜日の学習スクールを実施している学校指導課との連携を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A107	事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	児童家庭係

目的・概要

ひとり親家庭の医療費にかかる経済的負担を軽減し、ひとり親家庭の福祉の向上を図る。

実施状況

助成対象は18歳に達する日以降の最初の年度末までの児童又は20歳未満で一定の障害状態にある児童を養育しているひとり親及びその児童。
親は「償還払方式」で助成申請の手続きにより1ヶ月1,000円を超えた分について助成を行う。また児童については、自己負担のない「現物給付方式」で助成を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	140	一般会計	3	2	5	2	1	ひとり親家庭医療費助成費	32,013
②	131	一般経費	3	2	1	2	1	一般経費	1,649
③									
								関連決算額合計	33,662

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	医療費はひとり親家庭にとって重い経済的負担である。本事業は経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、安心して子育てしながら生活することができる環境づくりが必要なことから、継続して実施する。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業

今後の方向性

医療費はひとり親家庭にとって重い経済的負担である。ひとり親家庭医療費助成の実施は、経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、安心して子育てしながら生活することができる環境づくりが必要なことから、継続して実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A108	事務事業名	子育て応援ステーション運営事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	子育て応援ステーション

目的・概要

・一人ひとりの子どもが健やかに成長することが出来る地域社会の実現のため、子ども及びその保護者等、妊娠している方がその選択に基づき、教育、保育、保健、その他の子育て支援を円滑に利用できるよう、必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくりを行うことを目的とする。
・妊娠期から子育て期（おおむね0歳～18歳）の子育て家庭を対象に、専門スタッフ（保健師・保育士・社会福祉士・家庭相談員等）が相談・支援を行う「ワンストップ相談窓口」として、母子保健と一体的に切れ目のない相談や支援を行う子育て世代包括支援センターを開設し、運営する。

実施状況

・開設記念講演会やリーフレット等の作成を行い、相談窓口等の周知・広報の実施。
・電話・来所による問い合わせや相談を受け、個別のニーズに合わせて助言・情報提供・継続的支援を実施。
・相談実人数　298人、相談延べ2,089件
・地域の関係機関との連絡・調整や必要に応じた支援者会議を開催し、連携協働のもと支援を実施。
・要保護児童等の通告・相談窓口でもあり、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、関係機関との連携を図りながら相談・支援を実施。
・子育て情報紙の発行（毎月）や子育て情報の発信等を実施。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	131	一般会計	3	2	1	3	8	(仮称)子育て世代包括支援センター開設準備費	662
②	139	一般会計	3	2	4	5	1	運営費	3,304
③									
								関連決算額合計	3,966

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・妊婦や子育て世帯への、子育て安心パッケージ等子育てに関する情報提供及び、支援が必要な方には継続した相談、支援を行うことで、子育て環境の安心・安全に努め、育児等の不安軽減を図り、しいては加賀市で産み育てたいと思えるように努めている。虐待に関しては、保育園や学校等、地域の関係機関との連携・協働を図りながら、迅速な対応に努め、要保護児童等の相談や支援を継続的に行い、虐待防止に努めている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	子育て応援ステーション運営事業

・今後、現代の子育て家庭をめぐる環境の変化（貧困や養育困難等）に伴い、不安感や孤立感を感じている方が増え、様々な個別のニーズに応じて子育てのサービスを提供したり、相談や支援を行っていくことが求められている。妊娠期から子育て家庭のニーズに寄り添い、継続的に相談支援を行い、地域の関係機関のネットワークを構築し、安定した親子関係を築くことが必要であり、また、そのために必要な子育てサービスを構築していく必要がある。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	1.子どもを産み育てたいと思われるまちづくりを進めます			

事業番号	A109	事務事業名	（仮称）楽しい遊び場整備事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	保育係

目的・概要

市内に遊び場が少ないとの保護者などの声を受けて、小さい子どもたちが天候に左右されず、安全に遊べ、駐車スペースが十分確保されるなど、子育て世代のニーズに対応した「魅力ある楽しい遊び場」を整備する。

実施状況

1．加賀市「楽しい遊び場」構想　基本計画の策定（1，210千円）
「魅力ある楽しい遊び場整備事業の実現に向け、健康福祉審議会こども分科会に専門部会を設置し、遊びと現状、基本方針、対象年齢、候補地の現状、保護者等の意見、必要な機能・設備・ゾーニング・遊具の種類・配置計画等の審議を経て、「屋内遊び場」と「屋外遊び場」を整備するための基本計画を策定した。

2．加賀市「楽しい遊び場」整備に伴う実施設計業務等の実施（9，234千円）
上記、基本計画をもとに、耐震補強・遊具・空調設備設置等を含む、中央公園体育館の大規模改修工事のための実施設計を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	131	一般会計	3	2	1	3	9	(仮称)楽しい遊び場整備事業費	10,444
②									
③									
								関連決算額合計	10,444

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本市の「子どもの遊び場環境」については、小さい子どもたちが天候に左右されず、安心して遊べる遊び場が少なく、中央公園体育館を活用し、屋外の遊び場と一体的に利用できるなど、これまでに市に無かった施設となることから、未来を担う子どもたちのためには必要なことであり、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	（仮称）楽しい遊び場整備事業

実施設計に基づき当初予算に工事費等を計上した。中央公園体育館を屋内遊び場としてリニューアルする「（仮称）楽しい遊び場整備工事」として、建築・遊具設備・機械設備・電気設備の工種で発注を行い、本年度中の完成、平成30年4月オープンを目指す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	2.医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます			

事業番号	A201	事務事業名	在宅医療介護連携推進事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	長寿課 地域医療推進室	係	

目的・概要

疾病を抱えても、市民誰もが自宅等の住み慣れた生活の場で療養しながら、自分らしい生活を続けられるためには、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供することが必要である。このため、市が中心になって、医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を図ることで、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築する。

実施状況

・加賀市医療センターの開院に併せ、在宅医療にかかる相談を受け付けサポートする体制を構築するため、地域連携部門に在宅医療コーディネーターを配置し「医療と介護の連携に関する相談窓口」を設置した。平成28年度の相談件数は32件である。また、医療依存度の高い在宅療養患者のケアマネジメントにおける悩みや医療と介護の連携における課題等を把握し、今後の取組に活かす観点から介護事業所への訪問（ヒアリング）を行った。
・市民向けにかもまる講座、健幸長寿講座等を通じて在宅医療の周知啓発を実施。
・ICTを用いた医療と介護の連携体制の導入、実証について、医師会等と調整を進めている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	300	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	3,713
②									
③									
								関連決算額合計	3,713

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えた地域包括ケア体制の構築を行うため、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要であり、市が中心となって、地域の関係機関の連携体制の構築をすすめることから継続が必要と認める。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	在宅医療介護連携推進事業

在宅医療・介護連携推進事業は、平成27年度から介護保険の地域支援事業に位置づけられているところであり、引き続き地域の医療・介護関係機関の連携体制の構築を推進する。
加賀市医療センターの「地域連携センター つむぎ」を在宅医療・介護連携の相談支援窓口とし、在宅療養患者に関わる介護系職種を医療面でサポートするため、在宅医療コーディネーターを配置した。今後はコーディネーターに寄せられた相談事例から介護と医療との連携の課題を抽出し、関係者と協議する等対応策を進めると共に更なる在宅医療の推進に向けて、市内の訪問看護の提供体制の現状や医療機関、他の介護サービス等との連携上の課題等を把握し、これからの取組に生かしていく。
同業種・多職種の顔の見える関係を構築出来るよう継続的に勉強会等を行っていき、市民・医療機関・行政の相互理解・連携を促進していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	2.医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます			

事業番号	A202	事務事業名	医師招へい推進策事業		
所管部局	医療センター　管理部	所管課	企画経営課	係	企画係

目的・概要

地域に必要とされる医療を安定的に提供するとともに、医療の質の向上を図るため、医師の招へいを長期的・継続的に実施する。また、働きやすく働き甲斐のある職場環境づくりへの取り組みにより、継続した人材確保の実現を目指す。将来的には43名以上を目指す。

実施状況

医師の派遣を受けている金沢大学・金沢医科大学・福井大学医局との関係強化のため、各科教授等との面談を年間を通じて実施した。29年度から常勤医1名の増員を頂くほか、年間を通じて週4枠当直医の派遣を受け、常勤医の当直回数は月3回以下という目標を上回る2．6回に出来た。職員向けアンケートの結果では、医師の勤務環境に対する満足度は他の職種を上回っており、医師の手当制度を改善したこと、研修に係る費用負担の強化を図ったことなども要因と考えられる。今後、当院を勤務先として選んで頂ける可能性が高まる良い傾向と考えている。

また、将来を担う優れた医療人を育成する病院を目指しており、自治医科大からの短期臨床研修医を8名を受入れ、丁寧な指導と豊富な救急症例で好評を得ている。金沢大学医学部生の実習も6名受入れた。29年度は金沢大学から長期の臨床研修医1名を受入れることが決定している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	―	病院事業会計	1	1	1			給与費	65,850
②	―	病院事業会計	1	1	3			経費	1,207
③	―	病院事業会計	1	1	6			研究研修費	1,703
								関連決算額合計	68,760

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	本事業は、加賀市医療センターが市内唯一の急性期病院として、地域に必要とされる医療を安定的に提供し、更に医療の質の向上を図るため必要であるから、今後も継続して実施する必要がある。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	医師招へい推進策事業

上記のことから、今後も継続して実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	2.医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます			

事業番号	A203	事務事業名	統合新病院建設事業		
所管部局	加賀市医療センター	所管課	管理部総務課	係	総務係

目的・概要

救急医療をはじめとした医療提供体制の問題を解決することを目的として、加賀市民病院と山中温泉医療センターを統合し、急性期医療と救急受入れ機能を強化し地域の中核病院となる統合新病院を建設する。

実施状況

平成28年度事業としては、平成28年4月1日に旧2病院から新病院へ患者移送を行った。また開院後に移設予定となっていた機器備品の移設を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	病院事業会計	3	1	1			統合新病院建設事業	98,373
②									
③									
								関連決算額合計	98,373

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	廃止

評価に関するコメント

平成28年度事業として、入院患者の移送は事故もなく無事完了できた。
機器備品類の移設は予定通り4月末日までに完了した。
なお加賀市医療センター開院後は、4つの基本方針（①信頼される最適な医療を提供する ②救急搬送をことわらない体制を目指す　③将来を担う優れた医療人を育成する　④地域に根付いた医療を実践する）を遂行した。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	医療機能向上推進事業

平成28年度をもって統合新病院建設事業は完了した。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	2.医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます			

事業番号	A204	事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	包括支援係

目的・概要

多様な生活課題を抱えている高齢者等が地域で安心してその人らしい生活を継続するためには、本人の身体的機能や能力、それまでの暮らしや地域でのかかわりを活かし、本人の課題に応じてあらゆる社会資源等を適切に活用する、包括的及び継続的にケア支援を行うことが必要となる。
そのために介護支援専門員等を支援し、包括的・継続的ケアマネジメントの実践や、支援の質の向上を図るとともに、その支援をとおし地域課題の把握や環境面の整備促進を図る。
①介護支援専門員の相談窓口を設置　②ケアマネジャー連絡会開催の後方支援
③困難ケース検討会、個別地域ケア会議の開催の後方支援　④目標設定会議・モニタリング会議の開催
⑤主任介護支援専門員勉強会の開催

実施状況

①介護支援専門員の相談窓口を設置し、電話および来所等により随時相談を受け付けている。
②ケアマネジャー連絡会（加賀市介護サービス事業者協議会事務局）の内容や課題などについての提案。
③困難ケース検討会や個別地域ケア会議開催において地域包括支援センターは、ケースの課題整理と方向性を確認するための事前打ち合わせや司会等役割を担い支援している。
④要支援者の自立支援につながるための個々のケアプラン・支援方針の検討の場として、担当介護支援専門員、サービス事業者、外部有識者、市職員により開催。同事業所の主任介護支援専門員も同席し、事業所内でのスーパーバイズ機能の強化につなげた。
⑤主任介護支援専門員勉強会として、それぞれの課題に対し、グループごとに計画立案し、取り組みをを行いその取り組み成果の報告を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	300	介護保険特別会計	4	1	2	1	4	包括的ケアマネジメント支援事業費	1,128
②									
③									
								関連決算額合計	1,128

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

・随時相談を受け付けているため、高齢者虐待疑いケースの早い段階での相談や報告がある。必要時関係者を招集したケース検討会により対策を議論し、未然に防ぐことが出来ている。
・地域での暮らしを支えるために、専門職だけではなく、本人、家族をはじめ本人を取り巻く地域の関係団体、住民等と相談し合う「個別地域ケア会議」を随時開催した。
・自立支援型ケアマネジメントの強化として目標設定会議・モニタリング会議の開催により、改善可能性やつながりを活かした支援を行い、介護保険サービスを終了し、生活ができたケースがあった。
・主任介護支援専門員勉強会を通して、主任介護専門員の役割理解や知識技術の習得機会となった。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業

・随時相談では高齢者虐待疑いケースの相談や困難ケースの相談がある。主任介護支援専門員勉強会では相談体制の確立のために核となる主任介護支援専門員に対し、権利擁護の視点や世帯支援の視点についても学ぶ機会が得られるように、4回コースで実施する。
・目標設定会議を月2回開催し、担当介護支援専門員だけでなく、同事業所の主任介護支援専門員及び管理者が同席することで、事業所内でスーパーバイズ機能の強化につなげる。また、利用している介護サービス事業所職員も参加していることから、チームケアとしての視点の強化にもつなげていく。検討内容がどのようにケースに活かされたのか確認するために、半年後にモニタリング会議を開催する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A205	事務事業名	介護サービス事業者振興事業①②		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	包括支援

目的・概要

本事業は加賀市で暮らす高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続することができるようにするため、介護保険サービス事業所の資質向上を通じて介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、本人本位の視点に基づいた支援を行うことを目的とする。

さらに、介護保険サービスを必要とする利用者に、真に必要とする介護保険サービスを事業者から適切に提供されるよう、介護給付費の適正化を図り、給付費増大等の抑制につながることを目的とする。

そのために、介護保険サービス事業所従事者に求められる本人本位の視点に立った支援の質の向上を図る。また、事業所のリーダーを養成することで、ケアチームとしての質の向上を目指す。各研修を通して、事業所間の交流も促進し、それぞれの事業所の地域生活支援の協働した取組みを助長する。

実施状況

①介護サービス事業者連絡会議の開催、サービス形態ごとの連絡会、研修会の開催、高齢者捜索ネットワークに関すること、その他、介護（予防・総合事業）給付等に要する費用の適正化のために必要な事業を実施する、ケアの質の向上のための調査・研究を加賀市介護サービス事業者協議会に委託して実施。
②要介護認定の適正化のため、給付費通知・ケアプラン点検等にかかる事務を行う。
③介護保険事業所中堅職員向け研修の実施（年9回1コース）座学、事例検討、課題レポート等の実施。（平成26年度まで各々で行っていた研修内容を見直し体系化したもの）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	300	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	1,069
②	301	介護保険特別会計	4	1	3	1	1	介護給付費等費用適正化事業費	7,765
③									
								関連決算額合計	8,834

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	①加賀市介護サービス事業者協議会に委託し、サービス形態ごとの連絡会や研修会を開催することで、各事業所が質の向上に取り組んでいる。 ②介護給付費通知をを行うことう事で、利用者に受給したサービスを再認識してもらい、事業所の介護報酬の不正請求に対する抑止力につながる ③平成27年度に研修体系を見直し、介護保険サービス事業所の次期リーダーを対象とした中堅職員向け研修として、実践力を高めるために実施した。チームでの考える力や地域への働きかけへの実践に重きを置いた結果、研修が終了しても、ケース支援において、事業所間で連絡を取り合い相談できる体制ができている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	－

加賀市介護サービス事業者協議会委託の事業に関しては、実情を把握しながら地域包括支援センターが把握している課題も含めて、意見交換しながら、主体的に事業者団体として市民のために質の向上を目指せるよう継続して後方支援する。

給付適正化としてもシステムの活用を始め、定期的に給付費通知を行うことで安易なサービス利用につながらないよう適正利用を推進する。また、他事業で要支援者のケアプラン検討の場である「目標設定会議」を活かし、ケアマネジャーや介護サービス事所にも個別のケースごとに適正化の視点でのアドバイスを引き続き行っていく。

中堅職員研修は、専門職の実践力の向上のため、人材育成として継続していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	2.医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます			

事業番号	A206	事務事業名	地域医療推進事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	長寿課 地域医療推進室	係	

目的・概要

地域の医療に関する市民・医療機関・行政の役割の相互理解・連携を促進し市民が安心して暮らせる地域医療体制の充実を図る。

実施状況

加賀市医療提供体制基本構想の推進に係る調査検討と地域医療の充実を図るため、地域医療審議会を継続的に開催している。また、救急医療について、関係者で救急医療の状況について認識を共有しながら、継続的に救急医療懇話会を開催している。
かもまる講座、健幸長寿講座等で救急医療の現状や地域医療を守る条例の周知啓発を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	129	一般会計	4	1	1	7	1	地域医療推進費	932
②	129	一般会計	4	1	1	8	1	地域医療審議会費	377
③									
								関連決算額合計	1,309

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市の医療提供体制を中長期的に持続するためには、加賀市医療センターの建設による急性期医療資源の集約にとどまらず、昨年度策定された地域医療構想、今年度策定される次期石川県医療計画をふまえ、慢性期病院、診療所、介護サービスまでを含めた役割分担を行う必要があり、状態に応じた適切なサービスを提供する体制を整備する必要があることから、地域医療推進事業の継続が必要と考える。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	地域医療推進事業

今後も救急医療懇話会で救急医療の現状認識の共有を図り対応策等を協議していく。
市民の地域医療を守る取組活動として、かかりつけ医を持つことの推進や在宅医療の理解についての市民向けの講演会や、加賀市ホームページ等にて啓発等を行っていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A301	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	介護予防

目的・概要

要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、従来の予防給付として提供されていた介護予防訪問介護、介護予防通所介護を、市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業に移行し、要支援者等の自身の能力を最大限生かし、住民等が参画する多様なサービスを総合的に提供する支援体制を構築する。

実施状況

介護予防・日常生活支援総合事業（以下総合事業）を国が早期移行をすすめたこともあり、予定していた平成28年4月より1か月早め、平成28年3月から開始した。事業開始にあたり、総合事業検討会を重ね平成28年4月には、家事支援サポーター（家事支援サポーター養成講座を受講した地域住民）による訪問型サービスBを実施した。

また、介護予防ケアマネジメント事業と連動し、目標設定会議で本人のニーズの確認、改善可能性も含めた支援のあり方について検討している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	298	介護保険特別会計	4	1	1	2	1	介護予防・生活支援サービス事業費	163,347
②	298	介護保険特別会計	4	1	1	2	2	介護予防ケアマネジメント事業費	19,488
③	298	介護保険特別会計	4	1	1	2	3	審査支払手数料	412
								関連決算額合計	183,247

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

介護認定の手続きをすることなく、基本チェックリストで生活状況の把握をおこない、アセスメントに応じて総合事業のサービスを利用できることで、高齢者本人が、必要時タイムリーに利用が出来る仕組みになっている。

家事支援サービスの開始により、訪問介護と家事支援サポーターとのサービス内容において整理ができた。また、家事支援サポーターは、元気高齢者の活動の場としても位置づいている。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業、介護予防マネジメント事業）

平成29年9月より、基準緩和による通所型サービスAを実施することで、全国一律のサービスではなく、市の実情や利用者の状態像に応じた多様なサービスを提供を目指している。

総合事業は、この事業だけでなく、一般介護予防事業や生活支援サービス、ケアマネジメントと連動して行われて初めて、高齢者の介護予防や生きがい、役割創出の役割を担えると考える。そのため、今後より良い体制に向けてサービスの在り方を継続的に検討していく。

ケアマネジメント事業からの課題においては、通所型サービスや訪問型サービスにフィードバックし、サービス内容等あり方において検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A302	事務事業名	地域福祉コーディネート業務委託事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	包括支援

目的・概要

高齢になってもこれまでの暮らしを継続するためには、一人ひとりの生活に応じたかかわりが大切で、世帯単位でのかかわり(家族介護支援)や友人や知人の関係が途切れることがないような支援を充実していく必要がある。

そのため、より身近できめ細やかな高齢者の見守りや相談、支援等を効果的に行うため、地域で相談を受ける窓口となる「地域包括支援センター窓口(ブランチ)」と友人やご近所、世話焼さん、地域団体、ボランティア等といった支援の担い手とのコーディネートや地域福祉活動の後方支援等を行う「地域福祉コーディネート」の機能を併せた体制を構築する。

地域福祉コーディネート業務は、地域の世話焼きさんやボランティア等といった多様な地域資源と高齢者を繋ぐだけでなく、個の支援を通して、地域単位での課題解決への展開や地域づくりに繋がることを目指す。

実施状況

平成28年度も公募を実施し、10月から新規5か所設置し、計11か所となった。24時間365日の身近な相談窓口として訪問、来所、電話相談を受け付けている。その中で、必要時、個別地域ケア会議を通してブランチのみならず、関わっている人も含め、高齢者本人を支える支援体制の検討を行っている。

昨年度から、ブランチ業務を行っている地区では、地域の相談窓口として住民に認知され、相談件数も多くなっている。また、民生委員をはじめとした地域の方からの相談やサークル等へ出向いた際の相談も受けている。

相談窓口機能とともに高齢者本人がつながっている場所や人と途切れないよう、支援、助言を行ったり、地域の見守りや支え合い活動の後方支援として、サロン設置支援や町の課題を話し合う場の設置にむけても活動している。

決算　(主要施策報告書との関連)

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	300	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	9,547
②									
③									
								関連決算額合計	9,547

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	高い	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	拡充

評価に関するコメント

第6期介護保険事業計画どおり5か所の設置ができ、計11か所となった。

民生委員や地域のサークル・サロン等とともに連携し、高齢者を支援しているケースもある。

連絡会やブロック連絡会を通し、事例検討等実施することで、ブランチ自身での質の向上について検討できる場を設けることができた。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性(有/無)	有	継続する事務事業名	包括ブランチ及び地域福祉コーディネーター業務事業

平成29年度は、第6期介護保険計画最終年として、5か所の設置をめざし、6～7月に公募、8月に決定、9月より研修を行い、10月からの設置を目指す。また、第7期介護保険事業計画にむけ設置状況から設置個所及び数の検証を行う。

既設の11か所のブランチのノウハウをいかし、新規委託事業所の職員の研修に活かしていけるよう、ブランチ自身が勉強会を実施できる仕組みを作っていく。

基幹型包括職員は、これまで同様、地区担当制をとり委託事業所の後方支援をしていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A303	事務事業名	認知症予防･支援体制構築事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	サブセンター

目的・概要

認知症の早期発見・早期診断・早期対応のため、かかりつけ医での物忘れ健診やその後のフォロー体制の構築を目指す。認知症について正しい理解をしてもらい、本人、自らが脳の活性化のためのウォーキングや生活習慣病予防に取り組むことで、要介護状態や認知症の進行防止の取り組みを行えるようにすることを目的とする。

また、もの忘れ健診のフォロー体制として、認知症の正しい理解のための定期講座の実施及び認知症の当事者講演会を開催する。

実施状況

・精密検査の結果フォローが必要な方へは、訪問し生活状況を把握。また、介護予防基本チェックリストの認知機能低下項目すべて該当者にも訪問し、生活状況の把握をしている。
・かかりつけ医対象の研修会の実施。（かかりつけ医等認知症対応力向上研修）
・認知症サポート医との連携（研修企画の打ち合わせ、講師など）
・もの忘れ健診実施に意向のあった開業医（市内30か所）でもの忘れ健診を実施。1次スクリーニングの脳の健康度チェックを行い、更に2次スクリーニングの認知症簡易スクリーニングを実施。精密検査必要な場合は、実施医療機関から専門病院の紹介をする。実施期間は、翌年3月までの委託期間。
・認知症の正しい理解の定期講座を年5回実施（認知症サポーター講座として位置づける）
・認知症の当事者講演会を年1回実施。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	298	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業費	379
②	300	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	157
③									
								関連決算額合計	536

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

・受診人数は少ないものの、認知症が早期に発見された方、他の病気が発見された方もおり、早めの受診となり、早期の取り組みになっている。
・もの忘れ健診は早期に出会い、医師からの認知症の予防の説明もあり、自分でできる予防の取り組みを行う1つのきっかけになっている。
・医療機関では、契約期間以外でも、物忘れ健診のスクリーニングシートを日々の診察場面でも活用している。
・受診者アンケートでは、主治医から認知症の説明があり安心できた、医師との信頼関係ができたなど、かかりつけ医としてのかかわりも評価されている。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	認知症予防･支援体制構築事業

・もの忘れ健診結果において、医師から経過フォローが必要とされた方を対象に、ブランチと連携し生活状況の把握のための訪問を行う。また、必要に応じて医師へ生活状況について報告し、支援体制について医師と相談する。
・認知症の正しい理解の啓発普及のために、当事者による講演会の実施。また、認知症サポート医による定期講座の実施をする（認知症サポーター養成講座とかねて実施する）。
・地域型元気はつらつ塾、認知症ケア普及事業、認知症ケアパス、認知症初期集中支援チームなど、認知症に関する事業と連動して実施していく。
・平成29年度は、加賀市全体の認知症施策の検討会を実施し課題や、取り組みついて意見交換し、取り組んでいく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A304	事務事業名	地域見守り支えあいネットワーク事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域福祉課	係	地域福祉係

目的・概要

地域の実情に応じた日常時から災害時における支援体制を構築するため、高齢者や障がい者など災害時における要支援者の把握を目的に、要支援者の同意のうえ作成している「避難行動要支援者名簿」を活用し、「地域見守り支えあいネットワークの充実と促進」を図る。

実施状況

名簿登録にあたり、民生委員児童委員等の日々の活動の中で登録勧奨を行うなど、要支援者の登録を進めており、名簿には、毎年300名程度が新たに登録されている。また、提供した名簿が地域で有効活用できるよう、引き続き各地区で「見守り座談会」を開催しており、町単位での開催も見られた。
また、28年度から高齢者や障がいのある方などが所在不明になった際に、不明者の特徴などの情報をメールで配信し、地域のからの情報提供を得ることで早期発見につなげるための「安心メール」の配信を開始した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	111	一般会計	3	1	1	4	7	地域見守り推進事業費	178
②	301	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	426
③	111	一般会計	3	1	1	2	35	地域見守り推進事業費	158
								関連決算額合計	762

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は地域における見守り体制の促進・充実を目的としており、今後も最重点事業として継続が必要と考える。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	地域見守り支えあいネットワーク事業

平成28年度より、町単位での「見守り座談会」の開催も見られ、名簿による要支援者の把握や情報共有することにより、地区社協、区長、民生委員の連携による、地域での見守り体制の構築が進められている。また、日常的に高齢者などと交流のある事業者が地域での見守り活動を行う「ゆるやかな見守り事業」を進めており、引き続き、市民に対する周知・啓発に努めるとともに、地域での重層的な見守り体制の構築を目指していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A305	事務事業名	配食サービス事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	長寿課	係	高齢者支援係

目的・概要

自ら食事を用意することが困難な高齢者（65歳以上の高齢者及び身体障害者1級又は2級）で、定期的な安否確認が必要な方について、食の確保と安否確認を実施することにより、在宅での健康で自立した生活を支援する。

実施状況

食の確保を行い、安否を確認することによって、在宅での健康で自立した生活を営めるよう支援した。
・申請を受け、調査を実施し、その結果を踏まえて配食調整会議を行う。
・配食実施の場合は、利用者が市へ利用届出書を提出。
・市が指定の事業者へ配食を依頼し、利用者は実費分を負担。市は安否確認を含んだ配送料として委託料を負担する。
・利用者は、最大365日、1日2食の提供を受ける。
※H28年度　実利用者3名
現在、市内の配食サービス体制未整備区域（空白エリア）として、山中圏域の西谷、東谷地区がある。
平成27年度より、利用者の条件として、「世帯の他の構成員または他サービスでの安否確認ができない場合」を加え、家族の定期的不在等（日中独居等）により特に見守りが必要な方にも対応できるものとした。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	301	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業	208
②									
③									
								関連決算額合計	208

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	在宅での生活を維持するうえで、食の確保が重要であり、さらに今日問題となっている一人暮らし高齢者の安否確認の公的なツールとして貢献している。新規申請者、サービス継続者全員にアセスメントを実施しサービスの必要な利用希望者は全員利用できている。 年々、民間業者による配食サービスが普及してきており、特に見守りが必要とする本事業の対象となる利用者も年々減少してきている。なお、市内では配食サービス未整備地区がある。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	－

配食サービスの未整備地区（空白エリア）を新規事業者参入や何らかの方法を取り入れて、未整備地区の解消を行っていきたい。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A306	事務事業名	通所型介護予防事業委託事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	介護予防

目的・概要

要支援・要介護となるリスクの高い高齢者の状況に合わせた各種介護予防プログラム（運動器の向上、、栄養改善、口腔機能の向上等）を提供する事により、要介護状態になる事を予防し、一人ひとりが自分らしい自立した生活が継続する事を目的とする。

また、これまで市内4介護保険事業所で実施（現行型元気はつらつ塾）をしていたが、地区会館などのより身近な場所で、介護予防活動（地域型元気はつらつ塾）として、地域と事業所、地域包括支援センターと協働し展開していく事で、地域と関係が途切れることなく、生きがいや役割を確保する事を目的とする。

実施状況

市内4箇所の委託を受けた介護保険サービス事業所が個別援助計画を作成し、各事業所で介護予防プログラム（週に1回3時間・運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上他）に提供や生活に関する相談・指導等を実施（現行型元気はつらつ塾）。

また、身近な場所での介護予防活動の拠点の充実をめざし、平成26年度末より各まちづくり推進協議会に働きかけ、介護予防事業実施の意向のあった地区で地域ケア会議を開催し、地区の特性に応じた予防事業の在り方を考え、住民・事業者・行政が協働して実施する通所型介護予防事業（地域型元気はつらつ塾）を立ち上げた（平成28年度までに10地区で立ち上がった）。運営にあたり、地区の元気な高齢者にも協力してもらい、参加者のみならず、協力する住民にとっても予防活動、活躍の場となっている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	298	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業費	16,164
②									
③									
								関連決算額合計	16,164

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

チェックリストや体力測定の結果などから生活改善がみられる。また、参加者は「背筋が伸びた」「歩くことが楽になった」といった主観的な身体変化も感じている。自宅に閉じこもりがちであった方も参加することにより、他の人と交流する事で気持ちが明るくなったり、お互いが励まし合い、情報交換の場になっている。

また地区の身近な場で予防活動を展開することで、参加者だけでなく、地区の元気高齢者も協力員として一緒に参加する事で健康づくり、新たな活動や役割につながっている。また、利用者や事業を通して、協力員自身の今後の備えについて考える機会になったり、地域に関心を持ち考える機会にもなっている。さらに、まちづくり推進協議会に、介護予防事業を身近に感じてもらい、関心を持ってもらえる機会にもなった。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）

今後の方向性

これまで市内4介護保険事業所で実施していた通所型介護予防事業（現行型元気はつらつ塾）の内容をもとに、地区単位で活動拠点を確保し、行政・介護保険事業者が主体となる運営から、住民とともに取り組む通いの場（地域型元気はつらつ塾）を設置したが、参加者のみでなく、協力員やまちづくり推進協議会など、身近な地域で実施したからこそ事業の内容が見え、一緒に考え地域にあったものにしていくという効果があった。今後も、まちづくり推進協議会等とともに地区にあった介護予防事業の在り方を話し合い、地域型元気はつらつ塾の形にとらわれず、地域にあった介護予防事業を展開していく。

また、各地区での介護予防活動拠点の充実をしていくとともに、これまで市内4介護保険事業所で実施していた現行型元気はつらつ塾は平成29年度をもって終了する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A307	事務事業名	地域介護予防支援委託事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	介護予防

目的・概要

地域住民の参加と協力のもと、家庭に閉じこもりがちな高齢者などに対して、地域の介護予防活動の支援を実施することで、孤立感の解消や、寝たきり、認知症予防を推進し、高齢者の自立生活の継続を図ることを目的とする。

また、「寝たきり・認知症予防」「自立生活の維持」（介護予防）のために、体操や講話などの活動を通し、「地域でのより良い関係作り、隣近所による支え合い、見守り」の相互支援も目的として実施する。

実施状況

社会福祉協議会へ委託

・住民主体による地域おたっしゃサークル（介護予防型・サロン型・支援型・事業所協同型）への活動運営助成
・地域おたっしゃサークル団体への無料定例講師派遣（介護予防に資する内容を含め年10回を上限）
・地域おたっしゃサークルリーダー連絡会及びリーダー研修会
・住民主体を主軸とし、地域に根ざした切れ目ない活動を展開できるような「活動協力費」を全サークル対象に運営助成
・支援が必要な地域おたっしゃサークルへ指定をうけた介護保険事業所が介入する強化事業の実施
・新たにサークルを立ち上げたい町に対し立ち上げ支援として、介護予防教室の実施

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	298	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業費	16,205
②									
③									
								関連決算額合計	16,205

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

国は、65歳以上の高齢者の概ね10人に1人が、地域での予防活動に参加することを目指しており、加賀市においても、（参加者が）10%と概ね10人に1人は登録できている状況である。

地域おたっしゃサークルは、介護予防の推進のみならず、地域住民による自主的な運営により、高齢者のいきがいや社会参加の場にもなりつつある。何日か欠席が続いた場合にはサークル内で連絡を取り合うなど見守り機能の一助も担っている。

今後も、高齢者の社会参加の場や居場所・出場所の中核として地域おたっしゃサークルに期待する部分は大きく、市としても、設置箇所数や参加者の増加、サークル運営の定着を委託先とともに進めていく。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）

今後の方向性

・企画、調整、運営面等で支援が必要な地域おたっしゃサークルに対し、市社協及び介護保険事業者の後方支援のもと、おたっしゃサークルへの地域サポートを強化していく。
・まちづくり推進協議会とともに、設置されていない町への働きかけを行ったり、町として難しい場合でも、地区として、新たな予防活動の拠点になりうる「地域型元気はつらつ塾」との連動も考えていく。
・地区おたっしゃサークルのPR冊子を作成し、多くの住民の方々に本事業を知ってもらえるよう工夫する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	3. 高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A308	事務事業名	高齢者ひとり暮らしふれあいの集い事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	包括支援

目的・概要

地域のひとり暮らし高齢者に対して、地区民生委員児童委員及び区長等の地域住民の協力のもとに、孤立解消及び閉じこもり予防としてふれあいの集いを開催し、高齢者の福祉の向上に資することを目的とする。また、地域でのひとり暮らし高齢者サポート体制の構築を図る。

地域の高齢者の状況を把握している民生委員だからこそ、地域の実情に応じた効果的な集いの開催ができると考える。この集いをきっかけに訪問等につながり、生活状況の実態から生活課題の把握をし、必要な支援につなげることができる。

実施状況

9地区民生委員児童委員協議会が主体となって、地区会館及び公共施設等、この事業を適切に実施できると認められる施設において、教養講座（介護予防、認知症予防、健康づくり等のテーマ）、高齢者に適した軽体操等の実技、栄養改善に資する食の提供、座談会や茶話会など、本事業の目的に即した内容での集いを開催している。

ひとり暮らし高齢者と、民生委員や地域住民が顔見知りになるきっかけや、交流する場となっている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	301	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	830
②									
③									
								関連決算額合計	830

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	加賀市民生委員児童委員協議会に委託し、各地区の状況に応じて実施しており、地域の取り組みとして根づいている。 本事業は、ひとり暮らし高齢者の閉じこもり予防や介護予防等の必要性を認識する機会となっている。参加者は民生委員が身近に相談できる存在であることを理解し、集い開催以降も困りごとを気軽に相談してもらうきっかけとすることができ、地域における見守り支援につながっている。 また、民生委員は高齢者と相談対応する中で、必要に応じて、地域包括支援センターなどの相談機関と連携している。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	－

市、社会福祉協議会、民生委員で行っている地域見守りネットワーク活動の一環として、また、日頃の見守り活動につなげる機会として、高齢者ひとり暮らしふれあいの集いを継続していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	4. 障がいのある方が「あたりまえ」に暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A401	事務事業名	じりつ支援協議会運営強化事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	ふれあい福祉課	係	相談支援係

目的・概要

障がい者及び障がい児（以下「障がい者等」という。）の地域生活を支援するため、地域の関係者によるネットワークを構築する。
関連する関係機関や関係団体、保健、医療、福祉、教育、就労等の多分野・多職種による関係者が地域の実情に応じた支援体制の整備を図るという共通の目的に向け、情報や地域の現状・課題を共有し、連携の緊密化を図る。

実施状況

平成28年度においては、「障がい福祉全体会」を年間3回、「運営会議」及び「相談事業所連絡会」を月１回、ケース検討会を週１回開催したほか、ネットワークの構築、地域課題の具体化と共有、課題解決のための取り組みとして、4つのワーキンググループにより検討を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	117	一般会計	3	1	2	2	34	じりつ支援協議会費	47
②	117	一般会計	3	1	2	3	25	相談支援事業費	4,500
③									
								関連決算額合計	4,547

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	障がい者等を地域で支える仕組みを考え、必要な情報を交換できる場として、今後も継続的に開催することが必要である。できることから一歩一歩進めていき、障がい者等の支援について協働する場として機能させる。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	じりつ支援協議会運営強化事業

じりつ支援協議会の効果と有効性を検証するためのツールを構成員全体で見出す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「健康・福祉」を増進します			
施　策	4. 障がいのある方が「あたりまえ」に暮らせるまちづくりを進めます			

事業番号	A402	事務事業名	理解促進研修・啓発事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	ふれあい福祉課	係	給付係

目的・概要

障がい者及び障がい児が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去するため、障がい者及び障がい児の理解を深めるための研修・啓発を通じて地域住民への働きかけを強化することにより、共生社会の実現を図る。

実施状況

平成28年度においては、石川県主催の「ふれてみるいしかわの文化展」の加賀展として「ふれてみるいしかわの文化展 加賀展」を引き続き開催するとともに、同展覧会に合わせて隣接する別会場で、障がい者（児）がこころを込めて制作した作品を一堂に展示する「こころふれあうみんなの作品展 かが」を開催し、障がいや障がい者について考える機会を提供した。

また、幼少の頃から手話に親しみ、障がいや障がい者に対する差別意識を払拭するための試みとして、市内小学校の総合学習の一環として取り入れている「小学生のための手話教室」を3小学校5クラスで開催し、福祉意識の育みに努めた。

さらに、「加賀市手話言語条例」を制定し、手話が言語であることを踏まえ、手話への理解の促進及び手話の普及を図ることとした。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	117	一般会計	3	1	2	2	30	理解促進研修・啓発事業費	822
②	117	一般会計	3	1	2	4	17	社会参加支援事業費	60
③									
								関連決算額合計	882

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

障がい者施策を展開していくうえで、人のこころのあり方が非常に重要な要素を占めている。

この事業により、直ちに目に見える形でその効果が表れるようなものではないが、一人でも多くの人のこころから障がいや障がい者に対するバリアを取り除いていくことが、障がいの有無にかかわらず、「あたりまえの生活」ができるまちづくりに資するものとなる。

「加賀市手話言語条例」に基づき、手話への理解の促進及び手話の普及に関する取り組みを、さらに推進する。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	理解促進研修・啓発事業

「展覧会等」については、平成25年度からの継続した取組みとして開催している障がい者の作品展「こころふれあうみんなの作品展 かが」への出品を、障がい者団体やサービス提供事業所に対して呼び掛け、沢山の出品作品を展示することで、入場者の呼び水とする。

「手話教室」については、特定小学校に偏ることなく、広く開催を呼び掛け、より多くの児童に手話体験の機会を与える。

「加賀市手話言語条例」に基づき、手話への理解の促進及び手話の普及等に関する施策を推進する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B102	事務事業名	総合防災訓練開催		
所管部局	総務部	所管課	防災対策課	係	防災係

目的・概要

地震、津波、風水害などの各種災害発生時の円滑な応急対策に期するため、市民、防災関係機関、市などが一体となって企画・運営する、自助・共助を中心とした総合的な防災訓練を実施し、子どもから大人まで市民の方一人ひとりが、日常時から災害時において「自ら何をすべきか考え行動できる」よう、体験や展示を通して防災意識の高揚と知識の向上を図る。

実施状況

総合防災訓練の主会場となった錦城小学校では、住民避難訓練、受付訓練、防災関係団体や災害時応援協定締結団体により展示、看護学校によるトリアージ訓練の他、主会場では初めてとなる福祉避難所の設置運営訓練を行い、住民に幅広い防災対策の教示した。また、シェイクアウト訓練を初めて取り入れ、参加者全員が屋外退避し、以降開催される消防による屋外の訓練や防災ヘリコプターによる訓練を全員が参加又は見学できるよう工夫した。

また、副会場となった橋立地区では津波住民避難訓練を実施し、避難経路などを確認するとともに、三谷地区では、土砂災害を想定した住民避難訓練と防災講習を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	59	一般会計	9	1	5	3	1	防災訓練費	790
②									
③									
								関連決算額合計	790

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	総合防災訓練の企画段階から市民や防災関係団体などと協議を重ね、子どもから大人までだれもが参加しやすい訓練に工夫し、市民一人ひとりの防災・減災に対する関心を高めることにより、自助・共助による地域防災力の向上を図った。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	総合防災訓練開催

市民や事業者が災害時において、「自らが何をすべきか考え行動できる」よう、地域や加賀市防災協議会を初めとする民間防災関係団体などと協働して、新たな訓練を取り入れた総合防災訓練、防災・減災に関する知識や日頃からの備えを学ぶ「市民向けの防災講座」や「企業向けの防災教室」の開催など、防災・減災活動を継続的に実施していくことにより、地域の防災・減災力の更なる向上を図る。

また、前年度までは開催時期が8月であったが、平成28年度は10月中旬の開催としたことで、気候的に住民に参加していただきやすくした。今後も地域のイベントなどを考慮した上で、出来る限り参加していただきやすい開催日の選定を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B103	事務事業名	災害用備蓄品購入事業		
所管部局	総務部	所管課	防災対策課	係	防災係

目的・概要

災害時に必要となる飲料水、食糧（乳幼児用の粉ミルクを含む。）、毛布、資機材などを備蓄し、避難者の生活を支えることにより、市民の安心・安全を確保する。

実施状況

アルファ米550食、長期保存水240リットル、毛布90枚、簡易トイレ10個、簡易トイレ用便袋100枚、避難所用マット20枚を新たに備蓄した。
また、新生児用の粉ミルク320gを48缶と乳幼児の粉ミルク320gを48缶、合計96缶と発熱材入りのミルク90個を備蓄した。なお、賞味期限切れ間近となった粉ミルクについては、市内保育所へ提供し有効活用を図った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	59	一般会計	9	1	5	3	2	防災活動推進費	4,530
②									
③									
								関連決算額合計	4,530

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	災害時において必要とされるアレルギー物質不使用のアルファ米、長期保存水、簡易トイレ、避難所用マット、乳児用粉ミルクなどを計画的に備蓄するとともに、賞味期限切れ間近の備蓄品を訓練などに活用し、有効利用を図った。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	災害用備蓄品購入事業

災害時応援協定を締結している民間企業から優先的に物資を提供いただく「流通備蓄」や他自治体等からの「支援物資」を確保するまでの間に必要とされる、飲料水、食糧、毛布、簡易トイレ、乳幼児の粉ミルクなどを次年度以降においても計画的に備蓄していく。また、家庭内備蓄についても引き続き啓発していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B104	事務事業名	防災コミュニティスクール推進事業		
所管部局	総務部	所管課	防災対策課	係	防災係

目的・概要

平常時や災害時における「地域」・「学校」・「家庭」の役割を相互に確認することにより、平常時から災害時までの地域防災活動の充実を図り、地域防災力の向上を目指す。

実施状況

防災訓練を実施した各地区の避難所となる小中学校に関し、東和中学校・錦城小学校（洪水災害）、三木小学校・作見小学校（地震災害）、湖北小学校（津波災害）、緑丘小学校（津波災害）、三谷小学校（土砂災害）において想定される災害に対応した避難所のあり方や避難方法などにおける「地域」・「学校」・「家庭」の役割を確認するとともに、災害対応に関する地域課題の洗い出し、共通の避難所設営図（案）を確認した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	59	一般会計	9	1	5	3	2	防災活動推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	廃止
評価に関するコメント	地域において避難方法や避難所運営などについて協議を重ねることにより、地域の方々の防災・減災に対する関心を高めた。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

「各災害に応じた避難方法」や「避難所運営」について、モデル地区で協議してきた内容を参考に、モデル地区以外の地区にも周知していくことにより、市内全体の防災・減災力向上に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B105	事務事業名	片山津処理区管渠築造事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	係	

目的・概要

片山津処理区（片山津地区、動橋地区、打越・高塚地区）の家庭や工場等の汚水を汚水管渠施設により処理場に集め一括処理することにより柴山潟・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目指す。

実施状況

平成28年度は、動橋地区（梶井町）及び打越、高塚地区の管渠工事を実施し、整備面積7.5haが完了した。
片山津処理区の汚水処理面積は285.8haとなり、事業認可区域面積352haに対する進捗率は81.2%となった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	312	下水道事業特別会計	2	1	1	2	1	片山津処理区管渠築造事業費（補助）	39,823
②	312	下水道事業特別会計	2	1	1	2	2	片山津処理区管渠築造事業費（単独）	141,347
③									
								関連決算額合計	181,170

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	住環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質浄化など市民生活の向上に不可欠な事業であり、今後も継続が必要と認める。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	片山津処理区管渠築造事業

片山津処理区の整備促進を図り、動橋地区（梶井町）及び打越、高塚地区の管渠整備（目標面積7.5ha）を実施した。
平成29年度から、更なる人口減少や高齢化の本格化などの地域社会構造の変化や市の厳しい財政事情から汚水処理施設整備の一層の効率化を図るため、汚水処理区域の見直しと処理区の統合について検討を進めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B106	事務事業名	大聖寺川処理区管渠築造事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	係	

目的・概要

大聖寺川処理区（大聖寺地区、山代地区、作見地区と周辺、山中温泉地区）の家庭や工場等の汚水を汚水管渠施設により処理場に集め一括処理することにより大聖寺川流域、柴山潟・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目指す。

実施状況

平成28年度は、大聖寺地区、山代地区、山中地区にて管渠工事を実施し、整備面積5.5haが完了した。大聖寺川処理区の汚水処理面積は603.5haとなり、事業認可区域面積710haに対する進捗率は85.0%となった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	312	下水道事業特別会計	2	1	1	2	3	大聖寺川処理区管渠築造事業費（補助）	71,743
②	312	下水道事業特別会計	2	1	1	2	4	大聖寺川処理区管渠築造事業費（単独）	111,493
③									
								関連決算額合計	183,236

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	住環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質浄化など市民生活の向上に不可欠な事業であり、今後も継続が必要と認める。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	大聖寺川処理区管渠築造事業

大聖寺川処理区の整備促進を目指し、山代地区（山代温泉10区）及び山中地区（旭町）の管渠整備（目標面積5.5ha）を実施した。

平成29年度から、更なる人口減少や高齢化の本格化などの地域社会構造の変化や市の厳しい財政事情から汚水処理施設整備の一層の効率化を図るため、汚水処理区域の見直しと処理区の統合について検討を進めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B108	事務事業名	老朽管更新事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	係	

目的・概要

耐震性のある水道管を布設することで、事故・災害等に強いライフラインを確保し、水道水の安定供給を目的に平成35年度完了を目指す。

実施状況

老朽管は水道管のうち石綿セメント管、鋳鉄管、ビニル管に加え、平成26年度からは耐用年数を超過した水管橋、鋼管、配水支管を更新対象としており、漏水事故や水質事故が多い路線や他工事との関連により優先度を決め効果的に布設替を実施している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	318	水道事業会計	2	1	3	20		路面復旧費	59,974
②	318	水道事業会計	2	1	3	24		工事請負費	272,768
③									
								関連決算額合計	332,742

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	漏水件数は年々減少傾向にあるものの、水道管は年々劣化するため漏水事故、赤水防止及び災害時にも強いライフラインを構築し、水道水供給サービスの向上のため継続実施する。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	老朽管更新事業

今後も、国県道の改良工事との連携により工事費軽減と国庫補助の有効活用により進捗率の向上を図る。平成27年度からは老朽化が顕著な老朽鋼管の更新事業にも着手しており、事業を継続する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B109	事務事業名	柴山潟浸水対策事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	係	

目的・概要

近年の集中豪雨により浸水被害が多発した片山津温泉市街地において、柴山潟の高水位に対応する石川県施工の堤防事業とあわせ市街地の雨水排水を強化する内水排水施設を整備することにより、都市機能の確保とともに人命ならびに財産の保護を図る。

実施状況

平成20年度より整備に着手し、雨水を強制排水する雨水排水ポンプ場を3基、雨水の一時貯留施設として調整池を1箇所、市街地の雨水排水路の改修工事を約2km整備した。平成28年度は温泉2区排水区において、排水路整備と周辺整備を行った。また、豪雨に対する防災意識の向上のため、内水ハザードマップを作成し地域住民に配布した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	312	下水道事業特別会計	2	1	1	4	1	片山津処理区雨水管渠築造工事（補助）	10,200
②	312	下水道事業特別会計	2	1	1	4	1	片山津処理区雨水管渠築造工事（単独）	47,100
③									
								関連決算額合計	57,300

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	片山津温泉市街地の都市機能の確保とともに、人命ならびに財産の保護に不可欠な事業であり、今後も継続が必要と認める。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	柴山潟浸水対策事業

温泉2区排水区整備（雨水排水ポンプ場及び周辺雨水管路整備）を推進し、片山津市街地の浸水対策事業の完了を目指す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B110	事務事業名	農業集落排水施設整備事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	係	

目的・概要

農村集落のし尿、生活雑排水等を汚水管渠で集め、汚水処理施設により一括処理することにより農業用排水の水質保全を図り水循環に資するとともに、農村の生活環境及び公衆衛生の向上を目指す。

実施状況

農業集落排水事業による整備地区11地区の内、10地区（分校、新保、荒木、熊坂、柴山、箱宮、二子塚、奥谷、三谷、勅使、花房）については、整備が完了している。
平成27年度から事業を進めている残り1地区(三木地区）において、管渠整備を実施している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	318	下水道事業特別会計	2	1	3	2	1	農業集落排水施設整備費（補助）	104,918
②	318	下水道事業特別会計	2	1	3	2	2	農業集落排水施設整備費（単独）	12,308
③									
								関連決算額合計	117,226

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	地域住民の合意により開始された事業であり、農業用用排水の水質保全、生活環境及び公衆衛生の向上を目指すものであり、今後も整備完了まで継続が必要と認める。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	農業集落排水施設整備事業

平成27年度より三木地区の管路整備に着手しており、平成30年度の完成を目指す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B111	事務事業名	基幹水道構造物の耐震化事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	係	

目的・概要

平常時に安定した水道水の供給と地震等災害時においても被害の最小化と施設復旧の迅速化を目的に浄水場、配水池などの基幹水道施設の耐震化を平成35年度までに完了する。

実施状況

水道施設基準を満たす構造物を構築するため耐震診断の結果に基づき、耐震が必要な施設について計画的に更新を実施している。平成26年度より水源地である九谷ダム水においてカビ臭気が発生しおり水質悪化が懸念される。安全安心な水道水を供給するためカビ臭気除去に効果がある粉末活性炭を注入する設備をH27．H28の2ヶ年で整備した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	312	水道事業会計	2	1	1	24		工事請負費	127,980
②									
③									
								関連決算額合計	127,980

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	カビ臭気物質の基準値は水道法により決められており、基準値超過となれば配給水に支障がある。現在の活性炭注入設備は耐震性がない簡易的な仮設であるため、本工事で耐震性能を備えた恒久施設を整備することで災害時にも水質基準に適合した安全で良質な水道水を供給することが出来る。平成28年度工事は、機械設備、電機設備の施工。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	基幹水道構造物の耐震化事業

市民に安全で安定した水道水を供給するため、耐震化更新の優先順位を設定し計画的に進めてきた。
水道施設の耐震化更新は、市民の生活と命を守る最重要課題であるが、耐震化には多大な費用を支出するため将来の人口の減少を踏まえ合理的な施設の構築をしていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B112	事務事業名	導送水施設整備事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	係	

目的・概要

導水、送水施設は、必要な水量送水と適正な圧力に調整する施設である。機能の停止や設備保全の良否により給水サービスに大きな影響を与えることから、常に正常な機能を発揮できるよう整備する必要がある。

実施状況

ポンプ制御盤は、七日市県水受水池から大聖寺配水池、片山津配水池、山代配水池へ送水するためポンプを稼働させる重要な設備である。ポンプ故障による断水などが発生しないよう6基ある制御盤を順次更新しており、今年度は七日市送水ポンプ場送水操作盤・設定器盤を更新。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	313	水道事業会計	2	1	2	24		工事請負費	45,684
②									
③									
								関連決算額合計	45,684

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	導送設備を計画的に更新整備することで老朽化が原因で起こる断水を未然に防ぐことで、水道水の安定供給が維持されている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	導送水施設整備事業

耐用年数を超えた設備については計画的に更新しており、限られた財政のなか費用の平準化や耐用年数の延命など図り、効率的な施設更新を平成35年度までに完了する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B113	事務事業名	鉛給水管更新事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	係	

目的・概要

平成15年4月に水道水に含まれる鉛含有量が強化改訂された。水質基準に適合する水道水を供給するため、老朽管更新事業等による水道管布設替工事と併行して水質への影響がないポリエチレン管に更新する。

実施状況

松が丘、白山台地区の鉛製給水管更新を事業化し、老朽ビニル管更新事業、漏水修繕を併せ布設替を実施している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	318	水道事業会計	2	1	3	20		路面復旧費	864
②	318	水道事業会計	2	1	3	24		工事請負費	23,728
③									
								関連決算額合計	24,592

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	鉛製給水管の更新により水質の安全を確保できるとともに、更新対象管は埋設後30年以上も経過しており、漏水対策にも期待できる。水道水は人の健康に直結するものであり、今後も水質基準に適合した水道水を供給する責務を果たしていく。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	鉛給水管更新事業

松が丘、白山台地区の鉛給水管更新は、平成30年度を目標に完了を目指す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B114	事務事業名	合併処理浄化槽設置助成事業		
所管部局	上下水道部	所管課	経営企画課	係	

目的・概要

住民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的に、公共下水道整備区域以外において合併処理浄化槽の普及促進を図る。

実施状況

生活排水による公共用水域の汚濁を防止するため、専用住宅等に対して合併処理浄化槽の設置にかかる費用に対して補助を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	319	下水道事業特別会計	2	1	4	1	1	合併処理浄化槽設置助成費	4,487
②									
③									
								関連決算額合計	4,487

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	平成28年度の合併処理浄化槽の補助件数は11件であり、市内全体の合併処理浄化槽設置件数(94件)の約11.7%と普及促進に効果があった。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換は、法的には努力義務に留まっている為、本事業による助成制度があることにより、普及が促進されている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	合併処理浄化槽設置助成事業

人口密集区域は下水道で対応しており、浄化槽区域については、人口減少に伴い、年々、空家が増加しており、助成件数自体は減少傾向にあった。

しかし、下水道整備区域の見直しを行ったため、下水道の計画区域外となり、合併浄化槽設置助成対象になる家庭も増えると予想されることから、助成制度のより一層の周知を図るとともに、単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の違いや浄化能力等をアピールしていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	1．市民が安全に安心して生活できる環境の構築を進めます			

事業番号	B116	事務事業名	防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業		
所管部局	総務部	所管課	防災対策課	係	防災係

目的・概要

あらゆる災害から市民の生命・財産を守るため、防災情報を一斉に伝達できる防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）を整備し、安心して暮らせる環境づくりを推進する。

実施状況

本事業は、平成27年度から平成37年度までの11年間をかけ整備する計画としており、平成28年度においては、防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）のセンター設備の整備を引き続き実施するとともに、電波中継局や61局の屋外拡声子局を整備した。このことにより、平成29年4月1日より屋外拡声子局からのサイレン吹鳴が可能となっている。

また、職員間の情報伝達手段として活用する防災行政無線の移動系設備及び各家庭において防災情報や町内放送が受信できる戸別受信機の実施設計も行った。

平成29年度においては、継続してセンター設備を整備するほか7局の屋外拡声子局を追加整備する。また、平成30年度においては、センター設備を完成させるとともに10箇所の屋外受信拡声機を整備するほか、移動系設備の整備にも着手する。さらに、平成31年度においては、移動系設備を完了させるとともに戸別受信機の整備に着手する。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	59	一般会計	9	1	5	5	2	防災情報伝達システム整備費	157,645
②	59	一般会計	9	1	5	92	1	防災情報伝達システム整備費（繰越明許分）	310,995
③									
								関連決算額合計	468,640

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	戸別受信機の屋外アンテナの低減が可能となる全国初の低廉化方式を採用した防災行政無線（同報系）を整備することとしており、防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業の全体事業費が縮減となる見込みである。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業

本事業は防衛省の補助金を活用している関係から、整備完了期間が長期に渡っているため、事業期間の短縮に向けた防衛省との協議を継続して行うことにより、防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）の早期完成に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	2. 地域間ネットワークの整備を進めます			

事業番号	B201	事務事業名	都市計画道路整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	係	都市整備係

目的・概要

円滑な都市交通を確保し、良好な都市環境を形成するため、都市計画道路の整備を計画的に推進する。

実施状況

市事業の合河片山津線は、平成28年度から事業を進めている。
県事業の山代粟津線及び温泉中央南線は、用地買収を行なった。また、事業推進を目的とする沿道住民等から組織される協議会に県と市が共同でまちづくりの助言を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	208	一般会計	8	5	2	1	20	合河片山津線整備費	6,720
②	208	一般会計	8	5	2	2	1	県営街路整備負担金山代粟津線	12,736
③	208	一般会計	8	5	2	2	1	県営街路整備負担金温泉中央南線	9,872
								関連決算額合計	29,328

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

市事業の合河片山津線は、測量と実施設計業務を行ない、地権者及び地元との協議を了する。
県事業は、街路事業を契機に沿道住民等から組織する協議会を開催するなど、沿道まちづくりに向け取り組んでいることから、今後も継続が必要である。温泉中央南線は用地買収を完了し、次年度から工事に着手する。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	都市計画道路整備事業

市事業は、用地測量及び補償算定等を実施し、用地補償に着手する。
県事業の山代粟津線は、次年度に用地買収を完了し、温泉中央南線は、地元協議会への助言と県との調整を進めながら工事に着手し、円滑な事業推進を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	2. 地域間ネットワークの整備を進めます			

事業番号	B202	事務事業名	生活道路整備事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	係	道路整備係

目的・概要

各町内会が管理する生活道路について、市が道路改良や舗装整備、修繕など事業費の一部を助成することにより、安全で快適な生活環境に改善され、また、市民生活の向上を図ることを目的とする。

実施状況

毎年各町から多くの要望が寄せられるが、平成28年度は9月補正により平成28年度の要望箇所全てにおいて対応できた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	195	一般会計	8	1	1	4	1	生活道路整備助成費	13,000
②									
③									
								関連決算額合計	13,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	各町内に生活道路に係る事業費を一部助成することで、整備が進み生活環境が改善される。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	生活道路整備事業

生活道路の整備要望が年々増えている。その中で近年は、緊急性の要する事業も増えてきているため、不測の事態を見込んだ予算の確保に務める必要がある。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	2. 地域間ネットワークの整備を進めます			

事業番号	B205	事務事業名	都市計画基礎調査事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画	係	都市政策係

目的・概要

人口減少や少子高齢化など社会状況の変化に対応したコンパクトな都市づくりを進めるため、説明会等により関係住民の意見聴取を行いながら、都市施設整備計画及び土地利用計画を策定する。温泉地の観光振興に寄与する都市再生整備計画を策定する。

実施状況

山代地区の用途地域は、見直し対象地区の関係機関及び関係住民との調整を進め、準工業地域から第一種住居地域に変更した。
山中温泉菊の湯周辺整備計画及び柴山潟湖岸利活用計画は、地域住民及び関係者による委員会を設置し、整備の方針を定めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	207	一般会計	8	5	1	4	2	都市計画基礎調査費	5,454
②									
③									
								関連決算額合計	5,454

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

山代地区の用途地域見直しは、関係住民の理解を得て、都市計画の変更を行った。
山中温泉菊の湯周辺整備計画は、広場の基本方針を定め、県街路の事業化に向けた沿道まちづくりの条件が整理された。
柴山潟湖岸利活用計画は、沿線関係者の意見を聴いて、旅館浴室の目隠し対策を計画した。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	都市計画基礎調査事業

山中地区の都市計画道路の見直しに際しては、道路整備とまちづくりを一体的に実施する計画を、関係沿線住民とともに策定する。
加賀市都市計画マスタープランは、コンパクトな都市づくりの方針を定めるとともに、土地利用計画等の見直しを継続して行う。
山中温泉菊の湯周辺整備は、事業化に備えて広場用地の先行取得を行なう。
柴山潟湖岸遊歩道は、温泉街区間について整備に着手する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	2. 地域間ネットワークの整備を進めます			

事業番号	B206	事務事業名	市道C第590号線外2路線		
所管部局	建設部	所管課	土木課	係	道路整備係

目的・概要

国道8号加賀拡幅事業によって閉鎖された路線の機能回復等を目的に整備するものであり、国道8号拡幅事業と併せて施工し、地域住民や地場産業の交通空間を確保する。

実施状況

平成28年度に市道C第591号線改良事業が完了し、供用を開始した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	199	一般会計	8	2	3	1	1	一般道路新設改良費（補助）	112,023
②									
③									
								関連決算額合計	112,023

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	廃止
評価に関するコメント	国道8号4車線化に伴う事業は、平成27年度に市道C第590号線（中代町）、市道B第431号線（桑原町）、平成28年度に市道C第591号線（桑原町）が完成した。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

平成28年度をもって、事業完了となったため廃止とする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	2. 地域間ネットワークの整備を進めます			

事業番号	B207	事務事業名	橋梁長寿命化対策事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	係	道路整備係

目的・概要

橋梁長寿命化計画策定により、これまでの事後保全型維持管理から予防保全型維持管理へ転換し、老朽橋に対し計画的に橋梁修繕工事を行うことで、橋梁長寿命化が図られると同時に費用の縮減が図られる。
また、橋梁の健全度を把握するため、5年に1回の法令点検を実施し、点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを構築する。

実施状況

宮前橋（大聖寺上福田町）、新橋（箱宮町外1町）の2橋について、橋梁修繕工事を実施した。また、5年に1回（平成26年～平成30年）の法令点検を131橋実施し、平成28年度末での実施状況は、自主点検も含め167橋（全橋梁数366橋）となった。

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	201	一般会計	8	2	4	1	3	橋梁長寿命化対策費	147,939
②									
③									
								関連決算額合計	147,939

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	計画的に予防保全を行うことで橋梁の長寿命化、また道路交通の安全性の確保とともトータルコストの縮減を図るため、今後においても更なる拡充が必要である。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	橋梁長寿命化対策事業

今後の方向性

平成24年度に策定した橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁修繕工事を実施する。また、平成30年度までに5年に1回の法令である橋梁定期点検を全て終え、市内の全橋梁の健全性を把握する必要がある。この点検結果から橋梁修繕計画の見直しを行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	2. 地域間ネットワークの整備を進めます			

事業番号	B208	事務事業名	加賀温泉駅前活性化対策事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	係	新幹線対策室

目的・概要

加賀温泉駅前活性化対策事業に関しては、平成34年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的として駅舎及び駅周辺の整備を行う。

実施状況

加賀温泉駅施設整備検討委員会を4回開催し、加賀温泉駅内部及び駅前のバス・タクシー等の交通施設、観光案内所等の配置基本計画を策定した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	207	一般会計	8	5	1	5	3	加賀温泉駅前活性化対策費	7,261
②									
③									
								関連決算額合計	7,261

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、平成34年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅周辺を再整備し、賑わいを創出することを目的としており、加賀温泉駅駅周辺、そして加賀市の活性化に寄与するものとなることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉駅前活性化対策事業

加賀温泉駅前活性化対策事業に関しては、平成29年度中に加賀温泉駅施設整備基本設計及び駅前施設のデザイン設計を行い、鉄道運輸機構が施工する新幹線駅舎と調和を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「都市基盤」を創造します			
施　策	3. コンパクトシティに向けた取り組みを進めます			

事業番号	B301	事務事業名	地域交通対策事業		
所管部局	総務部	所管課	企画課	係	企画係

目的・概要

加賀市地域交通基本条例の理念である、自家用車を運転できない人も安心・安全に通院や買い物に行くことができるよう、地域交通の充実を図る。

実施状況

加賀温泉バス㈱が運行する生活路線バスについては、温泉山中線、山代大聖寺線、吉崎線、温泉片山津線、温泉大聖寺線の5路線に対する運行補助を行い、通院・通学の移動手段の維持を図った。
平成27年4月から㈱まちづくり加賀が運行を開始したキャンバス動橋橋立循環線に対する運行補助を継続し、通院・通学の移動手段を維持した。
生活路線バスの利用増加に向けては、運行ダイヤ等を記載した利用促進パンフレットを作成し、市内全世帯に配布した。また、山中小学校の生徒を対象として加賀温泉バス㈱社員がバスの乗車方法やマナーを教える「路線バスふれあい体験教室」や実際にバスに乗車する「路線バスふれあい体験教室～バスに乗って出かけよう!!～」を実施した。
㈱まちづくり加賀が観光周遊を主目的として運行するキャンバスに対しては、市展観施設等20か所を停留所とする負担金により観光客や地域住民の移動手段の維持を図った。
また、平成27年10月から実証運行を開始し、市が運行主体となって実施する乗合タクシーを平成28年4月から本格運行とし、地域交通空白地域の解消等を図った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	72	一般会計	2	1	8	6	1	地域交通対策費	104,490
②									
③									
								関連決算額合計	104,490

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

生活路線バスについては、運行補助により温泉山中線、山代大聖寺線、吉崎線（平成27年3月に大聖寺駅～加賀温泉駅間延伸）、温泉片山津線、温泉大聖寺線（平成27年3月新設）の5路線を通院・通学の移動手段として維持した。
利用促進策の実施により、年間の輸送人員は、平成27年度比で、温泉山中線（△7.5%）、山代大聖寺線（△8.0%）では減少したものの、吉崎線（+0.4%）ではほぼ横ばい、温泉片山津線（+27.1%）、温泉大聖寺線（+26.9%）では増加となった。
キャンバスについても、市民の移動手段としての利用が続いている。
加賀市医療センターの開院を見据えた地域交通体系づくりでは、「KAGAあんしんネット」に基づいた交通体系を整備するため、平成27年10月から市内全域で実証運行を開始した「加賀市乗合タクシー」を平成28年4月から本格運行させ、地域交通が十分でないところの解消に向けた取組みが進んだ。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	地域交通対策事業

地域交通は、高齢者や中学生・高校生等の交通弱者にとって欠くことのできない生活基盤の一つであることを踏まえ、運行事業者との協議や加賀市地域公共交通会議での審議を行いながら、生活路線バス、キャンバスの維持を図っていく。
平成27年10月に実証運行を開始し、平成28年4月から運行を開始した「加賀市乗合タクシー」については、引き続き利用者説明会や利用者相談会の開催など、きめ細かい周知を行い、また、利用者や運転手の現場の声を聴き、利用実績等を検証し、利便性が向上する改善策を検討するとともに、地域交通に関する情報を積極的に発信して、「みんなで守り育てる地域交通」の啓発を継続していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「ひとづくり」と「まちづくり」を支援します			
施　策	1．各地区の特色を活かした市民との協働のまちづくりを進めます			

事業番号	C101	事務事業名	まちづくり事務局助成事業		
所管部局	市民生活部	所管課	地域づくり推進課	係	地域づくり係

目的・概要

地区のまちづくり活動を活発化し、地域が主体となった住民自治・参画を促す。
また、まちづくり事務局に安定的な財政支援を行い、組織の運営体制を根幹から支える。

実施状況

各地区に対して、まちづくり推進協議会の活動に必要な事務局費(事務局職員(21地区26人)の賃金や電話の基本料等)を助成している。事務局は、市への申請書や報告書等の作成はもとより、各事業を行うにあたっての地域住民への周知業務や、事業に必要な資材の購入等の予算管理を行っている。
これらの活動を通じて、地区の自治機能が構築され、さまざまな人材や組織の集約がされるようになっている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	101	一般会計	2	1	12	2	2	まちづくり運動助成費	82,243
②									
③									
								関連決算額合計	82,243

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	事務局の運営に欠かせない職員の確保や、そのための安定的な財政支援があることで、各地区のまちづくり活動が円滑に行われている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	まちづくり事務局助成事業

各地区独自のまちづくり活動について情報交換するため、事務局職員で構成する事務局職員会議を年4回以上開催し、他の地区で行っている事業や事務局体制についての情報を共有するとともに、市との連携促進を図る。
また、先進地の視察を実施し、それぞれの特徴や課題に応じたまちづくり活動を計画できる人材を育成する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「ひとづくり」と「まちづくり」を支援します			
施　策	1．各地区の特色を活かした市民との協働のまちづくりを進めます			

事業番号	C102	事務事業名	まちづくり活動助成事業		
所管部局	市民生活部	所管課	地域づくり推進課	係	地域づくり係

目的・概要

地域が主体となった住民自治・参画を促し、顔の見えるコミュニティの醸成と地域の絆を深めることで、まちづくり活動をさらに活性化させていく。
この事業は、まちづくり活動を根幹から支えるものとして機能しており、各地区では、それぞれ独自の活動が行われるようになってきている。

実施状況

21地区に対して、福祉・環境・防犯防災・学習レクレーション等の活動に向け、一般活動費（世帯数にもとづき算出）と、地区広報紙発行のための広報発行費（発行回数・部数にもとづき算出）の2つを基本に支援している。
この助成により、各地区でクリーンデー・敬老会・防災訓練・文化祭・運動会等の様々なまちづくり活動が行われている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	101	一般会計	2	1	12	2	2	まちづくり運動助成費	82,243
②									
③									
								関連決算額合計	82,243

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	まちづくり活動を通じて地区のコミュニケーションが広がり、地域の特性を活かしたさまざまなまちづくり活動が定着している。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	まちづくり活動助成事業

各地区の特性を踏まえながら、自主的な企画・立案・実践に対する支援を継続し、顔の見えるコミュニティづくりに向けて、先進的な事例の紹介や他地区との共同事業の実施について助言する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「ひとづくり」と「まちづくり」を支援します			
施　策	2. 人口減少対策を進めます			

事業番号	C201	事務事業名	空き家バンク構築事業		
所管部局	市民生活部	所管課	人口減少対策室	係	

目的・概要

人口減少問題対策として、平成26年度に「人口減少対策アクションプラン」を、平成27年に「加賀市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、移住定住の促進に取り組む。
U・Iターン者や新婚世代の人々が、住宅を取得しやすいように、空き家等を有効活用し、本市への定住促進及び地域の活性化を図る。

実施状況

人口減少対策アクションプランに基づき、平成27年6月より中古物件斡旋のための空き家バンクを創設した。
公益社団法人 石川県宅地建物取引業協会及び公益社団法人 全日本不動産協会石川県本部と連携し、空き物件を調査した。また、空き家のリスト、データベースの作成、市ホームページ等にて、空き家の物件情報を公開した。

・空き家バンク登録 42件
・成約件数(売却含む) 32件
・空き家バンク物件を購入した内、移住住宅所得助成対象となった人数　12人

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	214	一般会計	8	6	3	1	4	移住住宅所得助成費	150
②									
③									
								関連決算額合計	150

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市外からの移住定住及び既住者の定住が促進され、人口の増加、安定が見込まれる。 空き家の有効活用を促進し、景観・生活環境の保全を図ることができる。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	空き家バンク構築事業

利用希望の多い賃貸物件の登録件数が不足していることから、戸建て住宅に加え、空き室についても登録の対象とするなど事業を拡張し、移住定住の促進を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「ひとづくり」と「まちづくり」を支援します			
施　策	2. 人口減少対策を進めます			

事業番号	C202	事務事業名	移住住宅取得助成事業		
所管部局	市民生活部	所管課	人口減少対策室	係	

目的・概要

平成26年度に人口減少対策として、「加賀市人口減少対策アクションプラン」を策定し、その施策の一つとして移住定住の促進に取り組む。
市外からの移住者を対象に、新築及び中古住宅（市空き家バンク登録物件に限る）の購入に伴う費用を助成し、移住及び既住者の定住を促進する。

実施状況

「加賀市人口減少問題対策アクションプラン」に基づき、平成27年6月より補助金を交付。
新築物件および中古物件の建物取得費の1/2以内を助成。（最大70万円）　・・・①
【 ①とは別に、加算額有。（②、③、④）】
・高校在学年齢までの子どもを持つ世帯に対し、子ども1人につき20万円を加算。　・・・②
・加賀市内の業者等が対象住宅の施工を請負った場合一律30万円を加算。　・・・③
・修景緑化の推進を図るため、植栽整備に要した費用の30%（最大10万円）。　・・・④

平成28年度助成金交付 24件、23,787 千円　移住者数　69 人

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	214	一般会計	8	6	3	1	4	移住住宅所得助成費	23,787
②									
③									
								関連決算額合計	23,787

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

平成28年度には、29件の申請を受付し、21件の新築住宅、3件の中古住宅（加賀市空き家バンク登録物件）の購入に対して助成した。
助成制度を利用した移住者の数は69人で、約4割が県外からの移住であった。
そのうち約5割が子育て世帯、約3割が地元の業者を利用し、若者の定住や地域経済の活性化が図られた。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	移住住宅取得助成事業

平成29年4月から対象要件を緩和し、利用し易い制度としたところであるが、更なる加賀市への移住・定住促進に向け、制度の見直し図るとともに、制度の周知に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「ひとづくり」と「まちづくり」を支援します			
施　策	2. 人口減少対策を進めます			

事業番号	C203	事務事業名	婚活支援事業		
所管部局	市民生活部	所管課	人口減少対策室	係	

目的・概要

若い世代の出会いから結婚・妊娠・出産・子育ての希望が叶う環境を整える。
また、近隣市町に比べて高い未婚率の減少に向けて、ポータルサイトを活用した情報発信を進め、結婚や子育てに対する魅力や知識の浸透、出会いの機会の創出に取り組む。
数値目標として、婚姻届出件数を設定する。（平成31年度　280件）

実施状況

平成28年3月に、結婚＆子育てポータルサイト「kagaみん」を開設し、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない情報発信を行なっている。
また、毎月１回の結婚・恋愛相談会や年3回の婚活力セミナー、婚活事業を行なう民間事業者の情報発信への協力やそのイベント実施にかかる費用の助成を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	99	一般会計	2	1	8	12	1	縁結び支援事業費	10,110
②									
③									
								関連決算額合計	10,110

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

婚活支援事業により、加賀市を含め各種団体等による婚活支援の取り組みが活性化している。
また、結婚・子育て情報を一元化したポータルサイトの開設を機に、市と子育て支援団体等との連携が生まれ、結婚・子育てのしやすい環境づくりが推進されている。
平成31年度末において、婚姻数目標数を280件としており、232件（平成27年度末）から257件と増加しているところであるが、早期の目標達成を目指す。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	婚活支援事業

多くの結婚・子育て世代に情報発信を行なうため、定期的な記事の発信など情報発信強化に取り組み、ポータルサイトのアクセス増を図る。
若い世代に向けた結婚・妊娠・出産・子育ての大切さを伝える「ライフデザイン講座」を実施する。
また、結婚を希望する独身男女に対するきめ細やかなサポートを行なう地域の仲人ボランティア「かが縁結びさん」の募集と、独身男女のマッチング制度の「かがこい」会員数を増やすことで、婚姻数の増加を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「行財政改革」を推進します			
施　策	1．行財政改革を進めます			

事業番号	D101	事務事業名	地方公会計整備事業		
所管部局	総務部	所管課	財政課	係	財政係

目的・概要

総務省が示す全ての地方公共団体に対する統一的な基準による財務書類を作成し、財務情報をわかりやすく開示することにより、市民への説明責任を果たし、市財政の透明性をこれまで以上に高める。

実施状況

平成22年度決算分から財務諸表を作成し、一般会計に特別会計、企業会計を連結し、簡易な作成モデルである「総務省方式改訂モデル」で作成・公表を行い、また、平成23年度決算分からは一般会計に特別会計、企業会計、一部事務組合、広域連合、地方公社（土地開発公社）、第3セクター（加賀市総合サービス㈱）を連結して、「総務省方式改訂モデル」で作成・公表を行ってきている。
また、統一的な基準により財務書類を作成に必要な複式簿記に対応したデータ出力が行えるよう財務システムの改修を行い、また、平成27年度に整備した固定資産台帳についても、引き続きデータの更新等を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	61	一般会計	2	1	5	1	2	地方公会計推進費	77
②									
③									
								関連決算額合計	77

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	これまでの決算書では把握できなかった、資産や負債などのストック情報を明らかにするとともに、公表資料の中でこれらを分析することにより、「資産の老朽度」や「資産のうち将来の世代が負担しなければならない割合」など、新たな視点から市の財務状況を捉えた。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	地方公会計整備事業

平成28年度決算分より、総務省が示す統一的な基準により財務書類を作成することにより、各地方公共団体との財政状況の比較が可能となるほか、持続可能な財政運営を行うために、事業別等の財務書類によるコスト分析等を行い、その結果を行政評価や事業見直し・改善、施設マネジメントなどに活用していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「行財政改革」を推進します			
施　策	1．行財政改革を進めます			

事業番号	D102	事務事業名	公共施設マネジメント事業		
所管部局	総務部	所管課	企画課	係	企画係

目的・概要

本市の保有する学校、福祉施設、庁舎、病院などの「建物施設」や、道路、橋梁、上水道、下水道などの「土木関連施設」の多くは、昭和40年代から昭和50年代に建設されてきた。これら公共施設の多くは、今後、大規模な改修、建替えの時期を迎え、多額の維持・更新費が必要となる。

一方、本市の財政は、長期的な人口減少により市税収入の伸びが期待できず、少子化や高齢化に伴う社会保障関係費が増加するなど、厳しくなることが予測される。

このような公共施設を取り巻く社会環境の変化に的確に対応するため、総合的かつ長期的な視点に立ち、施設全体を最適に維持管理することで、「将来への備え」とする。

実施状況

作成した「加賀市公共マネジメント基本方針」に基づき、各施設所管課における具体的な計画の策定に向け推進を図った。

＜具体的な取り組み＞

旧加賀市民病院と旧山中温泉医療センターを統合し、加賀市医療センターを設置した。

かが交流プラザさくら（旧加賀市民病院）に、保健センターやシルバーワークプラザ等を統合するため、施設改修等を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	公共施設の更新費用の算出結果から、現在保有している全公共施設を更新していくことは不可能であり、今後も施設の統廃合等を積極的に取り組むとともに、個別計画の策定なども進める必要がある。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	公共施設マネジメントの推進

個別計画を策定した施設については、その計画の推進状況を確認し、必要により助言・支援を行う。

また、その他の施設については、課題を整理した上で計画を策定するなど、公共施設マネジメントの推進に向けた必要な助言・支援を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「行財政改革」を推進します			
施　策	1．行財政改革を進めます			

事業番号	D103	事務事業名	行政評価「公開外部評価会」開催事業		
所管部局	総務部	所管課	企画課	係	企画係

目的・概要

本市が実施する行政評価の客観性及び透明性を高めるため、「公開外部評価会」を開催する。
事業担当者自らが行なう内部（事後）評価では、事業の有効性や効率性、施策貢献度等を検証し、翌年度以降の予算編成にも反映（予算編成の「見える化」）させる一連のサイクルを確立させる。
また、市民の関心が高い事業については、「公開外部評価会」において市民目線による検証を行なうことで、事業実施の透明性や有効性を高め、市民参加による市政実現に寄与する。

実施状況

平成27年度に市が実施した事業の中で、特に市民の関心の高い22事業を抽出し、「公開外部評価会」において、「目的に沿ったものか」「必要な事業なのか」など市民目線で検証し、拡充（3件）・適正（24件）・縮小（1件）・廃止（該当なし）に振り分け、予算編成の「見える化」として公表した。
また、「加賀市まち・ひと・しごと総合戦略」で掲げている事業については、産学官金労の代表で構成する「加賀市総合戦略検討会議」において検証し、同じくホームページ等で公表した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	72	一般会計	2	1	8	3	1	企画振興費	364
②									
③									
								関連決算額合計	364

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	内部評価・外部評価を通して事業検証を行うことで、事業の見直しや予算編成の要素として活用し、評価結果についてはホームページ等で市民に公表した。また、市が取り組んだ事業とその予算をわかり易くまとめた「年次報告書」を作成し、市民に公表することで、市政の透明性を高めることができ、有効性・費用対効果は高いと判断される。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	行政評価「公開外部評価会」開催事業

平成29年4月から「第2次加賀市総合計画」がスタートしており、その前期実施計画である「加賀躍進プロジェクト」の事業体系を基に、継続して「公開外部評価会」を開催する。
併せて、「加賀市まち・ひと・しごと総合戦略」の事業についても、「加賀市総合戦略検討会議」において、その進捗状況の検証を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
政　策	「行財政改革」を推進します			
施　策	1．行財政改革を進めます			

事業番号	D104	事務事業名	下水道事業の公営企業会計化移行事業		
所管部局	上下水道部	所管課	経営企画課	係	

目的・概要

下水道事業特別会計を平成29年度より公営企業会計に移行することで、経営状況を明確に把握し、中長期的な観点から課題を洗い出し、持続的で安定的な経営に役立てていく。

実施状況

平成29年度4月からの公営企業会計の開始に向けて、これまで継続している作業や、新たに必要な作業、最終調整が必要な作業などを実施した。
下水道事業特別会計は、平成29年3月を以て打切り決算とし、企業会計に移行した。
地方公営企業法の適用については、最初は財務適用を予定していたが、全部適用とすることに方向転換し、企業管理者は置かず、市長の管理のもとで事業を実施していくこととした。
また、地方公営企業法の全部適用にあわせ、条例、規則、規程等を整理し、職員の身分も含め対応することとした。
これにより、水道事業とあわせて上下水道事業として、より効率的、より一体的な上下水道事業の運営となるよう、努力していくこととなる。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	307	下水道事業特別会計	1	1	1	3	2	一般経費	12,850
②									
③									
								関連決算額合計	12,850

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	廃止
評価に関するコメント	下水道事業の公営企業会計への移行事業は、平成28年度末で、ほぼすべての作業を予定通り完了し、移行事業としてはここで全て終了することとなる。 作業の中で、下水道施設の固定資産台帳の作成と、固定資産管理システムの導入を完了し、今後、資産管理やストックマネジメントを計画的に実施するための、また経営の効率化を図るための仕組みが出来上がった。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

移行事業としては事業が完了し、継続性は無くなるが、これまでの特別会計が企業会計で本格的に運用されることにより、コスト意識、経営の視点を取り入れ、経営管理を意識して実施していくこととなる。
これにより、これまで以上に行財政改革を進めていくこととし、なお一層の住民サービス向上となるよう、実施していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	E_都市基盤
施　策	1．安全な地域社会の形成

事業番号	D105	事務事業名	道路台帳整備委託事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	係	維持管理係

目的・概要

道路台帳は道路管理者が作成する道路に関する調書・図面であり、道路法第28条によって作成が義務付けられている。

実施状況

C-198号線（片山津温泉～片山津町）、B-429号線（勅使町～水田丸町）の2路線1,113mの台帳修正・整備を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	196	一般会計	8	2	1	1	1	道路台帳整備費	1,979
②									
③									
								関連決算額合計	1,979

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	本事業は道路管理者が台帳作成を道路法で義務付けられていることから、今後も継続が必要であると認める。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	道路台帳整備委託事業

道路台帳の整備されていない路線については、整備・改良等で区域に変更のあった路線については修正を進めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E102	事務事業名	九谷焼販売促進活動助成費		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

加賀市の九谷焼を全国に発信する事業を支援することにより、加賀九谷焼の啓蒙普及や振興を図る。

実施状況

加賀九谷陶磁器協同組合に対し、九谷焼普及のため組合員の作品の展示会などを行う展示会事業、九谷焼宣伝普及のためのマスコミに対する宣伝・広告などを行う広告宣伝事業、会議・視察研修会などを行う会議研修事業のうち、展示会などの開催に要する経費の一部として200千円を支援した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	1	九谷焼振興推進費	200
②									
③									
								関連決算額合計	200

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	支援により、新たな企画の着想や、全国的な展覧会への出展等、積極的な活動につながっている。 また、組合独自で海外の展示会に参加・出展を行うなど、精力的な活動にも展開している。 この通り、国内外に向けた地域特有の伝統産業である九谷焼の普及および振興に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

加賀市が誇る伝統工芸品の1つである九谷焼を全国に発信する機会として、首都圏及び関西圏を中心に様々な展示会等が企画されている。
これにより、九谷焼の歴史を多くの方に知っていただき、九谷焼の原点が加賀市にあるということを認知していただく。さらに、加賀九谷の将来を担う若手の育成につなげていくためにも、今後も市としてもできる限りの補助を行うつもりであるが、助成団体である組合が事業主体である側面が強いことを鑑み、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E103	事務事業名	伝統工芸等担い手販路開拓支援事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

伝統工芸等の若手従事者グループが、販路拡大を目的とした展示会や販売会などを開催または参加することに対し、支援を行う。実際に消費者やバイヤーなどと対面して触れ合うことにより、自身の販路の開拓とさらなるスキルアップに取り組むことを支援し、市内伝統工芸産業の振興を図る。

実施状況

平成28年度は、九谷焼制作に従事する3人のグループの宮城県における展示会（「金沢・能登　美味と美技展」会場：仙台三越本館7階ホール）と、九谷焼や山中漆器の製作に従事する8人のグループの神奈川における展示会（「愉しく、食卓　加賀の器たち」会場：伊勢丹相模原店5階）を支援した。（1/2補助300千円限度額）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	2	伝統工芸等担い手育成費	481
②									
③									
								関連決算額合計	481

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	展示会において、次の個展のきっかけとなるような出会いが生まれるなど、担い手の販路開拓につながっている。 また、担い手の自己資金のみでの出展は難しく、出展をあきらめざるをえないこともあり、若手担い手が販路開拓を行っていく上で、市からの補助は、有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	伝統工芸等担い手販路開拓支援事業

事業内容の周知活動を強化し、伝統工芸に関連する団体と協力しつつ、担い手の支援及び市内伝統工芸産業の振興につなげていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E105	事務事業名	新商品開発助成費		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

新商品や新技術開発を行う市内中小企業者を応援し、創造的企業の育成を促し、地場産業の強靭化を図る。
（新商品開発助成事業）
市内の中小企業者等（常用雇用従業員が50人未満）が行う既存商品等の改良や新商品・新サービスの開発に必要となる費用の2分の1以内、500千円（販促費は300千円）を限度とし助成している。
（産学官連携助成事業）
市内の中小企業者等（常用雇用従業員が50人未満）が大学や国公立試験機関などと契約し、共同で実施する新製品・新技術や製造・生産方法などに関する研究において製品化が見込まれる事業に対し費用の2分の1以内、800千円を限度とし助成している。

実施状況

（新商品開発助成事業）
・H27申請数5件（採択数4件（伝統工芸2件、加工食品2件））
・H28申請数5件（採択数5件（伝統工芸2件、加工食品2件、一般製品1件））

（産学官連携助成事業）
・H27申請数1件（採択数1件（㈱新木プラスチック工業所：3Dスキャナーを利用したファン成型金型の開発））
・H28申請数1件（採択数1件（石川樹脂工業㈱：プロパン用ガスタンクプリフォーム一層成形品の開発））

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	2,858
②									
③									
								関連決算額合計	2,858

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業を通し、事業者の開発意欲を向上させ、市場性のある新商品や新サービス創造の促進に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	・産学連携技術開発事業 ・新商品開発助成事業

本市の未来都市像である「スマートウエルネスKAGA」の実現に向け、「加賀市産業振興行動計画」の3つの柱の一つである地盤産業の強靭化を図るため、今後においても事業を継続し、加賀商工会議所を初めとする市内経済団体と協力して、公益性や時代に即したニーズを勘案し、より一層の市内商品開発を促し市内企業の技術開発を促進する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E106	事務事業名	産学官連携体制構築事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

加賀市と包括連携協定を結ぶ大学などの有識者と産業界、金融、行政による連携推進体制を構築し、本市産業の発展を図るための企業の成長と創業、更には誘致を含めた戦略を検討する。

実施状況

政策研究大学院大学名誉教授の橋本先生を座長とし、本市と包括連携協定を結ぶ金沢工業大学、北陸先端科学技術大学院大学、北陸大学等の有識者と、市内産業界、金融界、行政と連携した「加賀市産学官連携円卓会議」及び「専門部会」を平成26年6月27日に設置し、本市の課題である「中小企業振興基本条例」及び「産業振興行動計画」の策定に対する助言・検討を行った。

平成26年12月22日に「加賀市中小企業振興条例」、平成27年10月13日に「加賀市産業振興行動計画」スマートウェルネスKAGAへの行動計画を策定した。

平成28年度には、本会議に対して「加賀市産業振興行動計画」の進捗状況を報告し、作成するだけでなく実行を伴った計画であると一定の評価をいただいた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	980
②									
③									
								関連決算額合計	980

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	平成28年度については委員から本計画の各事業に関する有益な助言や提案をいただき、「加賀市産業振興行動計画」の推進に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	産学官連携体制構築事業

平成29年度については、新たな産業課題に対応させ、適示性を確保するために「加賀市産業振興行動計画」の見直しを行うことで、さらなる効率性、効果的な産業振興を推進していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E107	事務事業名	産業人材育成支援事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

市内事業所の経営者及び従業員の能力の向上などを目指した取組の支援を行うことで人材育成を図り、それをもって企業の安定・発展を促し、地域産業の振興を図る。

実施状況

市内事業所の経営者及びその従業員を対象に、産業人材としての能力開発を目的としたセミナー、講習会など、以下の6つの研修事業等に対し、開催を支援した。
①全業種共通研修（計6回、延べ192人が参加）
②業種別研修（計24回、延べ258人が参加）
③経営力向上研修（計4回、延べ40人が参加）
④研修助成（計3事業所、延べ11人が参加）
⑤技術・オペレーション能力強化研修（計7回、延べ42人が参加）
⑥女性就労支援研修（計14回、延べ75人が参加）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	2,200
②									
③									
								関連決算額合計	2,200

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	小規模事業者にとって、自ら研修プログラムを企画、実施することが困難であることから、事業所が存在する地域で無料若しくは低廉な額で受講できる本事業は、中小企業等からも、良い評価をいただいており、企業の将来を担う人材の育成は極めて重要であることからも継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	産業人材育成支援事業

加賀市産業振興行動計画に基づき、地盤産業の強靭化及び持続可能なものづくり企業の集積地の実現を図るため、現行の事業を継続して実施するとともに、IT人材など企業ニーズに即応したものや、女性の創業や就労支援に特化した事業を含め、産業人材の育成支援を検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E108	事務事業名	ロボット研究支援事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

（加賀ロボット研究会）
「スマートウェルネスKAGA」の推進を目指し、市内企業の技術開発強化・成長が見込まれるロボット産業分野への参入促進など、市内ロボット産業の育成を図る先駆的な取り組みを行う為、標記研究会が市内機電振興協会の企業を中心にH27.7発足。
【役員】会　長　東野　哲郎　東野産業株式会社　社長、委員長　桧森　隆一　北陸大学　副学長
【委員】企業：大同工業㈱、東野産業㈱、新家工業㈱、㈱月星製作所、㈱江沼チエン製作所、㈱ソディック加賀事業所、加賀村田㈱、ﾅｲﾃｯｸ･ﾌﾟﾚｼｼﾞｮﾝ･ｱﾝﾄﾞ･ﾃｸﾉﾛｼﾞｰｽﾞ㈱、㈱オリテック9社から選出
行政関係：石川県工業試験場、加賀市（商工振興課）

実施状況

・平成28年　8月31日：第一回ロボット研究会（年間活動計画）
・平成28年　9月27日：第二回ロボット研究会（今後の研究活動の方向性について）
・平成28年10月14日：第三回ロボット研究会（JapanRobotWeek2017視察について）
・平成28年12月19日：第四回ロボット研究会（企業のロボット導入に関するアンケートの検討について）
・平成29年　1月17日：第五回ロボット研究会（講演会・工場見学会の開催について）
・平成29年　1月27日：加賀ロボット研究会講演会（テーマ：「生産性向上に向けた」産業用ロボット導入について
　講師：さがみはらロボット導入支援センター統括コーディネーター　宮川孝文氏）
・平成29年　2月27日：最先端ロボット導入企業見学会（見学先：村田機械㈱加賀工場）
・平成29年　2月29日：第六回ロボット研究会（平成29年度活動内容について

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	2	2	工業生産振興費	1,693
②									
③									
								関連決算額合計	1,693

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	最先端のロボット産業特区の学識経験者を招いた講演会や最先端のロボット導入企業への見学会を開催するなど、ロボットを活用しての企業課題である「生産性向上」、「競争力の強化」、「労働力不足の解消」に向けての研究を行ったとともに成長分野であるロボット市場の動向やニーズを把握するなど、ロボット産業の知識や人脈を広めたことは、「スマートウェルネスKAGA」の促進に極めて有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ロボット研究支援事業

本市の未来都市像である「スマートウエルネスKAGA」の実現に向け、「加賀市産業振興行動計画」の3つの柱の一つである地盤産業の強靭化を図るため、今後においても事業を継続し、加賀機電振興協会を初めとする市内経済団体と協力して、より多くの参加企業を募り、本研究会で検討した中での方向性である「ロボットを活用した仕事の作業効率向上と品質改善」に向けての研究会を開催していくともに、国などの学識経験者を招いた講演会や最先端のロボット導入企業の見学会などを通して、更なるロボット産業の知識や人脈を市内企業に広めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E109	事務事業名	ロボレーブジャパン国際大会推進事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

長期的な産業人材の育成を図るため、国際的な児童・生徒のロボット教育プログラムである「ロボレーブ」大会を開催し、ロボット動作のプログラミングの学習や、操作の体験を通じて、子どもの科学とものづくりへの興味・関心を高め、創造力や柔軟な思考力を育むともに、海外の子どもたちとの交流を通じて、裾野の広い将来のものづくり人材や技術者の育成を目指す。

実施状況

H28年11月11日～13日の3日間にかけ、加賀市スポーツセンターにて第2回目となる「加賀ロボレーブ国際大会」を開催した。海外4ヶ国から66人の参加者を含めた、計289人の児童・生徒が競技に参加した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	2	工業生産振興費	9,198
②									
③									
								関連決算額合計	9,198

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市内子どもたちの科学とものづくりへの興味・関心を引き起こしたほか、言語の壁を越えた国際的な交流を経験することで自身の価値観を広げることができ、有効であると認められることから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ロボレーブジャパン国際大会推進事業

本市の未来都市像である「スマートウエルネスKAGA」の実現に向け、「加賀市産業振興行動計画」の3つの柱の一つである地盤産業の強靭化を図るため、今後においても事業を継続し、（一社）加賀機電振興協会を初めとする市内経済団体と協力して、参加者のモチベーションの向上に向けた取り組みや競技の進行などを見直しながら、全国的に参加者及び協賛企業の増加や新たな参加国の追加を促し、より一層の視野の広いものづくり人材や科学技術者の育成を目指していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E110	事務事業名	山中漆器産地振興対策助成事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

山中漆器の振興と、産地活性化の積極的推進を行うため、市内外の展示会の開催・参加や人材育成事業に対し支援を行う。

実施状況

見本市や常設展の展示会開催に対する事業（JAPAN漆YAMANAKA2016、いしかわ伝統工芸フェア2017、青山スクエア常設展示、県立伝統産業工芸館常設展示等）や、後継者育成事業、伝統工芸士育成事業（伝統工芸士認定事業等）に対する支援を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興推進費	4,900
②									
③									
								関連決算額合計	4,900

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	山中漆器は、産業として地域経済に果たす役割と併せて地域文化面での貢献度も高い。山中漆器の振興に寄与し、山中漆器産業の活性化につながったことから、本事業は有効であり継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

山中漆器産業の振興のため、支援は継続していくが、他の展示会等に対する補助と合わせ、効果的な支援を検討していく。
助成団体である組合が事業主体である側面が強いことを鑑み、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E111	事務事業名	山中漆器祭開催助成事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

山中漆器と地域社会との交流と、一般消費者に対する広報宣伝・イメージアップ、並びに地場産業への理解を深めるとともに、業界・地域の振興と活性化を図る。

実施状況

BIGやまなかフェア「山中漆器祭」開催（5月3～4日）について、会場設営費、会場運営費、広告宣伝費、イベント費に対して支援を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興対策費	2,300
②									
③									
								関連決算額合計	2,300

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	毎年多くの来場者を集める「山中漆器祭」は、ゴールデンウィーク中のイベントとして定着している。地場産業の活性化、イメージアップに有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

引き続き本事業に対し支援を行い、山中漆器連合協同組合と連携しながら「山中漆器祭」のイメージアップと業界・地域の活性化を図る。また、加賀市の他の特産品をも含めたPRの場とする。
助成団体である組合が事業主体である側面が強いことを鑑み、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E112	事務事業名	山中木製漆器新作見本市開催助成事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

伝統工芸山中漆器の総合見本市を消費地の大型展示会において開催することにより、山中木製漆器の心と技を全国発信するとともに、新たな販路開拓を図る。

実施状況

第82回東京インターナショナルギフトショー秋2016（会期：平成28年9月7日～9日）に出展し、その中で山中漆器新作発表会として開催した。
・11社　約1,000点出展
・商談件数　444件
・商談金額　621万円

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興対策費	700
②									
③									
								関連決算額合計	700

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業の実施により、山中木製漆器の実際の商談に結びつき、地場産業の活性化に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

山中漆器産業の振興のため、支援は継続していくが、他の展示会等に対する補助と合わせ、効果的な支援を検討していく。
助成団体である組合が事業主体である側面が強いことを鑑み、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E113	事務事業名	山中木地挽物技術保存会助成事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

山中漆器産地に伝承されている木地挽物技術の保存と向上を図る。

実施状況

山中木地挽物技術保存会が実施する事業（研修事業、漆・欅の育樹事業、協賛・協力事業）に対して支援を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興対策費	100
②									
③									
								関連決算額合計	100

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	木地挽物の高い技術を保存し向上を図ることは、後継者へ引き継ぐために非常に重要なことであり、本事業は山中漆器の木地挽物の技術の継承に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

山中漆器の木地挽物は高い技術であり、木地挽物技術の保存と向上を図るため、本事業を継続する。
助成団体である組合が事業主体である側面が強いことを鑑み、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E114	事務事業名	石川県伝統産業合同見本市開催助成事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

大消費地である東京において、県内に高度に集積している伝統的工芸品の商取引の機会を増大し、ひいては県内伝統産業界の振興発展に寄与するため、県内国指定伝統的工芸品10業種、県指定6業種未指定20業種を一堂に集めた合同見本市の開催を支援する。

実施状況

「いしかわ伝統工芸フェア2017」開催（東京ドームシティ・プリズムホール　会期：平成29年2月3～5日）
開催にかかる会場関係費（設営費、会場借料、受付警備、企画運営）、 広報宣伝費（新聞広告、ダイレクトメール、ポスター、チラシなど）、会議費（運営委員会、実行委員会など）、事務費に対して支援した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興対策費	1,600
②									
③									
								関連決算額合計	1,600

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	県内の伝統的工芸品全36業種が一堂に会した合同見本市であり、参加団体、来場者とも漆器業界のみならず多岐にわたる。 また、各参加者が良き競争意識のもと開催する本事業は、山中漆器を含めた県内伝統産業界の振興発展に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

山中漆器を含めた県内伝統工芸産業界の振興発展のため、継続して支援する。
助成団体である組合が事業主体である側面が強いことを鑑み、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E116	事務事業名	山中漆器技術マーケット開拓助成事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

海外向け新商品開発及び国際見本市、国内見本市の出展に対し支援することにより、山中漆器の海外の販路開拓を行う。

実施状況

ターゲット市場向けの新商品開発及び海外バイヤーが来場する商談会への参加やパンフレット作成、現地大型小売店への出店に対し支援を行った。
新商品開発：弁当箱24点（日本伝統色シリーズ）、携帯電話カバー3点（日本伝統絵柄）、ぐい呑み9点、カップ6点、ライトスタンド10点
商談会参加：JETRO中国販路開拓商談会（平成29年1月16日　東京都JETRO本部）、中小企業総合店（平成29年2月8日～10日　東京都ギフトショー会場）、ショップ展示会東京（平成28年11月16日～18日　東京都渋谷区）、ショップ展示会大阪（平成28年11月24日～25日　大阪市中央区）、名古屋テーブルトップショー（平成29年1月18日～19日　名古屋市国際展示場）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興対策費	530
②									
③									
								関連決算額合計	530

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	海外向け商品開発や販路開拓を図り、山中漆器産業の振興に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	山中漆器技術マーケット開拓助成事業

海外向けの商品開発及び販路開拓を図ることは、山中漆器産業の振興のため重要なことであるが、他の展示会等に対する補助と合わせ、効果的な支援を検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E117	事務事業名	JAPANブランド育成支援事業「先進国ブランド展開事業」		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

山中商工会が、山中漆器連合協同組合と協力し、展示品の試作とその展示会を行う。山中漆器の新たなデザインと取り組みを自らの創意工夫で生み出し、販路開拓を築く機会を作る。

実施状況

シンガポールビジネス商談会（平成28年7月15日　グランド・ハイアット・シンガポール）、IFFT（Interior Lifestyle　Living）2016（平成28年11月7日～9日　東京ビッグサイト）、第83回東京インターナショナルギフトショー春2017（平成29年2月7日～10日　東京ビッグサイト）、加賀能登のれん市（平成29年2月22日～3月1日　博多阪急デパート）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興対策費	380
②									
③									
								関連決算額合計	380

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	「山中漆器の技術を売る」、「客からの商品製作要望・提案に応える」ことで、製品のニーズをさぐることを意図した本事業は、山中漆器の今後の販路開拓に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	JAPANブランド育成支援事業「先進国ブランド展開事業」

山中漆器のブランド力を強化することは重要であり、支援は継続していくが、他の展示会等に対する補助と合わせ、効果的な支援を検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E118	事務事業名	教育国際大会参加事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

「加賀ロボレーブ国際大会」は平成26年度から市が開催している事業で、より多くの児童生徒が参加するよう、幅広い周知や大会参加者への支援をおこなっている。児童生徒における科学探究心の養成と、国際理解の推進を目的としており、加賀市が掲げる理工系教育の強化という方針にも合致している。また、科学的・国際的分野において地域発展に貢献できる人材の育成もねらう。

実施状況

平成28年5月4日～9日にアメリカで開催された「ロボレーブ国際大会」に加賀市の小中学校児童生徒7名が参加し、教育委員会からは参加費用の助成を行った。
平成28年11月11日～13日に「加賀ロボレーブ国際大会2016」が開催され、教諭の協力を得ながら各小中学校児童生徒に参加を呼びかけた。さらに、各学校において大会参加に向けたロボット操作練習が出来るよう指導員となる教諭を対象としたロボット操作研修を実施した。その結果、中学生30名、小学生181人の参加があった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	238	一般会計	10	1	2	3	5	教育交流活動費	8,785
②									
③									
								関連決算額合計	8,785

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	多数の児童生徒にプログラミングやものづくりの機会を提供することができ、科学探究心の醸成につながった。さらに異国の児童生徒と交流をすることで、国際感覚を向上させることもできた。引き続き、加賀ロボレーブ国際大会に、より多くの児童生徒が参加できるよう、周知方法や指導員の育成方法等を工夫していく必要がある。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	国際教育交流事業

加賀市において毎年開催している「加賀ロボレーブ国際大会」に参加する児童生徒を、学校を通じて広く募集する。さらに、各学校においてロボット操作（プログラミング）を学ぶことができる体制の構築も検討する。
なお、平成29年度は市内中学校に計230台のロボレーブを購入して大会参加者の拡大に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	1．地場産業の基盤強化を進めます			

事業番号	E119	事務事業名	商業活性化推進事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

商店街等は、地域コミュニティの担い手として住民生活の維持にとって重要な役割を果たしているが、商店街等を取り巻く環境は厳しいものとなっている。地域商業の活性化に対する取り組みに対して支援を行うことにより、商店街の活力向上及び商店街を中心とする地域の活性化を図る。

実施状況

県の商業活性化推進基金事業（県1/3、市1/3、地元1/3）を活用し、支援を行った。
当該事業を活用し、片山津商工振興会は「花と景観でもてなす片山津温泉」を、山代温泉商工振興会は「山代温泉「器」物語」を、山中商工会は「「湯のまち」商店街事業」を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	2	商業地域活性費	2,708
②									
③									
								関連決算額合計	2,708

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	同一内容の事業の継続支援が認められなくなってきており、各商店街は常に新しいイベントや事業を企画し、地域の特色を生かしながら、イベントなどのソフト事業に取り組む商店街を、国や県と協調して支援することは、商店街の組織基盤の強化、活動の活性化、魅力向上や商業集積に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

商店街が実施するイベントや魅力向上等への支援については、商店主の意欲向上と連帯意識を高めることで商店街の活性化につなげることができることから、国や県の補助メニューの活用も図りながら、継続して実施していく。
多核分散の地域構造の中で、温泉地を中心とした商店街の活性化を図ることは、地域産業の振興につながるものであることから、国や県の補助メニューの活用を図りながら、商店街の組織力強化と集客力の向上を目指す。石川県との協調補助事業であり市の単独事業でない為、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	2. 地域資源を活用したメイドイン加賀の展開を進めます			

事業番号	E201	事務事業名	地産地消・6次産業化推進事業		
所管部局	経済環境部	所管課	農林水産課	係	農業政策係

目的・概要

市内小中学校において地産地消・食育の重要性を啓発する。
農業体験や食育教室の実施により、農業の大切さ・理解を深め、地産地消の拡大と地元農業の活性化を図る。
加賀市産農産物の6次産業化を進め、JA加賀等が商品開発・販売した商品に支援する。又、地元農産物販売と消費拡大を図る。

実施状況

南加賀地域の市町、JAと南加賀公設市場、県が連携し、各市町の店舗への地産地消コーナー設置や小学校での食育教室の開催、地元の農産物（米、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、かぼちゃ、梨、ぶどう等）を学校給食に使用することや、9月に行った「KAGA健康ﾌｪｽﾀ2016」において加賀九谷野菜を使った料理の試食、JA加賀による地元農産物の直売を行うことで、地産地消の拡大及び地元農産物の販売と消費拡大が図られた。
市の単独事業としては、生産者と小学生が行うジャガイモ収穫に対する助成、JA加賀が6次産業化の為、商品開発した「味平かぼちゃ焼酎」の販売に係る助成も行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	183	一般会計	6	1	3	1	1	農産物生産対策費	802
②									
③									
								関連決算額合計	802

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	小学校での食育教室実施については、前年度と比較し増加となった。（17校→18校）又、JA加賀が商品開発した「味平かぼちゃ焼酎」に係る助成事業は販売促進に繋がった。 学校給食への加賀市産農産物の導入、イベント等を活用した加賀市産農産物のPR等についても、継続して行っていることから、地産地消・食育の推進に繋がっている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	地産地消・6次産業化推進事業

H29年度から、JA加賀を中心に産学官による「6次産業化事業」への連携・支援を行っており、「地産地消事業」については、地元農産物の学校給食への使用、市のイベント等での販売等を継続していくとともに、新たに「JA加賀あぐりスクール」への支援を行うことで、市内の小学生への「地産地消」、「食農教育」を推進していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	2. 地域資源を活用したメイドイン加賀の展開を進めます			

事業番号	E202	事務事業名	食のブランド化事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

加賀市の豊かな自然と伝統文化を背景とした、片野鴨池の「坂網鴨」や橋立のカニ、地元産の農産物などの優れた食材・食文化、更には九谷焼・山中漆器などの伝統工芸品を生かした新しい「食」を創造・発信・PRすることにより加賀の「食のブランド」化を推進し、ついては加賀市の魅力発信と商工業・観光の振興を図る。

実施状況

平成29年1月21日及び2月4日に、公募による一般の方を対象に、鴨池での坂網猟の見学、市内料亭での坂網鴨のフルコースディナーに酒蔵や展観施設の見学を組み合わせた「坂網鴨食談会」を開催した。（鳥インフルエンザの影響で2月4日は猟見学中止）

平成29年3月24日には台湾の有名ブロガーであるVera氏を招聘し、坂網鴨料理と鴨池を中心とした加賀の各所を取材いただき、ブログやフェイスブック等による発信を行った。

また、平成28年11月29日に開催された加賀調理師会主催の鴨料理勉強会に天然鴨を食材として提供した。そのほか、「坂網鴨」のブランド保護のため商標登録の申請を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	4	特産品振興事業費	1,512
②									
③									
								関連決算額合計	1,512

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	食談会を継続して開催することや、海外の有名ブロガーを招聘することで、閲覧者が多く影響力の高いブログへの紹介記事の掲載や食談会参加者の方々によりSNSや雑誌上で紹介していただく機会が増え、「坂網鴨」や橋立のカニなどの加賀の食材や食文化に対する国内外での認知度が高まってきている。全国的な認知度向上により「坂網鴨」の商標登録も可能であると判断されることから現在登録申請も行っており、商標登録による差別化によって今後いっそうのブランド力の向上が期待できる。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	食のブランド化事業

北陸新幹線の金沢開業以降の首都圏からの観光客を加賀市へ誘客するためにも、「加賀の食ブランド」の認知度向上への取り組みの必要性はいっそう高まっている。

平成26年度から開始している加賀市内での鴨料理普及事業については、今後も引き続き強化していき、市内での鴨料理の普及を促していく。逆に、坂網鴨食談会ツアーについては、民間旅行社等への売り込みを強化するなど、自立を促していく。また、海外及び全国的な知名度向上に向け、首都圏での坂網鴨等の加賀の食に関するイベントの開催やプレスの誘致・招聘なども積極的に行っていく。

坂網鴨はその捕獲数から、基本的に市外に流通しない食材であるが、そのような坂網鴨を国内外問わず継続的にアピールし、「加賀の食」「加賀の味」として育てていくことにより、それらの食を目的とした観光客の誘致・加賀に来て食すという流れをつくり、加賀市への誘客及び地元での消費につなげていくこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	2. 地域資源を活用したメイドイン加賀の展開を進めます			

事業番号	E203	事務事業名	企業等顕彰事業		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

市内企業の範となる企業やものづくり人材の範となるものづくりの匠を顕彰することで、働きやすい環境や人材の育成を図り、市内企業の成長を目指す。
（ 加賀市優秀企業顕彰）
要件：過去に、国県及び関係団体等により、労働環境の改善や企業価値向上等に係る企業表彰や商品開発等にかかる表彰もしくは認証等を受けた実績がある市内企業
（加賀市ものづくりの匠顕彰）
要件：過去に、国県等の技能検定最高位を受け後進の指導などにも尽力している者。
（定年引上げ等事業所顕彰）
要件：市内に本社を有するとともに、社会保険に加入し常時使用する労働者が10人以上の企業であり、定年年齢が65歳以上もしくは定年制度の廃止・希望者全員を対象とする70歳以上までの継続雇用制度の導入している企業

実施状況

【実績】
加賀市優秀企業顕彰：　平成27年度実績　1件（加賀発条㈱）　平成28年度実績　1件（㈱ソディック）
加賀市ものづくりの匠顕彰：平成27年度実績　0件（該当なし）　平成28年度実績　0件（該当なし）
定年引上げ等事業所顕彰：平成27年度実績　0件（該当なし）　平成28年度実績　0件（該当なし）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	25
②									
③									
								関連決算額合計	25

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	企業の先進的な事業活動を顕彰することで、企業価値の向上、地域ブランド強化に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	企業顕彰事業

本市の未来都市像である「スマートウエルネスKAGA」の実現に向け、「加賀市産業振興行動計画」の3つの柱の一つである地域資源の活用を図るため、今後においても事業を継続し、加賀機電振興協会を初めとする市内経済団体と協力して、より多くの企業が顕彰されるように本顕彰制度を周知していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「産業」の成長と創造を図ります_「スマートウェルネスKAGA」の推進			
施　策	3. 新たな産業の創造に向けた取り組みを進めます			

事業番号	E301	事務事業名	企業誘致推進事業		
所管部局	経済環境部	所管課	企業誘致室	係	

目的・概要

企業立地を推進することにより雇用の場を確保し、市民生活の安定を図るとともに、人口減少、特に若年者や女性の市外への流出を抑制する。さらに土地の有効活用、企業の設備投資を促し、税収の増加を図る。

実施状況

・室員による企業訪問、進出を検討する企業への用地等の紹介、立地にあたっての地元関係団体等との調整、効果的な企業誘致手法の調査研究を実施。
・企業誘致の経験、知識に長ける「企業誘致専門官」を、平成27度より配置している近畿圏1名に加え、首都圏にも1名増員し、積極的かつ効果的な誘致活動を積極的に実施。
・速やかに企業立地が行えるよう事業所適地を選定するための土地調査を実施。
・企業誘致に有益な情報を提供し、進出を希望する企業との連絡調整、協議の仲介等を行った「企業誘致推進員」に対して成功報酬を支払い。
・専門学校誘致にあたり、学生寮として活用する旧医師官舎の補修費を負担。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	6	1	企業誘致推進費	29,865
②	174	一般会計	7	1	2	6	5	工場団地管理費	145
③	174	一般会計	7	1	2	6	6	企業立地環境整備事業費	11,880
								関連決算額合計	41,890

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・昨年度までに進出を表明していた市外2企業（小松ウオール工業㈱、エネックス㈱）が操業を開始したほか、市内2企業（㈱ソディック、㈱昭宝製菓）が拡張し操業を開始、また市内1企業（㈱ナカジ・ペイント・ワークス）が新規操業するなど、186名の新規常用雇用の場が創出された。 ・近畿圏に配置している「企業誘致専門官」の協力もあり、大阪の企業1件（㈱エムケーエンジニアリング）が進出を表明し、平成29年4月より操業を開始している。 ・旧加賀市民病院の活用が課題となる中、地域の賑わいづくり、地域の人材育成につながる専門学校の誘致を目指した結果、専門学校アリス学園が進出を表明し、外国人向け日本語学校が平成29年4月に開校した。 ・企業等の進出により、雇用の場の創出、地域経済の活性化、人口減少の抑制など大きな効果が期待できる。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	企業誘致推進事業

・スマートウェルネスKAGAの推進、成長産業分野の企業誘致を進めるため、情報収集や企業訪問を積極的に行う。
・企業誘致専門官を首都圏に配置し、都市圏での誘致活動を継続する。
・新たな産業団地の整備に向け、必要な調査等や費用の試算等を行い検討を進める。
・企業立地促進法の改正をふまえ、新たな分野の企業に対する支援や進出を考える企業が加賀市での投資意欲が沸くよう支援内容の見直しを行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F101	事務事業名	都市圏出向宣伝事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

首都圏を中心に、関西、中京などの都市圏、北陸新幹線沿線地域などにおいてPR活動を行うことにより、加賀温泉郷の知名度の向上を図りながら新たな観光客層の需要を開拓する。

実施状況

観光フォーラムや大規模旅行見本市への参加、東京でのイベントへの観光物産ブースの出展、旅行会社やメディアに対する販売促進会議の開催などに職員が出向し、加賀市の観光情報を効果的に発信した。。
また、大手旅行会社とのタイアップによる旅行商品の企画にあわせ、店頭での加賀温泉郷キャンペーンを実施し、職員による観光PRの強化を図った。
さらに、石川県人会や加賀江沼のもん会(東京在住加賀市出身者の会)の催事において、郷土の魅力を再発進することで口コミでの観光誘客を図った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	157	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	2,596
②									
③									
								関連決算額合計	2,596

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	官民が一体となり観光PRを推進する中で、行政が積極的に事業展開を図ることで、加賀温泉郷全体での連帯感や一体感が生まれ、効果的な観光プロモーションが図られる。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	出向宣伝事業

北陸新幹線金沢開業効果を少しでも維持させながら、関西や中京などの都市圏、金沢などの近隣地域への観光PRを推進する。
また、北陸新幹線敦賀延伸を見据えた観光プロモーションを戦略的に展開する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F102	事務事業名	コンベンション誘致助成事業		
部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進係

目的・概要

加賀市内で50人以上の宿泊を伴う、市内及び近隣市町で開催されるコンベンション（大会、総会、会議、学会、研修会、講習会、セミナー、シンポジウム、見本市、文化イベント、スポーツイベント、合宿、修学旅行など）の開催に要する経費の一部を助成することで、コンベンション開催を促進し、加賀温泉郷への誘客を図る。

実施状況

平成28年度は、122件のコンベンション開催に対し助成を行った。参加者数は18,251人、市内延べ宿泊数は18,744泊であった。
助成内容は、1人あたり、学会700円、合宿・修学旅行1,000円、その他（大会、総会、会議等）の助成金交付を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	5	コンベンション誘致推進助成費	13,736
②									
③									
								関連決算額合計	13,736

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

平成27年度と比較すると、コンベンション参加者数は493人の減、市内延べ宿泊数は1,113人の減であったが、開催件数は18件の増加となった。
旅行代理店や宿泊施設が、コンベンション開催誘致を促すための有効な施策であり、結果として誘客につながっている。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	コンベンション誘致助成事業

北陸新幹線金沢開業により首都圏からのアクセスが向上したことから、今後も加賀市及び近隣市町でのコンベンション開催件数は増加していくことが予想される。
加賀市内での宿泊誘致を強化するため、平成29年度からは助成対象を宿泊数が「30人以上」であるものに条件を緩和し、コンベンション開催を促している。
あわせて、平成28年度からは北陸新幹線金沢開業効果が落ち着くことを見越し、旅行会社向けに加賀市内で30人以上（平成29年度からは20人以上）の宿泊を伴うMICE開催に対する助成制度も創設している。
今後も事業を継続し、誘客促進を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F103	事務事業名	首都圏プロモーション事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

北陸新幹線金沢開業2年目を迎える中で、その効果が薄れることの無いよう、加賀温泉郷が連携し、地域の魅力を高めながら、都市圏における観光PR活動を強化し、観光誘客の促進を図る。
地域の魅力づくりや観光情報発信において優れたノウハウを有する事業所（株式会社リクルートライフスタイル）にプロモーション業務を委託し、「加賀市観光戦略プラン」に基づき、効果的な観光誘客施策を戦略的に展開する。

実施状況

インターネットや旅行雑誌による情報発信など、首都圏を中心とした都市圏に向けた観光プロモーションを強化した。
特に、北陸新幹線金沢開業2年目によるブーム低下が懸念される中、インターネット旅行商品における割引クーポンキャンペーンを大々的に展開し誘客促進を図った。
新ご当地グルメ「加賀カニごはん」や「加賀パフェ」の販売促進を進めるとともに、若者向け企画「タダ湯めぐり」などのPRなどを展開し誘客促進を図った。
市長を先頭に首都圏の旅行業者へのトップセールを実施するとともに、大手旅行業者とのタイアップによる旅行商品の企画造成を進めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	42,890
②									
③									
								関連決算額合計	42,890

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	北陸新幹線金沢開業ブームが下火になりつつ北陸の温泉地がかなり苦戦する中、加賀市においては戦略的な観光プロモーションが展開されたことにより、対前年比で若干微減と堅調に推移しており、事業効果は大きかったと解される。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	首都圏プロモーション事業／旅行商品企画販売促進事業

近年大きく減少傾向にある近隣地域からの誘客も見据えながら、首都圏を中心とした都市圏への誘客強化を図る。
特に、インターネットによる効果的な情報発信や旅行会社とのタイアップを強化しながら首都圏市場を開拓し、新たな顧客ターゲットへの観光プロモーションを展開する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F104	事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

加賀温泉郷全体が連携して総合的な観光情報の発信や宣伝事業を展開し、また加賀温泉郷の魅力を効果的にPRすることで、観光誘客の促進を図る。

実施状況

一般社団法人加賀市観光交流機構に業務委託し、加賀温泉郷の観光情報を一元的に発信した。新聞やラジオなどで旬の情報を発信し、加賀市観光ポータルサイトによるインターネットでの情報発信も強化し年間ビュー数は210万件となった。散策マップなどの刷新増刷や加賀温泉郷トートバックの作製などの観光資料も充実させた。来年度の配信に向けたPR動画の企画製作にも取りかかている。都市圏に向けては、首都圏・関西圏・中京圏の旅行会社へのPRキャラバンを派遣するとともに、冬の味覚「橋立産カニ」をPRするため旅行会社対象のフェアにも積極的に参画した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	19,500
②									
③									
								関連決算額合計	19,500

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	市や観光交流機構がバラバラで宣伝活動を行うのではなく、当該事業の中で、連携を図りながら一体的に事業が展開されており、効果的なPRが図られた。 温泉地だけではない総合的な地域の魅力をPRし、加賀温泉郷全体の情報発信を行う事が出来ており、北陸新幹線金沢開業効果の持続につながっている。 特に、北陸新幹線金沢開業2年目を迎える中で、その効果が薄れることの無いよう、魅力的な観光情報を戦略的に発信できている。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業

引き続き、加賀温泉郷全体の情報発信に注力し、知名度の向上につながるよう事業内容を更に改善する。
費用対効果や採算性などを重視し、観光情報の一元的な管理と効果的な発信を促す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F105	事務事業名	「いしかわの観光」企画助成事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

テレビ金沢が企画する石川県の観光振興を図るための「いしかわの観光」事業に対し、実施に係る事業費を補助する。本事業を通じて本市の効果的な情報発信を図る。

実施状況

「いしかわの観光17」事業に対し、実施に係る事業費を補助した。
事業内容は、
①放送企画の制作放送（加賀市の魅力をテレビ金沢の夕方の情報番組内で紹介）
②キャンペーンCMの制作放送
③ウェブページ製作・動画配信（テレビ金沢ホームページに専用サイトを設置、放送本編を動画配信）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	300
②									
③									
								関連決算額合計	300

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	テレビ金沢が企画する「いしかわの観光」事業に対し、実施に係る事業費を補助した。本市における平成28年の県内からの入込客は、全体の18.7%を占めているため、今後も県内に向けた情報発信の強化は必要不可欠である。 また、継続的に最新の情報を発信することで、県民のクチコミ等による情報拡散も期待できる。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業

本市における石川県内からの観光客の割合は高いながら、直近の状況ではかなり減少傾向が進んでおり、今後も引き続きテレビを活用した観光情報発信を強化し誘客促進を図る

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F106	事務事業名	ようこそ加賀百万石の旅事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

公益社団法人石川県観光連盟が実施する「ようこそ加賀百万石の旅事業」は、北陸新幹線金沢開業2年目を見据え、県内の自治体が一体となって誘客対策を行い、石川県全域への観光客の誘客を図ることとしており、その中で連携事業を展開することで加賀市への誘客促進を図る。

実施状況

「ようこそ加賀百万石の旅事業」に対し、事業実施にかかる経費の一部を負担した。
事業内容は、北陸三県が一体となった広域での宣伝事業や、いしかわスイーツ博や音楽イベントの開催、地域ならではの魅力的な誘客イベントの開催などを実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	1,322
②									
③									
								関連決算額合計	1,322

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	北陸新幹線金沢開業2年目を見据え、全県あげての誘客対策である本事業を実施することにより、県内全域へ観光客の誘客が図れ、本市への誘客も促進された。 本市独自の誘客対策では実施が困難な広範囲での誘客対策が図れるため、負担金による事業支援は、本市にとって十分効果的である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業

北陸新幹線金沢開業3年目となる平成29年度は、観光入込の面でこれまで以上に厳しい状況が懸念される中、引き続き、石川県との連携強化による事業を展開する中で、加賀温泉郷への誘客促進を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F107	事務事業名	ほっと石川キャンペーン事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

多様化する旅行者のニーズに対し、県内の豊富な観光素材を的確に提供して、石川県の観光イメージアップと旅の動機付けを促進する。
そのための手法として、公益社団法人石川県観光連盟が実施する「ほっと石川キャンペーン事業」に対して支援することで、より広域的な事業実施により広域圏での誘客を促進し、潜在する需要を喚起する。

実施状況

ほっと石川キャンペーン事業の実施に係る経費の一部を負担し、市内への誘客促進を図った。事業内容は、首都圏・関西圏・中京圏における交通事業者とのタイアップや、ふるさと祭り東京など大型イベントへの出展、大手旅行予約サイトを活用した情報発信、企業の福利厚生事業としての旅行の働きかけ、MICE誘致に向けた招聘事業などを実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	3,533
②									
③									
								関連決算額合計	3,533

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	北陸新幹線金沢開業2年目を見据え、全県あげての誘客対策である本事業を実施することにより、県内全域へ観光客の誘客が図れ、本市への誘客も促進された。 本市独自の誘客対策では実施が困難な広範囲で規模の大きな誘客対策が図れるため、負担金による事業支援は、本市にとって十分効果的である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業

北陸新幹線金沢開業3年目となる平成29年度は、観光入込の面でこれまで以上に厳しい状況が懸念される中、引き続き、石川県との連携強化による事業を展開する中で、加賀温泉郷への誘客促進を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F108	事務事業名	石川県の観光と物産展事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

石川県物産協会が実施する本事業を支援することにより、石川県の工芸品や特産品、観光情報などの魅力を全国に伝え、本市の観光と産業の振興発展および観光誘客を促進する。
本市の伝統工芸品、名産品、観光情報を全国にPRすることで、観光誘客を促進する。

実施状況

石川県物産協会が全国各地でおこなう物産展に係る経費の一部を負担する。本年度は、計4展（大宮・横浜・札幌・東京）に加賀市から参加し、これに係る経費の一部を負担した。
本市の伝統工芸品、名産品や観光情報を全国に発信し、観光誘客の促進を図った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	80
②									
③									
								関連決算額合計	80

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	今年度は、本市の事業所が本物産展4展に参加し、日本各地で魅力ある伝統工芸品、名産品や観光情報等の発信を行うことで、本市への観光誘客の促進が図れることから、負担金による支援は必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業

次年度も県内の歴史・食材・料理・温泉などの文化や魅力を全国に発信するため、日本各地で計5展の物産展の開催が計画されている。
本市としても、本物産展への加賀市企業の参加を引き続き支援することで、本市の伝統工芸品・名産品・観光情報等を全国に発信し、観光誘客の促進を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F109	事務事業名	首都圏アンテナショップ事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

石川県の工芸品や物産・特産品の販売や観光情報の提供を行うアンテナショップを県と県内各市が運営を支援することにより、県内物産品業界の販路拡大を促進するとともに、石川県の観光情報等の発信機能の充実を図り、首都圏からの観光誘客の促進を図る。

実施状況

首都圏で、石川県の工芸品や物産・特産品の販売や観光情報の提供を行うためのアンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」の運営に係る事業費を負担し、物産品業界の販路拡大を促進するとともに、観光情報発信機能を充実させることで、首都圏からの観光客の誘客を図った。
アンテナショップでは、1階で生鮮品、加工食品など、地下1階では和菓子・地酒など、2階では伝統工芸品・カフェで、店内では献上加賀棒茶、加賀の銘菓や地酒などを取り扱っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	5,126
②									
③									
								関連決算額合計	5,126

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	東京銀座に出店する石川県アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」の運営に対して支援を行った。 平成28年度の売上では、献上加賀棒茶が2位、加賀紫雲石が7位、加賀守岡屋焼きいなりが8位と、ベストテンに加賀市内の商品3品が入っており、販売促進に大きく貢献している。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	首都圏プロモーション事業

北陸新幹線金沢開業2年目によるブームの低下も懸念される中、首都圏からの誘客を継続するため、引き続き支援を行い、加賀市の特産品のPR・販路拡大を図りながら観光情報発信に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F110	事務事業名	観光交流促進事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

一般社団法人加賀市観光交流機構は、観光事業者はもとより、行政や農業や漁業、地場産業などの関連産業、市民活動団体や周辺地域とも連携し、多彩な地域資源や素材を活かした観光商品づくりや、情報の発信・誘客を行うことを目的としており、市としてもその構成員として参加するとともに、事業に対して支援することで、効果的に加賀市の観光推進を図る。

実施状況

加賀温泉郷誘客促進事業として事業を展開した。
一般社団法人加賀市観光交流機構への助成事業として、MICE誘致事業(延べ宿泊者約13,000人)、永平寺お出かけ号運行事業(販売約12,000枚)を展開し、同法人への委託事業では、温泉ライダーなどの地域イベントでのおもてなし向上事業、大手旅行会社の店頭でのPRキャンペーンの実施や大型旅行見本市への参加、金沢での集客イベント参加による近隣からの誘客促進事業などを展開し、誘客促進を図った。
また、本機構の構成員としての会費を負担し、組織の運営強化を図った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	16,806
②									
③									
								関連決算額合計	16,806

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

平成26年度から、市の職員を一般社団法人加賀市観光交流機構へ派遣し、官民一体となった事業を展開することで効果的な誘客促進が図られている。
観光資源の磨き上げ、観光情報の発信、旅行商品の企画販売を戦略的に展開できたことが観光誘客につながり、北陸新幹線金沢開業2年目の観光入込客数は堅調に推移した。
引き続き、同法人との連携体制を強化しながら観光施策展開することで、更なる誘客促進を図る。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉郷誘客促進事業

今後の方向性

平成29年度も引き続き市の職員を派遣し、市と加賀市観光交流機構が連携しながら、誘客事業や地域づくりに向けた効果的な事業を積極的に進めていく。
地域観光に対するマネージメントやマーケティング機能を強化させることが必要とされる中、 同法人は平成29年3月に観光庁による日本版DMO候補に認定されており、今後は北陸新幹金沢開業3年目以降とその先の敦賀延伸も見据えながら、官民一体となった誘客促進の強化を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	1．観光PRの強化を進めます			

事業番号	F111	事務事業名	学生等交流事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進係

目的・概要

大学生や留学生などを市内三温泉に宿泊誘導し、加賀温泉郷の多彩な観光資源に触れる機会を積極的に提供することで、帰宅（帰国）後に口コミやSNS等で加賀温泉郷の魅力を伝えてもらえるようPRしていく。
また今後の若者向けの観光施策の参考とするため、学生の事後アンケートや発表で出た意見を聴取する。

実施状況

平成28年度は、東京大学、亜細亜大学、名古屋短期大学の3大学及び関西・地元大学の連携プログラムである「北陸カレッジ」から50名が参加し、温泉地をはじめ橋立や東谷といった伝統的建造物群保存地区など市内各地を回り、九谷焼・山中漆器などの伝統工芸を紹介し、加賀市の観光資源を体験するとともに講義を行った。
また、絵付け体験などの伝統工芸に実際に触れることで、大学の講義では得られない経験もでき、参加者からは好評価を得ている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	314
②									
③									
								関連決算額合計	314

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	参加大学のほとんどは毎年のように参加してもらえることから、リピーターの確保につながっており、東京大学では「活動体験プログラム」としてカリキュラムの一つとして取りあげられ「特別功労賞」を受賞するなど、本事業が有効に活用され高く評価されていることから、今後も引き続き実施していく。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学生等交流事業

引き続き、大学の学生等に参加してもらい加賀温泉郷の魅力を発信してもらえるように、魅力あるプログラムを提供していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	2.「共創」環境の構築を進めます			

事業番号	F201	事務事業名	観光地ブランド化推進助成事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

温泉地に代表される主要観光地の活性化を図るため、「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、市が策定する「観光振興計画」に基づき、観光資源のブランド化などのソフト事業に対し支援を行う。
新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業、外国人観光客の受入整備に係るソフト事業を対象とする。

実施状況

平成28年度は北陸新幹線金沢開業前後の3か年事業の3年目の年度であった。
主な取り組みとしては、三温泉がそれぞれの温泉地の個性を活かし、山代温泉は「おもてなし講座」や「おもしろやましろキャンペーン」拡大、キャラクターの利活用などのおもてなし向上と魅力アップ（満足度アップ）事業を、山中温泉は「町歩きクーポン」の作成や「山中遊歩」の展開による温泉街の回遊策を中心とした活性化事業を、片山津温泉は「柴山潟釣り大会」や「四季まつり事業」など、柴山潟周遊の商品開発や年間を通しての町中でのイベントを実施した。
この他にも、外国語パンフレットの作成など外国人観光客の受け入れに関する事業が行われた。
負担割合は、県1／3、市1／3、地元1／3で、市からは県の補助金と合わせて、各温泉地に8,000千円を支援した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	5	観光地活性化推進費	24,000
②									
③									
								関連決算額合計	24,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	三温泉それぞれが個性を磨くべく取り組むソフト事業に対し、企画や試行にかかる費用も含めて支援した。結果が芳しくなければ取りやめて方向転換することができ、各温泉地とすれば全額地元負担で新規事業に取り組むリスクが軽減できる。その結果、自由で大胆な企画もでき、各温泉がもつブランドの可能性を大いに拡げることができる。 本事業は、石川県からの支援も受けながら三か年単位で事業を実施するものであり、採算ベースにのって自立できれば全額地元負担で継続でき、結果が芳しくなければ取りやめて方向転換することができることから、長期的視点での効果は高いと言える。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	観光地ブランド化推進事業

次年度から観光団体が単独で実施する場合の補助の上限額が減額になり、新たに観光団体が連携した取り組みに対しての支援枠が設けられたことから、これまでの温泉地毎の取り組みをつなげ加賀温泉郷全体での魅力を確立するとともに、首都圏を中心に継続的に情報発信を行う。
三温泉それぞれの個性や魅力を際立たせるとともに、加賀温泉郷全体の魅力として効果を上げられるよう、事業内容の改善を継続する。
事業の新しさ、費用対効果、採算性などを重視して支援・指導し、採算ベースにのって自立できるように促す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	2.「共創」環境の構築を進めます			

事業番号	F202	事務事業名	三温泉観光誘客助成事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、北陸新幹線金沢開業以降を見据えたソフト事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合うアジアから選ばれる温泉競創地を実現するための環境づくり及び観光の振興を図る。

実施状況

三温泉観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、都市圏への出向宣伝、ホームページを活用した情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。

また、北陸新幹線金沢開業戦略事業として、山代温泉観光協会での2次交通PR資料の作成、山中温泉観光協会での鶴仙渓 川床の魅力発信や夏まつり、芭蕉まつりの開催、片山津温泉観光協会でのテレビメディアを活用した情報発信・イベントの実施などの事業費に対して補助を行った。

鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉（柴山温泉含む）の源泉管理者が行う、揚湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、各種修繕工事費に対して補助を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	6	観光振興推進事業費	39,000
②									
③									
								関連決算額合計	39,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	三温泉地や加賀温泉郷全体の観光情報の発信、宣伝事業やソフト事業を展開し、効果的な情報発信や温泉地の活性化が図られる。各温泉地が独自の事業を展開することで、それぞれの個性を最大限に活かした魅力的な観光施策が展開されている。 また、北陸有数の三温泉地を抱える加賀市において最も重要な資源の一つである「源泉」に関する施設の適切な管理・保護を推進することにより、旅館などの温泉施設に安定的に供給され、温泉観光地としての安心安全が確保されている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	三温泉観光誘客助成事業

加賀市の観光振興のため、本来、市が主体となって行うべき温泉地の魅力づくりや観光情報の発信を中心とした、経常的な総合観光事業と都市圏や海外に向けた戦略的な誘客事業に対する補助を行い、加賀温泉郷の情報発信、知名度の向上につなげる。

また、鉱泉源保護施設助成事業を行い、市内の管理受給施設に公平、かつ安定的に源泉が供給されるように努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	2.「共創」環境の構築を進めます			

事業番号	F203	事務事業名	芸妓活動支援事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

後継者の減少により、山中節をはじめとする伝統芸能および温泉地の個性でもある芸妓文化の伝承が危機に瀕している。
郷土の芸能文化を後世へと継承するため、芸妓を目指す若手後継者の活動を支援するとともに芸妓団体の活動支援を行う。

実施状況

若手芸妓1名（小乃葉）には、芸の習得や舞台等への出演に要する活動費用を1か月あたり50,000円（年間60万円）を上限に支援を行った。
また、伝統芸能と芸妓文化を継承するために、芸妓団体の活動費用に対し支援を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	6	観光振興推進事業費	1,800
②									
③									
								関連決算額合計	1,800

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	継続して支援することによって、現在1名の若手後継者が存続し、年々芸に磨きをかけている。また、新たに1名の芸妓後継者が増え、山中座の予約上演やお座敷の予約が増えるなどベテランの芸妓衆も含めた活躍の場が広がった。 出向宣伝に同行するなど、加賀温泉郷の広告塔としても活躍している。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	芸妓活動支援事業

伝統芸能と芸妓文化を伝承するため、舞台で使用する道具類、ベテラン芸妓も含めた稽古にかかる費用に対しても助成を行うことで、芸妓全体の質の向上と人材育成を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	2.「共創」環境の構築を進めます			

事業番号	F204	事務事業名	山代温泉観光地景観保全助成事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進係

目的・概要

山代温泉の環境や景観を整備・保全することにより、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境づくりを地域の環境美化の向上を図る。

実施状況

萬松園、足湯、大堰宮公園園路、薬王院周辺及び園路、服部神社、薬王院温泉寺、真菰池休憩所、歌碑、女男生水周辺、県道小松山中線、ミニパーク内モニュメント、各種ライトアップ設備を対象施設として、除草、剪定、清掃、維持管理などの山代温泉観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成する。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	4	観光地景観保全助成費	2,810
②									
③									
								関連決算額合計	2,810

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	環境整備や景観整備により、観光地における快適な空間の提供が行われており、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境づくりと地域の環境美化の向上が図られている。また、費用負担の割合を、光熱費の3分の1以上、その他維持管理費の2分の1以上を地元負担とすることで、必要以上の負担はせず、十分な費用対効果を上げている。 事業実施にあたり、周辺観光施設（公共施設）の管理を本事業とあわせ一本化し合理化が図られているため、継続して支援を行う。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	温泉観光地景観保全事業

平成29年度に市が山代温泉20区に整備を行う「山代温泉温泉観光案内サイン」の維持管理を補助対象に加えるなど、補助対象範囲や対象箇所、実施内容について、山代温泉観光協会と確認しながら、事務事業内容の改善に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	2.「共創」環境の構築を進めます			

事業番号	F205	事務事業名	片山津温泉観光地景観保全助成事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進係

目的・概要

片山津温泉の環境や景観を整備・保全することにより、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境を作り、地域の環境美化の向上を図る。

実施状況

湯の元公園、新堀川周辺、湯の曲輪広場、配湯所周辺、柴山潟噴水及び関連施設を対象施設として、除草、剪定、芝管理、清掃、維持管理など、片山津観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成する。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	4	観光地景観保全助成費	2,110
②									
③									
								関連決算額合計	2,110

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	環境整備や景観整備により、観光地における快適な空間の提供が行われており、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境づくりと地域の環境美化の向上が図られている。また、費用負担の割合を、光熱費の3分の1以上、その他維持管理費の2分の1以上を地元負担とすることで、必要以上の負担はせず、十分な費用対効果を上げており、継続して支援を行っていく。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	温泉観光地景観保全助成事業

補助対象範囲や対象箇所、実施内容について、片山津温泉観光協会と確認しながら、事務事業内容の改善に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	2.「共創」環境の構築を進めます			

事業番号	F206	事務事業名	温泉地回遊性向上（湯めぐりまち巡り促進）事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

加賀市が持つ温泉観光地としての高いポテンシャルを最大限に活かし、温泉宿での滞在のみならず、地域内の回遊性を向上させる仕掛けづくりを進めることにより、観光客が求める「湯めぐり」や「まち巡り」が楽しめる魅力ある温泉地として来訪客の満足度を高め、観光戦略プランに掲げる「1泊2日3湯4食」の滞在モデルを実現し、加賀温泉郷への誘客促進を図る。

実施状況

加賀温泉郷誘客促進事業として　一般社団法人加賀市観光交流機構へ助成し、事業を展開した。
平成28年3月から実施している「ECO乗りクーポン」の販売促進では、案内看板などのインフォメーション機能を強化しながらプレゼント企画などを実施し、旅行会社とのタイアップなどによる旅行商品化も進めた結果、年間約7,800枚の販売となった、また温泉地の総湯を活用した湯めぐり企画や周遊観光に向けた交通ナビチラシの製作を行い、次年度に向けた温泉地散策や体験観光の準備を進めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	15,505
②									
③									
								関連決算額合計	15,505

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	「ECO乗りクーポン」は、平成27年度に地方創生加速化交付金を活用して導入した新たな地域回遊性向上サービスとして、当初は販売状況が芳しくない状況であったが、PRを積極的に行いながら販売促進を行った結果、徐々に利用者が増加してきており、十分な成果があったと言える。 別事業で展開するご当地グルメ事業などと連携し、より効果的な成果があげられている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	温泉地回遊性向上事業

事業の有効性や費用対効果は高い。
地域内の回遊性を高めることは、来訪客への観光サービス向上による誘客促進を図ることはもとより、観光消費を高めることでの地域経済の活性化にも大きく寄与するものであり、今後も官民一体となり事業を充実させていくこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F301	事務事業名	広域連携事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	

目的・概要

石川県南加賀地域および福井県の県境地域の観光資源を共同でPRすることで、効果的に誘客促進を図る。
また、永平寺をはじめとする宗教文化資源を有する県境を挟む5市町が連携し、宗教文化のみならず、地域の食や温泉、自然の造形美などの観光資源を生かし、広域連携による海外への情報発信やプロモーションを行い、観光誘致を推進する。

実施状況

オール加賀会議では、主要な観光資源だけでなく、ロングステイ、定住支援まで視野に入れたパンフレット「加賀の國にいきたくなるとっておきのこと。」の継続発行やリアル宝探し「カロカロ探検隊」を実施するなど、各種PRツールの作成と広域観光誘客を行った。また、最高グレードワゴン車の観光ガイドタクシー「加賀の國観光グランキャブ」を5台導入し、高級感を味わいながらおすすめコースを満喫できるサービスを開始した。
加賀越前広域観光推進協議会では、首都圏での観光PRをはじめ、高速道路を活用した関西・中京圏からの集客誘導、情報発信を行った。
越前加賀インバウンド推進機構では、訪日外国人意向調査分析、パンフレット・DVD・ホームページの制作、タイや香港へのセールスコール、台湾雑誌広告掲載、台湾旅行会社の招聘などの広報・プロモーション、受け入れ観光施設向けセミナーの開催、ICTツール等調査分析・データ収集分析の検討、中期計画案の策定を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	8,700
②									
③									
								関連決算額合計	8,700

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント	南加賀のガイドブックの作成や英語版パンフレットの作成、イベントの開催や出向宣伝など、越前加賀では、多言語パンフレットやDVDの作成、海外への出向宣伝や広報・プロモーションなど、広域で数々の連携事業を実施することで観光客の誘客促進を図ることができた。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	–

オール加賀会議では、加賀の國地域プロモーション事業として、各種媒体を活用し情報発信を行い、誘客促進を図る。また、観光タクシーの利用促進を行い、地域の魅力発信につなげていく。
加賀越前広域観光推進協議会では、観光パンフレットや雑誌等を活用した魅力ある観光情報の発信を行うとともに、中京・関西圏及び北陸新幹線沿線地域への出向宣伝を行うなど、誘客活動を実施する。
越前加賀インバウンド推進機構では、そのDMO化を進めるなど組織の一層の強化・充実を図るとともに、旅行・広告プロモーションやICTの専門事業者等とのタイアップにより、受け入れ体制及び滞在環境の整備を進めながら、中長期的な視点から戦略的に各事業を展開していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F302	事務事業名	海外都市交流事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	インバウンド・都市交流係

目的・概要

海外都市との友好関係をベースとした交流により、交流人口の拡大、インバウンドの推進、次世代の国際力の育成、地域の活性化を推進する。

実施状況

台湾との交流では、4月に加賀温泉郷マラソンに参加するため台南市、高雄市から5名のランナーを招聘した（当日は強風のため大会中止）。5月には市長をはじめ、市議会や観光商工関連団体等18名が桃園市を訪問し、桃園市と友好都市協定を締結した。9月には台湾まつりin加賀市として台湾オペラ日本公演を開催するとともに、台湾グルメ屋台を出店し市民との交流を図った。

シンガポールとの交流では、7月にシンガポール科学技術中学校に加賀市内中学生を派遣し、教育交流を行った。12月にはサムタン国務大臣他8名が来市し、オリンピック事前合宿候補施設の視察などを行った。2月にはオリンピック委員会事務局長や各種目協会長を訪問し、東京オリンピックの際の合宿誘致を行った。また、シンガポール最大の国際的祭典であるチンゲイパレードに県リズムダンス協会加賀支部が参加し、加賀温泉郷のPRを行った。

その他、加賀市ペルシャ文化交流フェアを実施し、イラン文化などを紹介するとともに、市内調理師会向けにハラル料理普及に向けての研修会を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	9,995
②									
③									
								関連決算額合計	9,995

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

台湾の桃園市と新たに友好都市協定を締結したことや、台湾オペラなどの文化交流により、市民を巻き込んだ交流分野の拡大や交流人口の増加を図ることができた。また、ポルトガルやイランなどの新たな地域との交流の可能性につながった。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	海外都市交流事業

アジアを初めとした世界の活力を加賀市へ引き込むため、友好関係をベースとした交流を今後も継続し、観光や経済、文化、教育交流などより幅広い分野への交流進展に取り組む。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F303	事務事業名	インバウンド戦略事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	インバウンド・都市交流係

目的・概要

外国人観光客が訪れやすい観光地づくりを行うとともに、海外に向けて積極的なPRを図ることで海外からの誘客を図り、温泉地の活性化に繋げる。

実施状況

5月には「まつりin台湾」（台北市）に山代大田楽が参加するとともに観光ﾌﾞｰｽを出展しPRを行った。また、金沢加賀工芸展（台南市）へ市内事業者が出店し、山中漆器や九谷焼等の販売・PRを行った。9月にはビジットジャパントラベルマート2016（東京）へ出展し、海外旅行社との商談を行った。10月には台南和風文化祭に九谷焼・山中漆器の作品を展示するとともに、作家による実演等のPRを行った。1月には市長をはじめ市内観光事業者等約20名が台湾高雄市・台南市においてトップセールスによる観光プロモーション及び旅行商談会を行った。2月にはチンゲイパレードへの参加にあわせ、シンガポール旅行社へプロモーションを行った。

また、日本政府観光局（JNTO）と連携し、加賀市の観光魅力評価を行うとともに台湾・香港・シンガポールの旅行社を招聘し、ツアー造成ためのファムトリップを行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	1	観光振興推進事業費	5,450
②	157	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	10,150
③									
								関連決算額合計	15,600

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	海外友好都市におけるトップセールスや旅行商談会の開催、台湾での国際旅行博への出展など、友好関係を活かした効果的な誘客が図られた。 また、海外の旅行社を招聘しツアー造成を働きかけることにより、宿泊地や観光地としての加賀温泉郷の認知度の向上が図れた。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	インバウンド戦略事業

加賀温泉郷を訪れる外国人観光客が6万人を超え、今後、ますます増える外国人観光客を受け入れるために、さらに受け入れ体制を整える必要がある。観光地における案内看板等の外国語表示や観光スポットにおける公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備を促進するほか、受け入れ意識を高めるための宿泊施設向けのセミナーを開催するなど、官民一体となり外国人観光客の訪れやすい環境づくりを進めていく。

また、引き続き、海外都市交流事業との連携により、友好関係をベースとした誘客を図るとともに、金沢と共催で台南市内の有名デパートにおける物産展を開催し、金沢加賀一体としての認知度向上と伝統工芸や食文化による付加価値向上により、誘客への相乗効果を図る。さらに、シンガポールにおいては、引き続き、チンゲイパレードへ参加し、継続したPRを行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	３．自治体外交を進めます			

事業番号	F304	事務事業名	白山白川郷ホワイトロード片道通行料助成事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

東海北陸自動車道及び世界遺産登録の五箇山・白川郷エリアと加賀温泉郷の観光連携を図り、誘客を促進するために、白山白川郷ホワイトロード（旧白山スーパー林道）の優待企画を県と市および加賀温泉郷の各観光協会が共同で実施する。

実施状況

白山白川郷ホワイトロードを通行する車両（１台２名以上）で加賀温泉郷協議会会員の旅館に宿泊する家族、グループ等に片道通行料を助成する事業を実施した。

三温泉実績 （6月4日～11月13日）	キャッシュバック適用	1,007台	金額	2,737,900円
	無料券適用	1,852台	金額	4,887,800円
	合　計	2,859台	金額	7,625,700円
	加賀市負担分		金額	1,525,140円（負担割合　県：市：地元＝6：2：2）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	2	観光振興団体活動助成費	1,525
②									
③									
								関連決算額合計	1,525

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本年の市内三温泉宿泊者の利用は2,859台であり、着実に誘客に結びついており、十分な成果を上げている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	観光振興団体活動助成事業

広域連携による観光交流の増大とアクセス向上の策として、片道無料キャンペーンを実施することで、観光客が旅行先および宿泊先に加賀温泉郷を選ぶ決め手になるよう、事業を継続していく。

平成29年度は、白山開山千三百年記念となる年であり、イベント情報などと併せた情報発信を強化し、利用促進を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	■	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F306	事務事業名	二次交通(加賀温泉郷リムジンバス)実証運行負担事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

北陸新幹線金沢開業に伴い、金沢から加賀温泉郷への二次交通として、主たる移動手段である鉄道以外においても、多様な選択肢を提供することにより、加賀地域へのアクセスを強化をし、観光客の利便性を向上することで、観光誘客の促進を図る。

実施状況

加賀温泉バス㈱が運行する、金沢市内と加賀温泉郷を結ぶ「温泉特急線（加賀ゆのさと特急）バス」に対して石川県とともに平成23年度から平成27年度まで助成を行った。
平成28年度からは、加賀市のみの支援でバス運行事業者主導での本格運行を開始した。山側ルートを廃止し、速達性の高い海側ルート（北陸自動車道利用）を2便に増便し運行しており、1便当あたりの平均利用者数は12.4人となっている。
平成28年度からは、車体のPRラッピングを刷新して運行し、観光客へのPRに努めている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	4,296
②									
③									
								関連決算額合計	4,296

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	平成26年度までの利用者数は非常に少なく採算性の問題から運行廃止も懸念される中、平成28年度からは石川県からの支援も廃止されたが、利便性・速達性を格段に高めながら情報発信に努めることで、利用者数は順調に推移している。 旅行会社の旅行商品に組み込まれるなど、金沢と加賀温泉郷を結ぶ交通手段としてなくてはならないものへと発展している。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	観光二次交通対策事業

官民連携のもと、金沢と加賀温泉郷を結ぶ魅力ある二次交通手段として更なる利用促進を図ることとする。
将来的には、利用者数をさらに増やし、バス運行事業者の自立自走ができるよう採算性の高い事業化を目指す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F307	事務事業名	国際力のある地域づくり事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	インバウンド・都市交流係

目的・概要

定住外国人や外国人観光客の増加など、地域に広がる国際化の需要に幅広く対応し、国際力のある地域づくりを目指す。

実施状況

市の海外都市交流事業やインバウンド推進事業に係る通訳支援や交流に係る支援を行ったほか、増加する外国人労働者等への日本語学習機会の提供として、日本語教室を開催した。昨年度養成した新規ボランティアを活用することで、より多くの学習機会の提供を図った。また、地域の国際化及び市民の国際理解を推進する目的で、英語や韓国語の外国語講座を引き続き通年にて開講し、さらにフランス語講座を新たに開催した。
また、海外メディアの視察・取材の受入れなどを、県などと連携しながら行い、国際交流、インバウンド誘客に係る支援を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	1,585
②									
③									
								関連決算額合計	1,585

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	外国語教室や日本語教室は広報活動の強化により参加者の拡大が図られた。また、海外都市交流事業及びインバウンド推進事業において、通訳等の日常的な交流支援を行うことで、円滑な都市間交流の維持、交流人口の拡大につながった。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	国際力のある地域づくり事業

引き続き、海外都市交流事業における交流支援やインバウンド推進事業との連携を行う。
また、外国人労働者の増加傾向は変わらず、日本語学習への需要が増していることから、日本語指導ボランティア養成講座を継続して開催する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F308	事務事業名	インターナショナルスクール合宿誘致事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	インバウンド・都市交流係

目的・概要

都市圏のインターナショナルスクールが市内宿泊施設にて合宿を行う機会を利用し、市内小中学校等で学校交流を受け入れることにより、グローバル社会で活躍できる国際感覚に優れた人材の育成と英語教育へのモチベーション向上に繋げる。

実施状況

名古屋インターナショナルスクールとの交流では、4/20～4/22に生徒21名、引率者4名が来市。湖北小学校で交流を行った。
横浜サンモールインターナショナルスクールとの交流では、10/1～10/3に生徒26名、引率4名が来市。分校小学校で交流を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	107
②									
③									
								関連決算額合計	107

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	湖北小学校や分校小学校での受入れで、英語交流など多くの児童生徒が交流に参加したことにより、国際交流が進み成果があった。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	インターナショナルスクール合宿誘致事業

グローバル化社会が進む近年、英語教育や国際教育の必要性が増している状況から、当事業を継続して実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F309	事務事業名	ジャパンテント受入事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	インバウンド・都市交流係

目的・概要

市民と外国人との交流を通して、地域の活性化を促し、市民の国際理解の向上や地域の多文化共生の意識向上にもつながる。

実施状況

8/18～21の期間、留学生23名が市内のホストファミリー12家庭にてホームステイを行った。また、青少年との交流として大聖寺実業高等学校にて俳句づくりの交流を実施、約40名の高校生が参加し交流した。ジャパンテント後も互いに連絡を取り合い、訪問し合うなど交流に広がりが見られ効果があった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	235
②									
③									
								関連決算額合計	235

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	グローバル社会の進展により、子どもの国際感覚の醸成、グローバル社会に対応できる人材の育成への意識が高まっている。受け入れる家庭は、継続して参加された家庭と新規の家庭が半々の割合だった。ジャパンテント後も互いに連絡を取り合い、訪問し合うなど交流に広がりが見られ効果があった。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ジャパンテント受入事業

幅広い視野とグローバル感覚を養う目的から、引き続き市内の高校生など青少年との交流を取り入れる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F310	事務事業名	ジャパンテントいしかわ開催助成事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	インバウンド・都市交流係

目的・概要

市民と外国人との交流を通して、地域の活性化を促し、市民の国際理解の向上や地域の多文化共生の意識向上にもつながる。

実施状況

第29回ジャパンテント開催にあたり、県内19市町で留学生の受入れを行っている。各市負担金として全体では8,900千円、うち加賀市は400千円を負担金として支出している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	400
②									
③									
								関連決算額合計	400

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

グローバル社会の発展により、子どもの国際感覚の醸成、グローバル社会に対応できる人材の育成への意識が高まっている。受け入れ家庭の募集については、ホストファミリー経験者の口コミなどにより、新規獲得に努めた。また、ホストファミリー経験者への声かけによるリピーターの獲得にも努めた。

ジャパンテント後も互いに連絡を取り合い、訪問し合うなど交流に広がりが見られる。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ジャパンテント受入事業

青少年を含む市民の国際理解向上のため有効な事業であることから、今後とも継続して支援（助成）を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F311	事務事業名	小松空港・加賀温泉駅シャトルバス増便実証運行負担事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	首都圏戦略室

目的・概要

加賀市と小松空港間のアクセスを改善・充実することにより、航空機の一層の利用促進を進め、観光誘客の促進と交流人口の拡大を図り、本市の経済活性化を推進する。

実施状況

実証運行に関しては、小松空港協議会の事業として支援を行っており、市は協議会に対して、負担金を納入している。
平成25年11月から1日5便運航しており、市民や観光客への周知も広まりつつあり、利用促進が図られている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	1,500
②									
③									
								関連決算額合計	1,500

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

北陸新幹線金沢開業により、利用者の新幹線へのシフトの傾向が顕著ではあるものの、航空運賃の引き下げや乗り継ぎ割引などの航空利用促進対策が講じられる中、旅行会社の商品に組み込まれる等、小松空港と加賀温泉郷を結ぶ重要な「足」を確保する観点からも運行は不可欠である。
一部の旅行業者では、飛行機と宿泊に当該運行便をセットした旅行プランも商品化されており、加賀温泉郷の誘客素材として活用されていることから有効性は高い。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	観光二次交通対策事業

北陸新幹線金沢開業に伴い、航空運賃の引き下げなど、空港利用促進対策が進む中、小松空港からの二次交通の確保は、観光誘客の観点からも重要である。
また、北陸新幹線金沢開業ブームの反動も見え始めていることから、空港利用促進対策として、平成28年度以降も継続運行する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	3. 自治体外交を進めます			

事業番号	F312	事務事業名	国内都市交流事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	インバウンド・都市交流係

目的・概要

友好都市である新発田市、赤平市との経済や文化、スポーツ等の交流を支援することによって、交流事業の活性化を図る。

実施状況

加賀市弓道連盟の新発田市との親善試合への参加や新発田市あやめ祭りへの物産展参加などへの助成を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	2	1	14	2	1	国内都市交流費	101
②									
③									
								関連決算額合計	101

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	加賀市弓道連盟が新発田市での親善試合に参加し親交を深めた。 加賀特産品協同組合が新発田市あやめ祭り物産展に参加し加賀温泉郷のPRを行った。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	国内都市交流事業

引き続き国内友好都市との交流支援助成を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	4．イベントの戦略的な活用を進めます			

事業番号	F402	事務事業名	伝統文化・芸能伝承の支援事業（古九谷修古祭・山中節全国コンクールなど）		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

古九谷修古祭及び山中節全国コンクールの開催に対し助成を行うことを通して、加賀市を代表する伝統文化・芸能を伝承するとともに全国に広く発信し知名度を高める。

実施状況

古九谷修古祭（6月25日～26日、山中温泉芭蕉の館で開催、参加者約600名）及び山中節全国コンクール（9月4日、山中温泉文化会館で開催、入場者約800名）の開催に対し助成を行っている。加賀市を代表する伝統工芸・芸能を伝承するとともに全国に広く発信している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	163	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	830
②									
③									
								関連決算額合計	830

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

古九谷修古祭については、九谷古窯を擁する「九谷焼発祥の地」加賀市を継続的にPRしている点で有効性は高い。また、実行委員会による主体的な活動が基盤となっており、比較的低額な補助金（200千円）であることからも費用対効果は高い。

山中節全国コンクールについては、市指定無形民俗文化財である「山中節」を継承・発展させるための貴重な発表の場となっており、有効性は高い。また、山中節の伝承及び普及を図ることにより、観光客の誘致促進、山中温泉のイメージアップにつながる。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	伝統文化・芸能伝承の支援事業

両事業に共通して、民間の実行委員会による事業であることから、自発的な活動活性化を促しながら、継続的な支援を通して伝統文化の継承・発展を実現していく。この実現のためには、地域住民の積極的な参加と若年層の取り込みが必要と考えられ、市として地域住民や将来を担う若者たちが郷土の伝統文化に興味を持ち、知識を深めることにより、誇りをもって参加していくような仕掛けを教育委員会事務局文化財保護課と協働し検討していく必要がある。また、広報活動面においても、広報かがへの掲載に加え、市のHPやFacebookで情報提供する等これまで以上の支援を行うことも必要である。

山中節全国コンクールの補助金について、平成28年度より200千円減額しているが、これは、これまで石川県補助金を市を通して支払っていたものが、同年度より事業者に直接支払われることになったためである。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	4．イベントの戦略的な活用を進めます			

事業番号	F404	事務事業名	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

松尾芭蕉関連自治体との交流、中谷宇吉郎雪の科学館の雪のデザイン賞事業のほか、深田久弥山の文化館の整備事業等の各事業により、加賀市ゆかりの人物を通じて、観光地としての魅力をより向上させ全国発信を行う。

実施状況

松尾芭蕉関連自治体との交流について、奥の細道サミット及びおくのほそ道の風景地ネットワークに参加し、芭蕉ゆかりの地加賀市を全国発信した。
中谷宇吉郎雪の科学館の第9回雪のデザイン賞事業については、作品募集を行い、173人（うち海外からの応募者数は1人）、192点の応募があった。平成29年度に審査を行う。
深田久弥山の文化館の整備を行うことにより、資料を有効的に収蔵・展示し、一層の誘客につなげることを検討した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	163	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	186
②	164	一般会計	10	5	3	7	1	管理委託費（雪のデザイン賞）	300
③	164	一般会計	10	5	3	18	3	深田久弥山の文化館整備事業費	1,275
								関連決算額合計	1,761

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	松尾芭蕉については、ゆかりの地の自治体が参加する「奥の細道サミット」や「おくのほそ道の風景地ネットワーク」に参加し、自治体交流を行っている。 雪の科学館が行う雪のデザイン賞事業については、受賞作家がその後も全国的に活躍するなど質の高い作品も集まっており、館をPRする新たな手法となっているが、海外からの応募が減少し続けており課題が残る。 また、近年の登山ブームにより『日本百名山』への関心が高まり、8月11日の山の日もあり、深田久弥の知名度も向上しつつある。よって、加賀市ゆかりの人物の業績を顕彰するこれらの事業の推進は、温泉地にとどまらない加賀市の文化的側面をPRするうえで、有効性及び費用対効果は高く継続は必要と認める。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業

松尾芭蕉ゆかりの地として他自治体と連携して、いかに観光誘客につなげていくかが課題となる。雪の科学館に係る雪のデザイン賞については、応募数の増加を図り、特に、アジアを中心とした海外からの応募点数を増加させることを目指すとともに、受賞作品の活用を含めた事業展開を目指していきたい。（海外応募数　第1回：2、第2回：0、第3回：1、第4回：22、第5回：38、第6回：19、第7回：5、第8回：6、第9回：1）深田久弥の全国発信については、深田久弥山の文化館の指定管理者を中心に、山の日にあわせた事業を行うことにより一層の全国発信につなげていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「観光」を推進します			
施　策	5.「ガーデン・シティ構想」を進めます			

事業番号	F501	事務事業名	ガーデンシティ構想推進事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	係	都市政策係

目的・概要

温泉地や歴史的まちなみに、花や緑の彩りを添える取り組みを市民協働で持続的に進め、観光振興、商業振興及び地域の活性化につなげるガーデンシティ構想推進プランを推進する。

実施状況

花飾り作成講習会を通じ、地域の緑化団体の育成を図るとともに、花や緑を活かした景観まちづくり活動をする団体や個人を「もてなしガーデナー」として登録した。また、ワークショップを開催し、市民の意見集約を図りながらガーデンシティ構想の具体的な緑化デザインを設計した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	207	一般会計	8	5	1	4	2	都市計画基礎調査費	110
②	212	一般会計	8	5	7	1	1	修景緑化整備費	3,084
③									
								関連決算額合計	3,194

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	持続可能な緑化活動に取り組む市民協働体制を構築するため、今後も緑化市民サポーターの発掘と育成が必要である。 また、緑化デザインを基にガーデンシティ関連事業の取り組みを推進する。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ガーデンシティ構想推進事業

ガーデンシティ構想推進プランの実施に向けて、地域団体を対象とした花作り講習会の開催やガーデンシティ構想推進団体への支援を行うとともに、国交省・市と沿線市民とで国道8号の植栽と維持管理を行うなど、市民と地域が主体となった緑のまちづくり活動を推進する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「自然環境」を守ります			
施　策	1.「ガーデン・シティ構想」を進めます（再掲）			

事業番号	G101	事務事業名	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業		
所管部局	市民生活部	所管課	生活安全課	係	生活安全係

目的・概要

市・市民・事業者が一体となって、ごみのポイ捨て、飼い犬・飼い猫のふんの放置、路上喫煙のない、観光都市加賀市の美しいまちづくりを推進し、良好な生活環境を確保する。

実施状況

・「ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進月間」である10月に「ポイ捨て防止」の街頭啓発（市内中学校の協力によりスーパーマーケットで啓発ティッシュを配布）を実施した。
・条例に基づく「ポイ捨て等防止重点区域」に指定している加賀温泉駅前周辺において、10月30日（日）に市民ボランティアによる一斉清掃を実施した。
・観光客等への働きかけを目的として、キャンバス内での「ポイ捨て防止」の音声アナウンスを実施するとともに、新たに三温泉の総湯周辺に「ポイ捨て禁止」を呼びかける路面標示を設置した。
・新たに「ポイ捨て防止看板」を作成し、必要に応じて各町内会へ貸与することとした。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	4	2	2	1	1	環境美化推進費	846
②									
③									
								関連決算額合計	846

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	観光都市加賀市の玄関口である加賀温泉駅前を市民ボランティアの手で清掃することで、市民の環境美化意識や観光客への「おもてなし」の心が養われている。また、市民や観光客等へ「美しいまちづくり」の意識を浸透させていくためには、地道な啓発活動が重要であることから、今後も事業を継続していく必要があると認める。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業

例年実施している啓発活動や加賀温泉駅前周辺の一斉清掃については、今後も継続的に実施する。
また、現在「ポイ捨て等防止重点区域」の三温泉総湯周辺への拡大を視野に、平成28年11月に三温泉に設置した路面標示の効果を検証中であるが、三温泉の地元観光協会等からは重点区域の指定に伴う看板設置等について、景観上への配慮等の理由から反対の意見も出されていることから、重点区域拡大の必要性については慎重に検討していくこととする。
さらに、ガーデンシティ構想に基づき、市民参加によって、花壇等を道路沿いに植栽することで、ポイ捨て等がされにくいまちづくりを目指していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「自然環境」を守ります			
施　策	1.「ガーデン・シティ構想」を進めます（再掲）			

事業番号	G102	事務事業名	クリーンビーチインかが開催／海岸清掃助成事業		
所管部局	市民生活部	所管課	生活安全課	係	生活安全係

目的・概要

市内の海岸において市民ボランティアによる一斉清掃を行う「クリーンビーチ・インかが」を開催することにより、海岸の自然環境の保全と市民のボランティア意識の高揚を図る。
また、地区区長会等が地区内の海岸の清掃活動を行う際に補助金を交付することにより、地区住民による自主的な海岸清掃を促し、海岸の環境保全を図る。

実施状況

「クリーンビーチ・インかが」については、例年6月に塩屋海岸から新保海岸までの各海岸において実施しており、平成28年度は6月19日（日）に実施、約2，200人が参加し、約6．7トンのごみを回収した。（新保海岸は防潮堤復旧工事のため、平成28年度は実施していない。）
「海岸清掃助成事業」については、塩屋町と片野町が独自に実施した海岸清掃活動にかかった費用の一部について助成した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	4	2	2	1	1	環境美化推進費	757
②									
③									
								関連決算額合計	757

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	多くの市民が参加することで、海岸に大量のごみが漂着している現状を認識する機会となるとともに、市民のボランティア意識の向上につながっている。また、多くのボランティアによる人海戦術で短時間のうちに対象のごみを回収できるため、費用対効果が非常に大きいものとなっていることから、今後も継続が必要と認める。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	クリーンビーチインかが開催事業

市民に定着している事業であり、費用対効果が非常に大きいものであるため、次年度以降も継続実施していくこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「自然環境」を守ります			
施　策	2. ラムサール条約追加登録に向けた取り組みを進めます			

事業番号	G201	事務事業名	ラムサール条約登録範囲拡大事業		
所管部局	経済環境部	所管課	環境政策課	係	環境政策係

目的・概要

ラムサール条約登録湿地の片野鴨池に飛来するカモ類の多くは、大聖寺川流域や柴山潟周辺の水田を採餌場としている。これらの採餌環境の保全を図るとともに、柴山潟及び周辺水田を当条約湿地候補地に選定されるための取り組みを行うものである。

実施状況

採餌環境の保全策として、柴山潟周辺や大聖寺下福田町等の農業者グループを対象に、同地区水田における冬期湛水を促すとともに、農薬と化学肥料の使用を抑えた環境保全型農業の技術指導による栽培米の付加価値の向上と販路拡大を支援した。

また、ラムサール条約登録湿地の候補地選定の基礎資料として、11月から2月にかけて、柴山潟および周辺水田に飛来するコハクチョウを含めたカモ科鳥類の生息調査を実施した。コハクチョウのシーズン最多羽数は、柴山潟周辺水田で2,322羽であり、柴山潟では120羽にとどまった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	191	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保全対策費	1,364
②									
③									
								関連決算額合計	1,364

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	縮小
評価に関するコメント	環境保全型農業の推進により、栽培米に付加価値がつくことで営農意欲が向上し、農業者が翌年度の実施面積を拡大して取り組むことになった。さらに、農業者グループのメンバーも増えており、少しずつではあるが環境保全型農業の広がりが期待できる。 コハクチョウの最多羽数は水田では年々増加しているが、柴山潟の最多羽数は登録要件を満たす数（1,000羽以上）ではなく、ラムサール条約登録湿地を目指すには厳しい状況である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

コハクチョウの飛来は、周辺水田では増加しているものの、柴山潟には飛来が少なく、ラムサール条約登録湿地は厳しい状況である。

今後は、片野鴨池に飛来する鳥類の採餌環境の保全のために、環境保全型農業の推進を図るとともに、冬期湛水の普及定着に向けて取り組む。また、これらの取り組みの結果を把握するために、飛来する鳥類の生息調査を継続して実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「自然環境」を守ります			
施　策	2. ラムサール条約追加登録に向けた取り組みを進めます			

事業番号	G202	事務事業名	「ふゆみずたんぼ」普及定着支援事業		
所管部局	経済環境部	所管課	環境政策課	係	環境政策係

目的・概要

冬期に、田んぼに水を溜めることでカモ類が餌を採りやすくなり、十分な体力をつけて繁殖地へと渡り、仲間を増やして帰ってくることにより、片野鴨池に生息するカモ類の増加を図る。
また、冬期に田んぼに水を張ることでイトミミズやミジンコ等の生き物が旺盛に活動し、それに伴い雑草の発芽や生育が抑えられ、農薬や化学肥料の使用料が少なくなることで、環境に配慮した餌場作りを行う。

実施状況

・片野町は12月4日、大聖寺下福田町は12月18日、深田町は12月25日に子ども会行事として自然学習会を実施した。この学習会では鴨池観察館レンジャーを講師に招き、「ふゆみずたんぼ」の話や田んぼへの水入れも行い、12月から2月頃まで「ふゆみずたんぼ」を実施した。
・大聖寺下福田町も12月18日に自然学習会を実施した。平成28年度はパイプライン工事のため水が出なかったので、「ふゆみずたんぼ」ではなく、雨水を溜める「あまみずたんぼ」を行った。
・ガンカモ類の餌場である柴山潟周辺や大聖寺下福田町等で水稲栽培を行っている農業者へ環境保全型農法の技術的指導を実施するとともに、「ふゆみずたんぼ」への取組を推進した結果、農業者全員が「ふゆみずたんぼ」に取り組んだ。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	191	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保全対策費（鴨池水稲栽培）	443
②	191	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保全対策費（ふゆみずたんぼ）	1,364
③									
								関連決算額合計	1,807

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	カモ類の餌場となってきた鴨池周辺の片野町や大聖寺下福田町の田んぼにおいて、昨年度と同規模のふゆみずたんぼ等を実施できたほか、環境保全型農業に取り組みはじめた農業者が平成28年度から「ふゆみずたんぼ」を実施したので、約10ヘクタール広げることができた。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	「ふゆみずたんぼ」普及定着支援事業

今後の方向性

各町での「ふゆみずたんぼ」の活動に加え、環境保全型農業の取り組み農業者による、さらなる実施面積の拡大を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「教育力」を高めます			
施　策	1．教育内容と教育環境の充実を進めます			

事業番号	H101	事務事業名	学校普通教室等冷房化事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	係	庶務係

目的・概要

地球温暖化による夏場の気温上昇が顕著であり、児童・生徒への健康上の影響を考慮せざるを得ない状況になってきている。保護者、学校関係者からも冷房化の要望が大きくなっており、良好な授業環境を提供するために市内小・中学校の普通教室を順次冷房化するものである。なお、中学校を優先に整備を進めており、市内6中学のうち、平成26年度までに錦城中、橋立中の普通教室等が冷房化済みである。

実施状況

平成26年度から整備を進めていた、山代中学校では、平成28年度に第2期工事を行い冷房化が完了した。片山津小学校が老朽化した暖房機能復旧工事と並行し冷房化事業を行うこととし、平成29年度の工事にむけて実施設計を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	234	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費（補助）	6,429
②	237	一般会計	10	3	3	1	1	校舎等整備費（補助）	109,394
③									
								関連決算額合計	115,823

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	中学校については、6校中、3校の冷房化が完了し、小学校についても片山津小学校で工事に向けた実施設計が終了したことにより、良好な授業環境の確保が進捗した。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	小中学校の教育推進事業

本事業は、事業費が高額になるため、国の補助を活用することが不可欠であるため、防衛省、文科省の補助事業を活用しながら早期の全校の冷房化に向けて事業を行っていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「教育力」を高めます			
施　策	1．教育内容と教育環境の充実を進めます			

事業番号	H102	事務事業名	学校講堂暖房復旧事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	係	庶務係

目的・概要

過去に防衛補助事業により、改築を行った小中学校講堂のうち、暖房設備の老朽化が著しい学校について、防衛補助事業を活用し機能復旧工事を行い教育環境の充実を進める。事業については、部活動等で使用頻度の高い中学校を優先して行う。

実施状況

平成27年度に実施設計を行った片山津中学校講堂について、暖房機能復旧工事を行い事業が完了した。片山津小学校の講堂については、平成29年度の工事に向けた実施設計を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	234	一般会計	10	2	3	1	3	体育館整備費（補助）	543
②	237	一般会計	10	3	3	1	3	体育館整備費（補助）	12,684
③									
								関連決算額合計	13,227

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	中学校では、片山津中学校で工事が完了し、小学校では片山津小学校は来年の工事に向けての実施設計が終了し、良好な教育環境の確保が進捗した。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学校講堂暖房復旧事業

中学校について、防衛省補助事業で建設し、老朽化が進んだ講堂については、今回の片山津中学校で事業が終了した。今後は、平成29年度に工事を行う片山津小学校を始めとして小学校での整備を進める。本事業は、事業費が高額になるため、引き続き国の補助事業を活用し行っていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「教育力」を高めます			
施　策	1．教育内容と教育環境の充実を進めます			

事業番号	H103	事務事業名	学校トイレ洋式化整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	係	庶務係

目的・概要

近年の生活様式の変化により、家庭、公共施設、一般商業施設等において洋式トイレが普及しているなか、現在の児童・生徒は和式に不慣れになり、学校現場からはトイレを我慢する場面もあるとの指摘がでている。
このため、平成27年度～31年度の5年間で、トイレの老朽化した学校や、洋式トイレ数の少ない学校から順に改修を進め、学校トイレの50パーセントを洋式化し教育環境を改善を図るものである。

実施状況

平成27年度に実施設計を終えていた、錦城小、作見小、山代小について、工事を行った。平成29年度に工事を予定する錦城東小、片山津小、動橋小、勅使小については設計業務を行ったが、このうち、錦城東小、片山津小については、平成28年度国補正予算による補助事業の活用が可能となったため、前倒しをして工事も行った。この結果、平成28年度に新規に設置した洋式トイレは58基となった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	234	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費（補助）	34,355
②									
③									
								関連決算額合計	34,355

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	①平成28年度は、補正予算での対応も行ったことで、当初の予定より多い学校数での整備を行うことができた。 ②学校トイレの洋式化は、市民の要望も高いことから、着実な整備に努めていく。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学校トイレ洋式化整備事業

平成29年度からは、小学校に加え、中学校のトイレ洋式化事業を開始する。国の補助を活用し着実かつ早期の整備に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【最重点】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
政　策	「教育力」を高めます			
施　策	2. 生涯学習と生涯スポーツの支援を進めます			

事業番号	H201	事務事業名	加賀温泉郷マラソン開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	マラソン開催推進室	係	開催推進係

目的・概要

マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国発信する機会とするとともに、老若男女が楽しみ、交流を深めことにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。

実施状況

スポーツ振興と同時に観光振興を目的に、大会名を「加賀温泉郷マラソン大会」と改名し、コースや内容を大幅に変更してH25に第1回目となる大会を実施した。大会運営体制等の検証のため第2回目となるH26の大会は中止となったが、H27大会から新たな運営体制及び新コースで大会を再開した。再開後2回目となるH28の大会は、必要となる準備を行ってきたが、当日、早朝からの暴風のためやむをえず中止となった。

また、H28は第1回目となる、お笑い芸人の間寛平氏の監修のもと、県内外から794人の参加者において、全国的にも珍しい夜間に走る「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン」を開催した。ランナーのみならず、応援者及び地元住民も参加できるイベントもあり大変盛況であった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	3	加賀温泉郷マラソン推進費	43,129
②									
③									
								関連決算額合計	43,129

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」の全国発信、及び加賀市のスポーツ振興を目的として開催しており、これらの目的達成におおいに寄与するものと思われる。このことから今後も継続開催が必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀温泉郷マラソン 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン

加賀温泉郷マラソンについては、過去最高となる5千人を超える参加申し込みがあった。また、H28に第1回目の開催となった加賀温泉郷寛平ナイトマラソンについても、回を重ねることによりランナー間で大会の認知度も上がり、参加者数の増加が見込まれる。このことから、両大会とも、内容の充実を図りながら継続して開催していくこととする。

平　成　28　年　度　決　算

内　部　評　価　報　告　書

【重点事業】

加　賀　市

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	A_産業
施　策	1．伝統・地場産業の振興

事業番号	A101	事務事業名	九谷焼技能後継者奨励費		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

株式会社九谷美陶園（当時代表取締役は故寺前英夫氏）の寄付金と加賀市からの出資により設置（H9.6）した加賀市九谷焼後継者育成基金を基に、九谷焼産業の育成を図るため、九谷焼技能後継者として加賀市内で技能研鑽に励む職人を奨励する。

実施状況

平成28年度は、市内の工房で絵付け作業に勤しむ1名の作家を奨励した。
奨励者数は、事業を開始した平成9年度からの合計で62名となった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	2	九谷焼振興助成費	50
②									
③									
								関連決算額合計	50

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	事業主が奨励対象となるかを判断するため、奨励者として推薦されることは、親方に技能の後継者として認められたという励みになり、将来への希望を与え、モチベーションの向上につながっている。これまで、合計62名の作家を奨励してきた。後継者を育成し九谷焼産業の振興に有効であったことから継続とする。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	九谷焼技能後継者奨励費助成事業

後継者の減少に伴い、奨励対象者が減少し、後継者の持続的確保が課題となっている。そのため、本事業だけに留まらず、他の伝統工芸支援関連事業についても周知徹底を図り、奨励対象となる後継者の育成に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	A_産業
施　策	1．伝統・地場産業の振興

事業番号	A104	事務事業名	伝統工芸等担い手工房借上支援事業助成		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

伝統工芸等従事者が、市内の町屋や古民家を活用して工房を開いた際の家賃の一部を助成することで、市内伝統工芸界への定着と、伝統工芸従事者の自立を支援する。

実施状況

平成28年度は新規の採択は0件であった。継続分は、平成26年度に採択した大聖寺地区の1件と、平成27年度に採択した山代地区の1件、三谷地区の1件の合わせて合計3件である。継続補助のため、平成30年度まで継続して支援を行う。
（大聖寺、東谷、橋立地区は1/2補助、月額30千円上限。左記3地区以外は1/3補助、月額20千円上限）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	4	4	伝統工芸等担い手育成費	620
②									
③									
								関連決算額合計	620

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	伝統工芸の担い手の自己資金のみでは、工房開設及び維持は難しく、工房の新規開設時の支援とその後3年間の継続支援により工房の維持につなげている。工房借上げ料の一部を助成することは、伝統工芸従事者の自立を促し、伝統工芸の振興に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	無	継続する事務事業名	

市内全域へ伝統工芸従事者の工房運営を支援することにより、市内での工房集積及び、担い手の経済的自立を支援してく。平成29年度からは制度を拡充し、補助率1/2、月額上限30千円の対象を市内全地区に広げる。
市が誇る伝統工芸産業の振興につなげていくために、今後も支援が必要な方に情報が届くよう、周知を強化していく。
助成団体である組合が事業主体である側面が強いことを鑑み、「加賀躍進プロジェクト」には列挙しないこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	A_産業
施　策	1．伝統・地場産業の振興

事業番号	A201	事務事業名	高校生人材育成支援事業助成		
所管部局	経済環境部	所管課	商工振興課	係	商工労働係

目的・概要

高校生の技能習得や社会人としてのマナーの養成などを支援することで、将来の産業人材として育成を図るとともに、地元企業への就職に繋げ、市内の定住促進や地域産業の振興を図る。

実施状況

市内高等学校が行う、生徒の旋盤や溶接技能等の国家技能検定取得の取り組み支援や社会人としての基本的な常識を学ぶ「あいさつマナー指導」などの研修の取り組みなどを支援し、将来の加賀市を担う産業人材としての基礎力の養成を図った。加賀商工会議所に対し1,800千円、補助対象経費の4/5を補助した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	1,800
②									
③									
								関連決算額合計	1,800

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	企業にとって、新規人材の採用を判断する場合、国家技能検定を取得している生徒に対しての関心は高く、持続可能なものづくり技術の集積地を目指す上で、本事業は有効であったことから継続とする。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	高校生人材育成支援事業助成事業

今後の方向性

少しでも多くの生徒が、より高度な検定を取得できることを目指し、また高い基礎力を持った産業人材の育成を維持するためにも、事業を継続して実施していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	B_人づくり
施　策	1．人権教育の推進

事業番号	B101	事務事業名	人権啓発教育		
所管部局	総務部	所管課	総務課	係	行政係

目的・概要

国(法務局)及び県と連携し、人権啓発講演会の開催、「人権の花」運動の実施、リーフレットの配布及び啓発看板の設置等の活動を展開し、人権擁護委員による人権啓発人形劇等の各種啓発活動や人権相談の実施と合わせて、市民一人ひとりの互いに尊重し合う心を育み、人権侵害や差別のない社会を目指すことを目的とする。

実施状況

人権侵害や差別のない社会を目指すため、国(法務局)、県及び人権擁護委員と連携し、定例の人権相談、特設人権相談、「人権の花」運動、人権啓発人形劇、人権週間期間中の街頭啓発活動(市内3か所)等を行った。

保育園児・小学生を対象にした人権啓発人形劇の上演回数は、計22回(前年実績20回)となった。

人権啓発講演会としては、高齢者・障がい者の生活の安心の確保を目的とした「爆笑！！おもろい人生のススメ！(講師：いちのせかつみ氏)」及び市内中学校生徒等を対象にした「夢の見つけ方・叶え方(講師：アンニョン・クレヨン氏)」を開催した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	56	一般会計	2	1	16	1	1	人権啓発教育費	2,880
②									
③									
								関連決算額合計	2,880

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	社会の成熟化、少子高齢化、高度情報化など社会環境は目まぐるしく変化しており、これまでの人権問題に加え、新たな人権問題が発生している。人権侵害や差別のない社会を実現するには一人ひとりが相手を思いやる心を有し、人権尊重の大切さを学び、気付き、行動することが重要である。 地道な人権啓発活動は、市民の人権尊重の気運を醸成し、人権侵害や差別のない社会実現に有効であるため、今後も人権擁護委員と連携して人権啓発活動を推進する必要があることから本事業を継続する。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	人権啓発教育事業

今後の方向性

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用したいじめや児童虐待など、子どもの人権を脅かす問題が近年多岐に渡っていることを踏まえ、引き続き人権擁護委員、教育委員会及び各学校と連携して、学校における人権啓発活動に重点を置きながら、よりきめ細やかな人権教育を推進する。

また、学校以外においても講演会等の啓発活動や相談事業を実施するとともに、一方的な啓発だけではなく、市民の方々が参加し、共に考え、より効果的な人権教育の推進を行えるような施策を検討する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	B_人づくり
施　策	2. 男女共同参画の推進

事業番号	B201	事務事業名	男女共同参画推進事業		
所管部局	市民生活部	所管課	地域づくり推進課	係	男女共同参画係

目的・概要

講演会や講座などの開催、男女共同参画推進モデル地区での啓発活動等を行い、多くの市民に参加してもらうことによって、男女共同参画社会の実現に向けての意識の浸透を目指す。

実施状況

男女共同参画週間（例年6月）では、市役所1階での関連DVDの放映、啓発グッズの配布を行った。併せて図書館での関連図書コーナーの設置、おはなし会での読み聞かせ等を実施し、男女共同参画について意識啓発した。モデル地区（三木地区）では、男女共同参画をテーマとした落語会と出前講座を開催した。事業所向けには、先進事例となる市内事業所の取材記事などを紹介した情報誌「い･Call」を年2回発行し、情報提供に努めた。

そのほか、啓発講演会、人権講演会、女性団体の活動支援などを実施した。

また、女性活躍推進法の施行、県のいしかわ男女共同参画プランの改定を受け、市男女共同参画プランの一部改定を行い、女性活躍推進計画としての位置づけ等を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	103	一般会計	2	1	13	2	1	男女共同参画費	580
②									
③									
								関連決算額合計	580

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	成人式や講演会など、あらゆる機会をとらえて関連パンフレットを配布したり、啓発講演会を実施したりするなど、DV根絶を含め、男女共同参画社会を目指して啓発を行っているが、例えば、DV相談はH28で11人と、実際のDV被害者のほんの一握りの人数しか相談に至っていない。 今後も引き続き、人権尊重や男女共同参画の社会の実現に向けた事業を継続していくことが必要である。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	男女共同参画推進事業

今後の方向性

事業所実態調査を実施し、調査対象となったすべての市内事業所に調査結果のダイジェスト版を配布して啓発を行う。ワーク･ライフ･バランスや、女性の働く環境など、事業所における男女共同参画の推進状況を客観的に把握してもらうことで、新たな取り組みのきっかけとなることを期待したい。

また、DV根絶を目指し、あらゆる機会を利用した相談窓口の周知、パープルリボンキャンペーンの実施、他部署と連携した相談対応等を行い、引き続き人権尊重や男女共同参画社会の実現を目指して事業を展開していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	B_人づくり
施　策	3. 市民相互の交流の促進

事業番号	B301	事務事業名	公民館大会の開催		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

広く市民が生涯学習に関心を高め、生涯学習の推進やまちづくり活動の充実を図るため、地区公民館の活動
紹介や文化活動の作品の展示、地域での実践活動の発表を行う。

実施状況

2年ごとの開催であるため28年度は開催しなかった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	公民館館長が中心になって企画・運営することにより、地域との連携・協力が生まれ公民館活動の推進と生涯学習の理解が深められる。また、日頃の公民館活動やまちづくり活動の事例発表を行うことで、公民館の活性化を図っている。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	公民館大会の開催事業

今後の方向性

公民館長の任期を2年としているので、2年ごとの隔年開催であるが、1年目からの大会を目指して公民館活動やまちづくり活動など、地域の特色を活かした活動ができるよう、地域住民と連携を図る。また、取り組んだ活
動の事例発表を行い、それぞれの公民館の活性化を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	1．健康な心と体の育成

事業番号	C201	事務事業名	母子保健推進事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	健康課	係	母子保健係

目的・概要

妊娠、出産、乳幼児期を通して切れ目ない支援を行うことで親が安心して産み育てることができ、こどもの心身のすこやかな成長を促すことを目的とする。

実施状況

母子健康手帳の交付時や出産準備手当金給付事業の申請時に保健師等が妊婦の健康管理や出産後は助産師による乳児全戸訪問等により、早めにかかわる機会を確保し、不安を抱え、孤立しがちな妊産婦の相談に対応している。

平成28年10月に子育て応援ステーションが同一施設内に開設されたことで、母子の健康管理や子どもの発育発達のみならず養育面等の相談なども、連携してかかわる体制となった。その他、産後の体調が悪く、休養や栄養管理が難しい産婦に対して、訪問型・通所型・宿泊型と状態に合わせ支援ができる産後ケア事業の体制を整備した。乳幼児期には健診・教室・相談等を実施し、節目の機会に全件把握し、その都度、必要な情報提供や支援を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	145	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	7,456
②	145	一般会計	4	1	1	4	2	乳幼児健康診査費	50,401
③									
								関連決算額合計	57,857

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	妊娠中から相談や保健指導を行い、不安がある母に対し早期に支援できる体制であり、負担軽減につながっていると思われる。しかし、産後1か月健診のアンケートから産婦のうつ疑いが平成27年度の8.4%⇒平成28年度は10.1%と増加。その背景に不安の強い母や産後の支援がない母がいた。今後は産後ケア事業を整備したこと、子育て応援ステーションの設置により、母の状況に応じた支援の選択が増えたことや、4か月児・1歳6か月児・3歳児健診での全件把握から節目ごとの児の発育をとおした保護者への支援により、さらに安心した妊娠期から子育て期の環境整備につながっていく。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	出産準備手当給付事業 母子健康手帳交付事業 妊産婦新生児等訪問指導事業 妊産婦健診事業 妊娠期パパママ教室事業 産後ケア費用助成事業 乳幼児健診事業 乳幼児相談・教育事業

①加賀市子育て応援ステーション（通称：かがっこネット）をはじめとした、多機関がかかわる者に対して、切れ目ない支援のためケース会議、関係機関との連絡会での情報共有の機会を継続的に確保していく。
②妊娠中からの支援強化として、保健師が担当制となり、妊娠出産ライフプランを書面に作成し、産後ケア事業や産前・産後サポート事業等を提案していく。
③産み育てたくなるような社会的サポートや周りへの理解を推進するため啓発活動を推進する。
④親がこどもの発達や発育を理解し、見通しを持って育児ができるよう、節目で適切な情報提供と保護者の不安に応じた相談支援を今後も徹底する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	1．健康な心と体の育成

事業番号	C202	事務事業名	健康づくり推進事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	健康課	係	健康増進係

目的・概要

「かがし健康応援プラン21（第二次）」に基づき、市民自らが健康状態を理解し、健康管理ができるよう、ライフステージに応じた健康診査、健康相談、訪問指導、健康講座等の実施により,生活習慣病の一次予防及び重症化予防対策とがんの早期発見、早期治療を推進する。

実施状況

生活習慣病予防健診（若年者健診：19～39歳は集団のみ・その他健診：生活保護受給者：特定健診と併せて23会場50回、38医療機関）にて実施している。

がん検診は、延85回の集団検診を行った。また、女性がん検診では全てのがん検診と特定健診が一度に受診できるレディース検診日や総合健診日の継続と、加賀市医療センターでの休日乳がん検診日を3回設け、受診しやすい体制をとった。生活習慣病健診及びがん検診ともに全対象者には個別通知している。

胃がん内視鏡検診の平成29年度開始を目指し、胃がん内視鏡検診運営委員会を8回開催し、体制を整備した。

生活習慣病の一次予防では、ラジオ体操CD等の貸し出し等による運動の推進や毎食野菜を食べることを意味した“マイベジ生活”の周知、塩分計を用いた減塩推進を保健推進員や食生活改善推進員等の地区組織と協働で行う他、健康相談や訪問指導、健康講座も実施している。

さらに、健康づくりを介護・医療・スポーツの分野まで広く捉え、庁内の協働事業として、かが健幸長寿講座を毎月開催した他、食と運動をテーマにKAGA健康フェスタの開催や先駆的自治体との交流を深める健康のまちづくり友好都市連盟に加盟し事業を展開した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	150	一般会計	4	1	2			健康管理推進費	77,430
②									
③									
								関連決算額合計	77,430

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

平成28年度のがん検診において、胃・肺・乳がんでは国が目標としている精密検査受診率90%を超えているが、子宮頸がん、大腸がんでは達成していない。しかし、胃がん2人、大腸がん10人、肺がん3人、前立腺がん6人、子宮頸がん5人、乳がん6人のがんが発見され、早期治療につながっている。（H29.4現在）。

死亡率の最も高いがん対策としては、国のがん指針に基づき、死亡率減少効果が期待できるがん検診を推進し、早期発見・早期治療につながっている。

生活習慣病一次予防として、ラジオ体操CD等の貸出し等により、新たに3団体がラジオ体操に取り組み、運動習慣のある市民を増やす取り組みとなっている。

また、当課だけではなく、関係課と連携し、互いの事業を周知、活用したり、協働事業として取り組むことにより、より多くの市民に、個々に応じた健康づくりの普及ができている。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	健康づくり事業（KAGA健食健歩プロジェクト）、食生活改善推進事業

がん検診においては、受診しやすさを考慮し、内視鏡胃がん検診と医療機関での乳がん検診を開始したり女性がん検診の休日検診日を増やし受診率向上を目指す。

民間企業や大学と連携して、住民の主体的な健康づくりの機運を高める、「健食健歩プロジェクト」として、健幸ポイント制度や(株)タニタ健康プログラム、ウォーキングマップの作成及び活用、ラジオ体操ステーション認定制度を導入し、ウォーキングの推進やラジオ体操の普及等により運動習慣の確立を目指す。

その他、庁内協働事業としての健康フェスタの開催の他　健康のまちづくりを考える座談会をとして21地区で開催し、地域で出来そうな健康づくりの検討や座談会での市民の意見をもとに健康応援プラン21の中間評価に反映させていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	1．健康な心と体の育成

事業番号	C203	事務事業名	感染症予防対策		
所管部局	健康福祉部	所管課	健康課	係	母子保健係

目的・概要

各種予防接種の実施及び感染症予防の啓発により、伝染の恐れがある感染症の発生及びまん延の予防、重症化を予防する。

【A類定期予防接種】疾患の発生及び集団でのまん延を予防。13疾病（BCG、ﾋﾌﾞ、肺炎球菌、ｼﾞﾌﾃﾘｱ、百日咳、破傷風、ﾎﾟﾘｵ、麻疹、風疹、日本脳炎、水痘、子宮頸がん、B型肝炎）に対し実施。
【B類定期予防接種】個人の発病及びその重症化を予防し、併せてその集団でのまん延を予防。2疾病（ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ、成人用肺炎球菌）に対し実施。
A類・B類とも予防接種法に規定された予防接種である。

実施状況

平成27年4月生まれの児から冊子型にしたA類の予防接種券を保護者に渡し、主治医の管理のもと接種スケジュールにより接種をしている。その他、乳幼児健診、相談等や保育園を通じて接種勧奨のチラシを配布し周知勧奨をしている。特に、麻疹・風疹は、未受診者に個別通知し接種勧奨を行った。
平成28年度からは、A類定期予防接種では、長期里帰り等で県外での接種を希望する者には、定期予防接種費用助成事業（償還払い）を実施し、接種の機会を確保した。
平成28年10月から、A類定期予防接種にB型肝炎が追加となり、13疾病に対する予防接種を実施した。
平成26年6月から、こども任意予防接種に係る助成事業を開始し、平成25年7月からは、風疹予防接種費用助成事業を開始している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	153	一般会計	4	1	3	1	1	一般経費	132
②	153	一般会計	4	1	3	1	2	予防対策事務費	155,762
③									
								関連決算額合計	155,894

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	石川県の指導のもと全県下に登録している医療機関において予防接種が可能な体制となっていることで受けやすくなっている。また、平成27年度より、予防接種ごとの案内通知から、冊子型の接種券に変更したことで、主治医の管理により望ましい時期に接種もれがないような接種状況につながっている他、郵送費の削減になっている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	感染症予防対策事業

適切な時期に接種もれがないよう、市の接種率の現状を医療機関や保育園、保護者にも示しながら、これまでの実施方法による対策を継続し接種勧奨に努め接種率向上を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	1．健康な心と体の育成

事業番号	C204	事務事業名	こころの健康づくり対策事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	健康課	係	健康増進係

目的・概要

「こころの健康づくり」に関する知識の普及を図り、市の自殺死亡率の減少達成値を平成17年自殺死亡率30.9（人口10万対：衛生統計年報）から、平成28年までには20%以上減らす（24.7）ことを目指すため、こころの健康づくりとその対応に関する啓発活動を行ない、心の病気に関して理解、対応できる市民を増やす。

実施状況

９月の自殺予防週間に合わせ、講演会の開催や街頭キャンペーンにて、こころの健康に関する相談窓口の紹介や理解を深めるためのリーフレットや啓発グッズを配布した。さらに強化月間の3月には、広報で相談窓口やゲートキーパーの役割について普及啓発した。また、自殺予防に関する知識を深め、傾聴などの行動ができる市民を増やすためのゲートキーパー出前講座を地域の団体等に実施している。若い世代へは、成人式等の機会で自殺予防に関する相談窓口のチラシを配布し、相談窓口を周知した。

相談体制としては、随時、保健師によるこころの健康づくり相談を開設しており、広報で毎月掲載した。必要な人には臨床心理士による専門相談や、専門機関に繋げるなどの体制をとっている。

人材育成として、当事者がより円滑に相談を受けられることを目指すために、自殺対策等で相談支援を行う庁内の関係機関を対象とした連絡会を開催した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	153	一般会計	4	1	3	3	1	いのちを守る総合対策事業費	350
②									
③									
								関連決算額合計	350

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	本市の自殺死亡率（人口10万対：衛生統計年報）は平成28年に13.0と減少し、目標は達成されている。ただ、県や全国と比べるとまだ高い状況ではある。 平成22年度より、継続して市民に対し自殺予防やこころの健康等についての正しい知識の普及を図り、こころの相談窓口を普及した結果、健康課における「こころの健康相談」は、延べ76件と平成26年44件に比べ、年々増加している。これは、身近なところで相談できる機会を提供することや関係機関と連携した相談を実施することで、迅速な対応につながっており、住民の悩み等の軽減を図ることが期待できる。また、自殺予防に関する知識を高めることで、自分自身や心身の問題を抱えている家族や地域住民に対し、早期発見し、適切な行動や関わりが出来ることが期待できる。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	こころの健康づくり対策事業

啓発普及・相談体制などの事業は継続し、国が定めた自殺総合対策大綱にある目標と同様、自殺死亡率（人口10万対：地域における自殺の基礎資料）を平成27年19.9と比べて、30%以上の減少を目指す。

また、加賀市自殺対策計画策定にあたり、改正自殺総合対策大綱、計画策定のためのガイドライン等参考に、これまでの取組を評価・検証し、実態に即した今後の自殺対策の施策の方向性を各関係機関と協議する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	1．健康な心と体の育成

事業番号	C205	事務事業名	国保保健事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	健康課	係	健康増進係

目的・概要

「特定健康診査等実施計画（第２期）」「加賀市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）」に基づき、医療、健診、介護等のデータを活用、分析し、被保険者の健康増進と生活習慣病の発症予防、また、糖尿病等重症化予防に重点を置き、効果的な保健事業を実施する。具体的な事業としては、特定健康診査、特定保健指導、保健指導（訪問、面接）、健康講座等を実施し、事業評価する。

実施状況

特定健康診査（市国保４０歳～７４歳）は、23会場50回、38医療機関にて実施し、全対象者には個別通知している。未受診者には、未受診者通知や医療費通知に健診案内をしたり、医療機関にも健診等検査データ提供書の提出依頼や個別訪問にて受診勧奨と健康管理状況の把握に努め受診率向上に取り組んでいる。
健診受診者には、健診結果に応じ、タニタ食堂メニューを活用し、自分の適量を体験したり、インストラクターによる運動指導(４箇所)も取り入れ、改善率アップと生活習慣改善に結びつく特定保健指導を実施した。
医療受診結果報告書（医療連携様式）を活用し、糖尿病等重症化予防対象者の内、未治療者に対し治療につなげる支援や治療中断者や治療のコントロール不良者に対しては、医師会と改めて「糖尿病連携手帳」等の活用を協議し、治療効果を高めるための保健指導を実施した。（保健指導465名78%、医療連携286名45%実施）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	282	国民健康保険特別会計	8	1	1	1	1	特定健康診査事業費	32,244
②	282	国民健康保険特別会計	8	1	1	1	2	特定保健指導事業費	3,147
③	282	国民健康保険特別会計	8	1	1	1	3	国保保健指導事業費	7,497
								関連決算額合計	42,888

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

特定健康診査の受診率や保健指導実施率は昨年度までは伸びがみられ、特定健診受診率の法定報告は平成26年度は43.8%、平成27年度は44.1%(目標値60%)、特定保健指導実施率の法定報告は平成26年度は69.3%、平成27年度は80.8%（目標値60%)であった。その結果、後期高齢者支援金の加算減算制度において、平成26年度は全国73の減算国保保険者に該当し、平成29年度に調整される。しかし、平成28年度特定健診受診率の法定報告は42.1%の見込みである。
健診受診者の動向は、健診継続受診者は約7割で、健康意識や健康管理能力が向上し、生活習慣や検査データの改善がみられる。特定保健指導利用者で次年度の健診受診者は、約3割が脱メタボとなっており、発症予防にもつながっている。
また、要医療判定値者には受診勧奨や保健指導により、データの改善や治療につながっており、新たな生活習慣病の発症予防、重症化予防にもつながり、今後も効果が期待できる。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	国保保健事業

「健食健歩プロジェクト」として、健幸ポイント制度や(株)タニタ健康プログラム、ウォーキングマップの活用等をとおし、特定健診受診率の向上やメタボリックシンドローム改善率や検査値の改善を目指す。
特定保健指導では、新規に内臓脂肪測定器の導入や運動施設無料利用券（5回券）の実施の他、これまでのタニタ食堂のメニュー体験やタブレット教材等の体験型指導メニューをとおして、保健指導の有効性を高める取り組みを行う。
重症化予防対象者には、市医師会（健診部会）との協議事項をもとに現行体制による糖尿病性腎症の新規透析患者数減少を目指す。
平成29年度には、効果的な保健事業を実施するための「特定健康診査等実施計画（第３期）」「加賀市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）」を策定する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	2. 子育て環境の充実

事業番号	C301	事務事業名	義務教育の円滑な実施のための学費支援		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して学校での経費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。援助するにあたっては、保護者からの申請書を審査し、支援が必要と認められたものに対して、学期ごとに学用品、給食費の一部を援助する。

実施状況

少子化の影響で児童生徒数が減少しているなか、支援対象児童生徒数は数年間約700人である。一定所得額以下の世帯における保護者に対し援助を行い、円滑な義務教育を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	241	一般会計	10	2	2	2	1	準要保護児童援助費	6,862
②	242	一般会計	10	3	2	2	1	準要保護生徒援助費	14,551
③	243	一般会計	10	6	1	2	1	準要保護児童生徒医療援護費	0
④	244	一般会計	10	6	2	6	1	準要保護児童生徒給食援護費	27,470
								関連決算額合計	48,883

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	約700人の児童生徒が、世帯の経済的理由により義務教育を円滑に受けられないという事態を回避することができた。今後も継続が必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	義務教育の円滑な実施のための学費支援事業

支援を受け、給食費等の学校経費を納入できている者が約95%いるが、残り約5%の者は支援を受けながらも学校経費を納入できない状況となっている。平成29年度より、学校給食費を現物支給とし、経済的負担の軽減を図るが、学用品費等の未納者に対してどう理解を求めていくかが課題であり、今後、その対応を検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	2. 子育て環境の充実

事業番号	C302	事務事業名	奨学金制度の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

経済的な問題を抱えながら進学を希望する学生・生徒のうち、審査基準を満たす者に対して奨学金の給付や貸付による支援を行い、将来、地域に貢献できる優秀な人材を養成する。

※向学心に富み学術優秀ながらも経済的理由で就学困難な者に対し、奨学金を下記①②は給付 、③は貸与し、本市にとって有為な人材を養成し、さらに教育の振興に寄与する。
①三森良二郎奨学金　…大学就学困難者
②加賀市奨学金　…高校就学困難者
③加賀市育英資金貸与 …高校及び大学就学困難者

実施状況

全種類の奨学金を合わせ、23人から申請があり、そのうち選考基準を通過した16人に新規の給付・貸与を行った。能力や意欲がありながら経済的事情により就学を躊躇する者が、就学機会を得る一助となった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	238	一般会計	10	1	2	3	2	三森良二郎奨学金	4,080
②	238	一般会計	10	1	2	3	3	奨学資金費	6,271
③									
								関連決算額合計	10,351

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	奨学金の貸与・給付の申請者が毎年多数いることから、経済的事情で就学を躊躇する学生・生徒は毎年一定数いると考えられる。世帯の経済状況や学力に一定の制限を設けているが、経済的事情で就学を諦める者の減少に資する制度であると考えられる。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	返済不要の奨学金制度の拡充事業

今後の方向性

給付の申請者に対し、貸与の申請者は少数となる傾向が見られる。
給付者において、一定の条件を満たす生徒（大学卒業後5年間以上加賀市内に居住する。加賀市の高等学校に進学するなど）について、募集枠を拡大し、より一層の支援を行っていくとともに、地域活性化と絡めた奨学金の魅力作りを　進めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	2. 子育て環境の充実

事業番号	C303	事務事業名	子ども会活動への支援		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習課

目的・概要

子どもたちの健やかな育成を推進し、豊かな心を育み健康でたくましい子を育てる。また、地域を超えた連携を図り、子ども同士が協力し、友情を育むことで、青少年の健全育成を図る。

実施状況

各地区の子ども会の親睦や交流、仲間作りを目的に、春に中央公園で開催される子どもたちが主体となり企画から運営まで行う「子どもまつり」や秋にスポーツセンターで開催される各地区対抗の「レクリエーション大会」
に助成を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	250	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	650
②									
③									
								関連決算額合計	650

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

市内の子どもたちの交流が目的であり、イベントの開催内容や企画・運営を通して、子どもの協調性・自主性が養われ、異年齢の子と遊びを通して活動することで、思いやりや規律性、
我慢することを学ぶことが出来る。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	子ども会活動への支援事業

今後の方向性

合併後10年以上を経過したが、旧加賀市と旧山中町の子ども会の組織が別々で、それぞれ独自に活動を行
っているが、今後一つになるよう要請していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	2. 子育て環境の充実

事業番号	C304	事務事業名	地域子育て支援拠点事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	子育て支援課	係	保育係

目的・概要

家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等の緩和や子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。

実施状況

平成28年度において、次の5カ所で実施し、合計で延べ15,084人の利用実績があった。
1　加賀市子育て支援センター「すこやか」（市立三谷保育園内）　利用者数：4,403人
2　親子つどいの広場まんま（運営：NPO法人かもママ）　利用者数：1,736人
3　ぷくぷく広場まんま（運営：NPO法人かもママ）　利用者数：2,332人
4　すまいる（運営：NPO法人阿羅漢）　利用者数：3,231人
5　なかよしひろば（運営：社会福祉法人伊奈美園）　利用者数：3,382人

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	131	一般会計	3	2	1	3	6	子育て支援費	30,961
②	135	一般会計	3	2	3	1	1	職員給与費	6,585
③	135	一般会計	3	2	3	1	2	臨時職員給与費	2,338
								関連決算額合計	39,884

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	子育て家族を取り巻く社会環境が大きく変化する中、地域における親子同士の交流、情報交換や相　談の場として活用され、利用者数も増加傾向にあることから、今後も継続して実施する必要がある。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	地域子育て支援拠点事業

今後の方向性

事業を継続して実施するとともに、子育て応援ステーション利用者への案内や市広報媒体等を活用した周知強化に努め、さらなる利用拡大を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	2. 子育て環境の充実

事業番号	C305	事務事業名	多子世帯児童生徒給食助成事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

多子世帯における第3子以降の児童生徒をもつ保護者を対象として、給食費を全額助成することで、保護者の負担を軽減する。もって、少子化対策の一環とする。

実施状況

支給対象となった児童生徒数は405人であった。助成を行うことで、多子世帯の保護者の経済的負担を軽減することができた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	244	一般会計	10	6	2	7	1	多子世帯児童生徒給食助成費	19,274
②									
③									
								関連決算額合計	19,274

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	全額助成することで、多子世帯の保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られた。今後も継続が必要である。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	第3子以降給食費無償化事業

今後の方向性

この制度を継続していくことで、、多子世帯における保護者の経済的負担は軽減されるが、さらに負担を軽減させるため、平成29年度より償還払いから現物支給とする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	3. 高齢者の元気な生活の支援

事業番号	C401	事務事業名	権利擁護事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	包括支援

目的・概要

高齢になっても認知症になっても、一人の人間として尊厳を保ちながら生活をしていくためには様々な権利侵害から本人を守る事が大切になる。
そのため様々な機関と連携し、適切な虐待ケース支援、虐待となる恐れのある状況に対し、未然防止のため早期発見・対応ができる支援体制を構築していく。また、権利擁護の啓発等の取り組みを推進する。

実施状況

（1）虐待（疑い含む）ケースの相談対応、ケース会議の開催(直接支援)
（2）通報・相談があった虐待（疑い含む）ケースの「虐待ケース検討会」の開催(おおむね週1回）と管理職が参加するコア会議の随時開催
（3）市役所庁内における相談部局（子ども・障がい・DV等）との連携会議の開催と勉強会の開催（年4回）
（4）市民向け権利擁護講演会（こころまちフォーラム等）開催、周知啓発リーフレットの配布
（5）専門職向け『虐待防止研修会』を視点編2回、実践編1回開催

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	300	介護保険特別会計	4	1	2	1	3	権利擁護事業費	148
②									
③									
								関連決算額合計	148

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

（1）通報・相談があった虐待（疑い含む）全ケースに対し虐待ケース検討会の場を設け、虐待判定の他、対応について検討している。
（2）専門職向け『虐待防止研修会』の継続開催により、事業所から虐待の恐れのあるケースを含む相談が増加している。事実確認等により虐待判定した件数が減少した事から、深刻化する前に相談・支援につながっている。
（3）虐待防止研修会はふれあい福祉課との共同開催により、多職種で世帯を支援する考え方について伝える事が出来た。
（4）権利擁護庁内連携会議は、他課の虐待についての考え方を共有することで、ケース会議が行いやすくなった。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	権利擁護事業

今後の方向性

支援者がそれぞれ立場で、高齢者が尊厳を保ちながら生活を続けるためにどのような事が出来るのか互いに理解し、高齢者の世帯支援をとおして、庁内外の関係機関が共通認識を持てるよう、検討の場を継続して持つ。また、支援が必要な世帯が地域から孤立しないように、支援者のネットワーク構築のために民生委員等地域の方と協力しながら支援していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	3. 高齢者の元気な生活の支援

事業番号	C402	事務事業名	認知症ケア普及事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	サブセンター

目的・概要

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、市民が認知症の正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する人（サポーター）となるよう育成し、市民・事業者・行政が一体的にネットワーク化を推進し、認知症の人を支える地域の支援体制を構築していくことを目的としている。
主に認知症の正しい知識等を市民に伝える講師役である「キャラバンメイト」が、認知症の人やその家族を支援する市民である「認知症サポーター」の養成講座を開催する。

実施状況

・各圏域のキャラバンメイトが圏域ごとに必要な取り組み（小学校との連携等）を話し合いの上、認知症サポーター養成講座を実施している。
・定期認知症サポーター養成講座は、認知症サポート医とキャラバンメイトが講師となり実施。また、もの忘れ健診の結果フォローの場としても開催する。
・認知症の正しい啓発普及として、RUN伴（全国をタスキをつないで走り、啓発していく活動）を実施。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	301	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	509
②									
③									
								関連決算額合計	509

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	・認知症サポーター養成講座を開催することで、認知症サポーター数は増加し続けており、市民にとって認知症の正しい理解の普及の場になっている。 ・地域包括ケア体制を構築していくためにも、各圏域での様々な取り組みも継続することで、キャラバンメイトどおし連携し、各圏域で必要な取り組みに発展している。（家族会の発足）

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	認知症ケア普及事業

・今後もキャラバンメイトは、地域の実情にあわせて、認知症の正しく理解してもらうための普及活動を続けていく。そのキャラバンメイトが集まってより自主的に活動していける仕組みづくりに向けて働きかけていく。
・現在、キャラバンメイトは主に、介護保険サービス事業所職員が多い。今年度は、医療職（看護師、リハビリテーション専門職、薬剤師、）や市民もキャラバンメイトになってもらい、一緒に活動できるよう、キャラバンメイト養成講座を実施する。
・認知症サポーター受講した方の中から、更に関心のある人に対し地域で具体的に活動していけるよう「認知症サポーターステップアップ講座」を開催。受講後は、キャラバンメイトと共に、認知症の人と家族のために何ができるのかを具体的に考え実践する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	3. 高齢者の元気な生活の支援

事業番号	C403	事務事業名	屋根雪下ろし助成		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域福祉課	係	地域福祉係

目的・概要

高齢者、障がい者世帯等の屋根雪下ろしに要する経費に対し補助金を交付することにより、高齢者、障がい者等の生命及び財産を守るとともに、安心・安全な地域づくりを推進する。

実施状況

本制度は、市に雪害対策本部が設置された場合に、屋根雪下ろしが困難な世帯が、第三者に費用を支払って屋根雪下ろし要した経費を補助対象としている。近年、本市においては、豪雪が発生していないため雪害対策本部が設置されておらず、補助の実績はない。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	111	一般会計	3	1	1	3	5	屋根雪下ろし助成費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	豪雪発生時に備えとして、高齢者、障がい者等の生命及び財産を守るとともに、安心・安全な地域づくりを推進に寄与する重要な事業のため、周知、広報を強化し継続する。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	屋根雪下ろし助成

近年、豪雪は発生しておらず補助実績はないが、引き続き、制度の利用促進を図るため、ホームページ、広報、行政テレビにより周知する。補助対象世帯や補助要件についても、市民をはじめ、区長会・民生委員に理解していただく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	3. 高齢者の元気な生活の支援

事業番号	C404	事務事業名	総合相談事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	地域包括支援センター	係	包括支援

目的・概要

65歳以上の高齢者及びその家族を対象に、保健師や主任介護支援専門員、社会福祉士等により、相談の対応を行い、今後の支援方針等をともに考える。
また、その多くの相談内容等から見えてくる地域の課題を整理するため、介護保険サービス事業所や関係団体とも会議をもち、課題の解決や地域のネットワーク構築についての協議を行う。

実施状況

（1）高齢者の相談窓口として、初期相談（電話、訪問、来所）を実施。地域の課題を解決するため各機関との連携や相談対応。また、身近な相談窓口として、市内6ヵ所にブランチの設置及び主に医療機関からの相談対応するサブセンターの設置をおこなった。
（2）高齢者が住み慣れた地域で継続した暮らしができるよう、必要な本人支援やサービス提供を行うことを目的に、包括内での定例ケース会議の継続や市役所関係他課等との連絡会を継続している。
（3）地域住民と検討し、地域課題を整理し、地域にあった解決が図られるような体制にするために、地域ケア会議を開催している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	300	介護保険特別会計	4	1	2	1	2	総合相談事業費	23,680
②									
③									
								関連決算額合計	23,680

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

・基幹型包括への相談件数は、減少しているが、ブランチ及びサブセンターでの相談も含めると全体での相談件数は増加している。相談者においては、本人、家族、民生委員、公共料金業者、警察、医療機関、市役所関係他課など多岐にわたっている。
・ブランチ（27年度6箇所設置、28年度5箇所設置）の相談件数においては、設置箇所が増えたと同時に相談件数も増加している。また、ブランチに直接相談する新規ケースも増えており、地域住民に相談窓口として周知できつつあると考える。
・個別地域ケア会議を通して地域の方々に、課題を理解してもらう機会になっている。また、個別地域ケア会議からの課題や介護予防事業のあり方を共に考える地域ケア会議を開催した。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	総合相談事業

・総合相談事業は、地域包括支援センターの必須業務に位置づけられている。相談内容においては、高齢者本人だけの問題ではなく、家族（世帯員）の問題が背景になっている場合も多い。家族が障がいや病気のために支援が必要なケースもあり、市役所関係他課等と連絡会やケース検討を継続的に実施し、連携強化を図る。また、包括支援センター内でも定例ケース検討会等を開催し、相談担当者の資質向上に努める。
・ブランチにおいては、資質向上のための連絡会や研修会を通して、ブランチ同士の意見交換、ネットワークの構築を図る。
・今後も地域で地域住民と検討していく地域ケア会議の開催により、地域課題を整理し、地域にあった解決が図られるよう後方支援していく。また、地域で解決できない課題においては、市全体で検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	3. 高齢者の元気な生活の支援

事業番号	C405	事務事業名	老人クラブ育成		
所管部局	健康福祉部	所管課	長寿課	係	高齢者支援係

目的・概要

高齢者が地域で安心していきいきと暮らせるよう、健康維持、生きがいづくり、社会参加の促進につなげる。

実施状況

老人の生きがいと健康づくりのため多様な社会活動を行い、明るい長寿社会作りを目指す老人クラブ及び、同連合会に助成する。市老人クラブ連合会及び加入老人クラブに対し、クラブ育成費として運営補助を行う。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	124	一般会計	3	1	3	7	4	老人クラブ育成費	4,386
②									
③									
								関連決算額合計	4,386

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	高齢者は年々増加しているが、老人クラブの加入者は年々減少傾向であり、かつ、老人クラブの加入者自体が超高齢化している。これは、若年高齢者の加入が少ないためである。 市老連や各老人クラブは、数々のレクレーションやスポーツ大会、旅行等を活発に実施しており、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに大いに貢献しており有効性があり、また、費用対効果もあると判断できる。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	－

今後の方向性

高齢者がいきいきと暮らせるための活動の場として、老人クラブは必要である。老人クラブを継続するため、市老連と連携し、加入者の増加につながる取り組みを行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	3. 高齢者の元気な生活の支援

事業番号	C406	事務事業名	いきいき大集合開催委託		
所管部局	健康福祉部	所管課	長寿課	係	高齢者支援係

目的・概要

高齢者の健康づくりと交流を図るため、市内各老人クラブ員を対象にしたスポーツ大会を開催する。

実施状況

本大会は「健康で快適な生活をすごす」をテーマに市内全域の高齢者が集い、日ごろ取り組むスポーツ活動の成果を表現する交流の場としている。
大会は老人クラブの運営に深く携わる社会福祉協議会と連携して実施しており、平成18年度の初開催以降、開催は10回を超える。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	124	一般会計	3	1	3	7	6	高齢者等対策事業費	1,200
②									
③									
								関連決算額合計	1,200

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	「高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくり」を進めるにあたり、高齢者が健康増進への関心を高めるための行事である。本大会を通じて高齢者が地域間の交流を行い、スポーツの楽しみや介護予防への意識の向上、活動増進に深く寄与することから思索実現の効果が得られている。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	－

今後の方向性

本大会は高齢者に対し、健康づくりや介護予防、地域との交流などの意識を高めるツールとして高い評価が得られている。そのため、大会を維持することが参加者のみならず高齢者すべてにとっての生きがいとなり、健康的な暮らしの継続確保になると考える。本大会の継続開催が地域においての活動の原動力となることから、内容の拡充等をはかっていきたい。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	C_健康・福祉
施　策	3. 高齢者の元気な生活の支援

事業番号	C407	事務事業名	シルバー人材センター運営事業		
所管部局	健康福祉部	所管課	長寿課	係	高齢者支援係

目的・概要

60歳以上の方の就業機会を創出する人材センターへの活動支援を行うことで、生きがいの充実と社会参加を図り、能力を活かした活力ある地域社会作りを推進する。

実施状況

本事業は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく補助事業として、国の定める高年齢者就業機会確保事業費等補助金(シルバー人材センター事業)交付要綱に規定されているものであり、同センターへの運営補助を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	124	一般会計	3	1	3	7	3	ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ運営費	8,880
②									
③									
								関連決算額合計	8,880

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	会員数は826人であり、前年比4人（0.4%）の減となった。契約額は375,507千円であり、前年より1,648千円(0.4%)の減となったが、内訳としては請負事業が1,879千円（0.7%）減となったものの、派遣事業で1,116千円（1.0%）増加している。派遣事業の契約額に占める割合は28.7%と、昨年度の28.3%より増加しており、シルバー会員の就業が「福祉」から「労働」へ年々移行している傾向にある。 会員数、就業延人日数から格付けされる国の補助金においてはAランクを確保している。 以上のことから、高齢者の就業機会や社会参加の確保を行う組織として有効性があり、事業としても費用対効果があると思われる。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	－

会員数の増強、就業率の向上、契約額の増強を最優先取り組み課題としており、就業拡大策として取り組んでいる独自事業の元気市の拡大等を行い、地域社会に貢献するシルバー運営を推進する。
また、介護保険制度改正により市との連携事業として要支援の高齢者を対象に、日常生活支援の取り組みを始めており、平成28年度からは「高齢者家事支援サービス事業」の受託先としての役割も担ってもらっている。
平成29年度からは、地域交流プラザさくら内に拠点を移すとともに、同施設の指定管理者としての役割を担っている。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D101	事務事業名	中谷宇吉郎科学奨励賞		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

郷土出身の偉大な科学者「中谷宇吉郎」の偉業を後世に伝えるとともに、加賀市の科学教育の振興と青少年の豊かな教養を備えた人間形成を目指し、科学の研究成果について市内を中心に全国から公募し、秀でた者を表彰する。

実施状況

平成28年度は、一般応募を含めると、3件の応募があった。市内の科学に興味のある生徒からの応募もあり、加賀市の科学教育の振興に役立っている。また、中谷宇吉郎の名前を冠し、募集しているので、氏の偉業を全国にPRすることにもなっている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	238	一般会計	10	1	2	3	1	教育振興助成費	307
②									
③									
								関連決算額合計	307

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	加賀市では理工系教育に力を入れており、郷土の著名人の功績を広めることも兼ねている本事業は今後も継続していくべきものである。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	中谷宇吉郎科学奨励事業

平成20年度から中学生の募集を全国規模に拡充し、平成26年度からは市内の児童生徒の応募を増やすため、学校との連携により、小中学生に対する周知を行っている。 次年度も継続して周知を強化していく。また、本川弘一科学奨励事業と区別するため平成29年度から募集要項に「物理・地学等」と研究分野を明記する予定。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D102	事務事業名	能楽・茶道活動の推進		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

加賀市の小学生に対する日本の伝統文化教育を推進するため、能楽や茶道の基本的な内容を習得する学習活動を実施する。

実施状況

能楽については、市内の能楽研究会指導者が、3校の児童に対して謡いや仕舞の基本を指導した。
また、茶道については、16校がクラブ活動の一環として週1回程度の茶道教室を行い、基本的な技術や心構えを指導した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	1	3	3	3	文化体験学習費	546
②									
③									
								関連決算額合計	546

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	学校における伝統文化活動の推進は、加賀市を理解する手法としても効果的であり、今後も継続していくこととする。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	能楽・茶道活動の推進事業

引き続き事業は継続し、より質の高い指導を検討する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D104	事務事業名	市民文化講演会		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

時宜に応じた旬な話題の講師を招いて開催する市民文化講演会は、市民の誰もが気軽に参加できる講演会であり、市民の教養や文化知識を高め、豊かなライフスタイルを見出す機会を提供することを目的とする。

実施状況

年間2回開催し、1回目は8月6日に加賀市セミナーハウスあいりすで東北大学教授の辻森樹氏を迎えて、「惑星「地球」の探求～46億年の歴史とその個性～」と題して、地球の成り立ちや歴史、その不思議についての講演であった。2回目は、10月8日に「オリンピックを語る～あきらめないことの大切さ～」と題して、シドニーオリンピック銅メダリストの田中雅美氏が、最新のリオオリンピックをはじめ、シドニーオリンピックで銅メダルを獲得されるまでの、ご自身の夢の実現について講演した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	250	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	1,160
②									
③									
								関連決算額合計	1,160

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	時宜に応じた講師を招いての講演会であり、市民の教養・文化知識を高め、豊かなライフスタイルを見出す機会の提供となっている。また、長年継続して開催しているので、毎年期待している市民が多いことから継続する。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	市民文化講演会開催事業

今後の方向性

これまでは比較的年齢が高い市民が聴講に来たが、若者層の聴講も視野に入れ、聴講して楽しめる話題の講師の人選を行い、内容の濃い講演会を企画することで、参加者を増やす。また、情報の発信を「広報かが」のみではなく、市内の公の施設をはじめ、商店、企業等にも積極的にポスター等の掲示を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D105	事務事業名	文化体験プログラムの充実		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

九谷焼窯跡展示館において「絵付け体験」「蹴ロクロ体験」を実施し、加賀市を代表する伝統工芸である九谷焼の技術の高さを自らの体験で実感してもらい、九谷焼を身近に感じてもらうとともに、理解を深めることを目的とする。

実施状況

九谷焼窯跡展示館での「絵付け体験」「蹴ロクロ体験」を年間を通じて実施している。また、窯で焚く伝統的な上絵付け窯である錦窯の焼成を一般公開している。（絵付け体験：584人、蹴ロクロ体験：220人）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費	13,783
②									
③									
								関連決算額合計	13,783

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	伝統的な蹴ロクロによる体験や錦窯焼成を公開することで、九谷焼の制作に関する知識・理解を深め、九谷焼の振興に寄与しているとともに、九谷焼の魅力を来館者に伝えることでリピーターを増やすことにつながっており、有効性は高い。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	－

今後の方向性

来館者を対象にした体験事業は今後も継続し、積極的な広報を行うことで観光誘客にもつなげる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D106	事務事業名	市民文化活動の促進と支援		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

九谷焼美術館及び北前船の里資料館の各展観施設において、来館者に展示の理解をより深めてもらうために、ボランティア解説員による展示解説を行う。来館者の満足度の向上と解説員の学習意欲の高揚や生きがい創出、社会貢献につながる。

実施状況

ボランティア解説員を展観施設ごとに受け入れており、団体客や希望者の事前予約を受けて展示解説を行っている。解説員は、九谷焼美術館：14名、北前船の里資料館：6名。計365回実施。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	5	4	九谷焼美術館運営費	98
②	164	一般会計	10	5	3	6	3	北前船の里資料館運営費	52
③									
								関連決算額合計	150

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	来館者が解説員による説明付案内を受けることにより、展示物の理解が一層深まり、満足度が高まり、事業として有効であるとともに、ボランティアであることから解説は無料であり、解説員への謝礼は交通費程度で費用対効果も高い。来館者の満足度も高く、各解説員の学習意欲も向上していることから、今後も継続して行うことが望ましい。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	－

今後の方向性

解説員の高齢化が認められることから、新たな人員の確保を行うためにも、解説員の養成講座の開設等を検討するとともに、既存の解説員やそのグループに対しては、テキストとなる専門解説書の貸出しや、市学芸員による解説指導等継続的な活動支援を行うことが必要。旅行形態の変容にも伴い、個人旅行客にも気軽に求められる解説員の対応制度を検討することも必要。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D107	事務事業名	九谷磁器窯跡整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	文化財保護課	係	文化財保護係

目的・概要

九谷磁器窯跡は日本最初期に磁器生産が行われた地、九谷焼発祥の地として、国史跡の指定を受けている。
史跡指定地は適切に保護、管理しているが、単なる保存にとどまらず公開活用することが必要であり、その方策として史跡公園整備を目指すものである。
九谷磁器窯跡においては、窯跡や作業場などの遺構は盛土によって保護した上で、復元展示や説明板による解説を行う計画である。

実施状況

整備のための発掘調査を実施し、九谷焼生産に関わる作業場の範囲を明らかとした。
整備工事は、磁器窯跡地区において、盛土造成工事、園路整備工事、排水工等を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	266	一般会計	10	5	4	5	1	古九谷窯跡環境整備費	53,706
②									
③									
								関連決算額合計	53,706

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

すでに工事が完了した施設（便益施設）や区域（工房集落地区）は部分供用を開始しているが、一定の利用が確認でき、史跡の周知とも効果が上がっていると言える。引き続き残りの区域（磁器窯跡地区）の工事を進め、完了することで、史跡を保存、活用することが必要と言える。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	九谷磁器窯跡整備事業

史跡の保護を第一に保存整備工事を進めるとともに、工事の完了を見据え、今後は活用面も視野に入れ、幅広く意見を求めていきたい。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D108	事務事業名	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	文化財保護課	係	文化財保護係

目的・概要

平成17年に国の重要的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。

実施状況

主屋1棟及び土蔵1棟について保存修理事業を実施した。
防災事業として防火水槽設計業務を実施した。
保存啓発事業を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	266	一般会計	10	5	4	8	1	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備費	20,204
②									
③									
								関連決算額合計	20,204

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	船主集落を保存整備し、地域の文化資産として継承することは非常に重要なことなので継続して事業を行う。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業

保存修理が必要な建物があるので事業を継続していくことが必要である。所有者の意識に格差があるので向上に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D109	事務事業名	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	文化財保護課	係	文化財保護係

目的・概要

平成23年に国の重要的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。

実施状況

主屋2棟及び土蔵2棟について保存修理事業を実施した。
あいおすふれあい広場の植栽工事を実施した。
保存啓発事業を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	266	一般会計	10	5	4	10	1	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備費	34,053
②									
③									
								関連決算額合計	34,053

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	山村集落を保存整備し、地域の文化資産として継承することは非常に重要なことなので継続して事業を行う。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業

今後の方向性

多数の保存修理が必要な建物があるので事業を継続していくことが必要である。高齢・過疎化が進んだ地区なので、空き家になる前に所有者の意向を踏まえて整備に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D110	事務事業名	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業		
所管部局	教育員会	所管課	文化財保護課	係	文化財保護係

目的・概要

大聖寺十万石城下町の核となっていた藩邸屋敷跡周辺の史跡を、文化財的価値を損なうことなく復元整備し、文化財保護と観光資源としての活用を図る。

実施状況

文化財の価値を高めながら総合的な復元的整備を図り、地域活性化につなげるために、大聖寺十万石城下町史蹟再生協議会を開催（年2回）した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	265	一般会計	10	5	2	3	5	文化財活用事業費	10
②									
③									
								関連決算額合計	10

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	地域の文化資産を整備し、活用していくことは重要であるが、市全体の公共施設として位置づけも重要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業

大聖寺城跡や前田家墓所の発掘報告書を基礎資料しとして整備に反映させる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D112	事務事業名	文化財の適正管理		
所管部局	教育委員会	所管課	文化財保護課	係	文化財保護係

目的・概要

貴重な財産である文化財の保護・継承を行うとともに収集保存に努め、文化の向上に役立てる。

実施状況

歴史文化資産の適切な収蔵・管理を行い、貸出や閲覧などを行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	266	一般会計	10	5	4	3	1	文化財保護施設管理費光熱水費	359
②	266	一般会計	10	5	4	3	2	文化財保護施設管理費管理委託費	2,533
③	266	一般会計	10	5	4	3	3	文化財保護施設管理費その他管理費	233
④	266	一般会計	10	5	4	3	4	文化財保護施設管理費維持補修費	785
								関連決算額合計	3,910

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	貸出や閲覧の希望もあり、今後も適正な管理を行っていく。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	文化財の適正管理事業

収蔵品の適正な管理を行い、活用していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D113	事務事業名	景観保存活動の支援		
所管部局	教育委員会	所管課	文化財保護課	係	文化財保護係

目的・概要

重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立・加賀東谷において、賑わい創出を目的とした建物の内部改修を行うとともに、老朽化の進行した建物の応急処置として屋根工事を行う。

実施状況

重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立・加賀東谷で「賑わい創出」のために建物の内部改修を行う。
平成28年度　橋立地区：1件

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	268	一般会計	10	5	6	1	1	歴史的景観整備事業助成費	2,193
②									
③									
								関連決算額合計	2,193

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は建物内部の改修が可能であるため、地区内の所有者からの関心が高い。建物を利用することで維持保全がなされ、保存地区としての価値が高まるので事業を継続する。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	景観保存活動の支援

事業の継続は、ファンドの状況と他地区の利用状況によるところが大きい。活用された建物の状況を把握し、計画的に事業の推進を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D114	事務事業名	ふるさと学習の推進		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

児童がふるさとの歴史や伝統文化に触れ理解を深めることにより、ふるさとへの愛情と誇りを持つ心を育てることが出来る。また、親子で一緒に活動することで、共通の話題に触れることができ、子どもの意欲や関心も深まり、バランスのとれた心身の成長が促されることを目的とする。

実施状況

ふるさと探検マップや探検手帳を全小学校の児童に配布し、事業を開始した。また、探検マップに掲載した目的地の中から数箇所を選び、現地で専門的解説をうける「フィ―ルド学習」を開催した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	250	一般	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	303
②									
③									
								関連決算額合計	303

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	親子（保護者）と一緒に行動することにより、家庭での共通の話題が増えたり、市内の名所・旧跡等を巡ることにより、郷土の歴史や文化に触れ、ふるさとへの愛着が形成される。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ふるさと学習の推進事業

今後の方向性

よりいっそう充実したふるさと学習が展開できるように、児童の意見を聞いてマップや探検手帳の改良を行う。

探検マップから地域ごとに抽出した場所に出向き、専門家の開設を聞きながら見地を広め、親子(保護者)で活動する。また、文化振興室など関係する課と協力し、マップを利用した新事業の検討を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D115	事務事業名	景観整備事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	係	景観住宅係

目的・概要

助成制度を活用し、各地区の基準に沿った建築物、工作物等を維持することで、景観資源としての資質向上や景観整備地区内の活性化を図る。

実施状況

統一感のあるまちなみ景観を創造するために各地区の基準に基づき指導審査し、適合する建築物、工作物について助成している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	212	一般会計	8	5	7	1	5	景観整備事業助成費	5,380
②	212	一般会計	8	5	7	1	6	景観形成推進費	55
③									
								関連決算額合計	5,435

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	景観形成基準に基づき建築物の新築や改築等に助成することは、積極的なまちづくりができ、その結果そこに住む人々の町に対する愛着や誇りが育まれ、地域が活性化する。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	景観整備事業

景観整備地区は、8地区指定されている。加賀市景観計画において、景観整備地区は重点地区に指定しており、助成制度の活用により事業効果の迅速化を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	1．地域の文化の高揚

事業番号	D116	事務事業名	町屋再生事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	係	景観住宅係

目的・概要

歴史的景観の保全や、まちなかの賑わいの創出を支援することにより、大聖寺地区の活性化に繋げる。

実施状況

大聖寺地区に残る、昭和30年以前に建築され、伝統的な建築形態を残す建物を「地域の貴重な宝」と位置づけ、町屋の再生・活用を進めている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	214	一般会計	8	6	2	2	2	町屋再生整備費（単独）	11,822
②									
③									
								関連決算額合計	11,822

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	「歴史的景観の保全」、「良好な居住環境の実現」、「まちなかの賑わいの創出」などの取り組みにより、城下町大聖寺への誇りと愛情が育まれる。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	町屋再生事業

今後も事業を継続し、大聖寺地区の活性化を目指す。また、相談者のニーズに合う物件を提供できるように情報収集に努めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D203	事務事業名	小学校施設の適正管理		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	係	庶務係

目的・概要

小学校19校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費節減に努める。
また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。

実施状況

学校配当予算については、費目の割り振りについて各学校の希望を調査し、学校ごとの特色、必要性に応じた予算とした。施設修繕については、箇所付けした予算は計画通り修繕を行うとともに、緊急の修繕については現場確認を行い、学校と協議をしながら修繕方法等を決定し、適切な工事等を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	231	一般会計	10	2	1	2	2	維持補修費	72,565
②									
③									
								関連決算額合計	72,565

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めた。施設の修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行った。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	小学校施設の適正管理事業

光熱水費の抑制、維持補修費等の経費節減に努めるとともに、大規模な修繕等を計画的に行い、施設の適正な管理を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D204	事務事業名	中学校施設の適正管理		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	係	庶務係

目的・概要

中学校6校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費節減に努める。
また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。

実施状況

各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めた。施設の修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行った。また、大きな工事としては、錦城中において、経年劣化が目立っていた校舎の外壁について塗装工事を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	235	一般会計	10	3	1	2	2	維持補修費	26,545
②	237	一般会計	10	3	3	1	2	校舎等整備費（単独）	13,910
③									
								関連決算額合計	40,455

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めた。施設の修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行った。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	中学校施設の適正管理事業

光熱水費の抑制、維持補修費等の経費節減に努めるとともに、大規模な修繕等を計画的に行い、施設の適正な管理を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D206	事務事業名	学校用（教師用を含む）パソコンの整備		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

ICTを有効に活用した教育の実現と効率的な校務処理、及びその結果生みだされる教育活動の質の改善を目的として、国の整備目標に基づき、各小中学校における校務用パソコンを、セキュリティー強化に十分配慮しながら配備する。

実施状況

平成28年度は、校務用パソコンにファイル暗号化ソフト（ワード・エクセル等のファイルが外部から閲覧されないようにファイルを暗号化するもの）・資産管理ソフト（どのパソコンがどのネットワークと接続してどんな動きをしているか管理することで、万が一、情報が流出した場合に流出源や原因を突き止めやすくするもの）を導入して学校のセキュリティーを強化した。また、平成29年4月にWindowsVistaのサポートが終了するため、校務用パソコン326台をWindows10に入れ替えた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	241	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	28,934
②	242	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	15,270
③									
								関連決算額合計	44,204

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	OSサポート期間が終了するものから優先的に整備するため、教職員全てに公用パソコンが行き渡らない状況にある。そのため、私用パソコンの利用解消を達成できていない。セキュリティー対策に万全を期す必要があるためOSの更新が優先となるが、計画的に整備を進めていく必要がある。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学校用（教師用を含む）パソコンの整備事業

平成29年度ICT教育で必須となるタブレット端末と無線LAN環境の整備を行う必要がある。
このほか、現在、Windows7を登載しているパソコンが447台あり、メーカーサポート期間の終了（平成32年1月）を見据えた更新整備も必要である。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D207	事務事業名	指導力向上による学校教育環境の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

年間を通して、全学校に対し、計画訪問及び要請訪問を実施する。更に各学校の課題に応じ県からの専門職員を派遣する等、教職員の指導力向上を図りながら学校全体の資質向上を目指す。教職員に対しては、年間を通して研修会や検討会議を実施し、スキルを高めるよう努める。
各学校において、課題に対する取り組み状況を自己判定し、その結果を基に改善策等の指導を行い学校環境の改善を図る。

実施状況

・教師の指導力向上を目的とした研修会を年間17回開催した。
・学力に課題がみられる学校を訪問し、学力向上策について直接指導、助言をした。
・小中学校の教務主任等を対象として研修会を行った。
・授業改善を目的とした要請訪問を26回開催した。
・学校運営の向上を目的とした計画訪問を26回行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	1	3	1	1	教職員研修費	618
②	239	一般会計	10	1	3	1	2	教育指導研究費	879
③	239	一般会計	10	1	3	1	3	就学指導費	1,165
④	239	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	3,303
								関連決算額合計	5,965

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	教職員の指導力を高めることで、子供達の学力向上、生活習慣の改善、快適で有意義な学校生活の提供が効果的に図られるとともに、いじめや不登校の抑制にも寄与するものと考えられる。 加賀市は、児童生徒の学力向上や「いじめ」「不登校」などの問題を多くかかえており、この改善にむけては現状相当の予算は必要である。 この事業を行うことにより教職員の授業改善が推進され、指導力が向上している。これを継続することにより、問題解決を進めていく。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	指導力向上による学校教育環境の充実事業

学校教育の現状は、複雑かつ多様な課題が生じており、学校教職員には高い指導力と幅広いスキルが求められる。このため、教職員の指導能力を高めるため今後も引き続き訪問指導、研修会や検討会議を積極的に展開し、現状における問題解決、学校教育環境改善等に積極的に取り組んでいくこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D208	事務事業名	学校保健の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

加賀市内の小中学校における保健管理、安全管理、児童生徒及び教職員の健康の保持増進の体制づくりを推進する。
学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査等を実施し、その結果に基づく治療等、必要な措置を取るよう指導を行う。また、学校活動に対する安全保険に加入するとともに、学校保健運営に必要な備品や消耗品等を充実させ、適正な学校保健事務を進める。

実施状況

嘱託医師を配置し、児童生徒の健康管理を促進した。
（校医19人、歯科医19人、眼科医2人、耳鼻科医2人、薬剤師20人）
健康診断の受診については、全校の児童生徒・教職員に受診を促し、受診率を向上させた。

受診人数
児童生徒（4,937人）
教職員（185人）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	243	一般会計	10	6	1	1	1	嘱託医報酬費	8,121
②	243	一般会計	10	6	1	1	2	健康診断費	4,786
③	243	一般会計	10	6	1	1	3	一般経費	8,357
								関連決算額合計	21,264

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	この事業により、児童生徒が健康で安全に学校生活を送ることができた。今後も継続が必要である。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学校保健の充実事業

今後の方向性

健康診断の受診については、集団で行う教職員健康診断や個人的に人間ドッグなどを受診する方法で健康管理を行っている。今後も、教職員についてはいずれかの方法で受診していることを確認するとととともに、児童生徒については全てに受診を促していくこととする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D209	事務事業名	学校給食施設の適正管理		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

加賀市内の小中学校において、適正な給食調理の環境づくりを進めるとともに、学校給食調理従事者の資質向上を図ることで、児童や生徒に対し安全・安心な学校給食の提供を促進する。

実施状況

安全・安心な学校給食を実施するために、給食施設及び設備の整備や補修を行い適正な施設管理を行った。また、研修や研究会により学校給食調理従事者の知識向上や技術力を高めることによって、よりよい給食の提供を実施し、衛生管理の徹底を図るための改善を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	244	一般会計	10	6	2	2	3	その他の運営費	194,364
②	244	一般会計	10	6	2	3	1	管理委託費	796
③	244	一般会計	10	6	2	3	2	備品整備費	3,428
④	244	一般会計	10	6	2	3	3	維持補修費	10,345
⑤	244	一般会計	10	6	2	4	1	施設管理費	11,922
								関連決算額合計	220,855

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することは行政の責務であるが、アレルギー対応や衛生管理等に大きな問題もなく実施している。今後も継続すべき事業である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学校給食施設の適正管理

子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため学校給食の内容の充実を図るとともに、栄養教諭・学校栄養職員を中心として食物アレルギーの対応をしていくことが必要である。
このために、給食施設及び設備の整備や学校給食調理従事者のスキルアップを引き続き行うとともに、食物アレルギー対応の管理や衛生管理の更なる徹底により、学校給食全体の質の向上を図り、安全・安心な学校給食を児童生徒に提供出来るよう努めていくべきである。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D210	事務事業名	学校図書館の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

各学校図書館に新たな蔵書を追加、古くなった蔵書と入れ替える等、児童生徒の読書環境を充実させるとともに、学校図書館司書を配置し、児童生徒の貸出の促進を図る。

実施状況

学校図書の充実化を進めた結果、文部科学省が学級数に応じて定める標準蔵書冊数に対する加賀市の蔵書数の達成率は、小学校123%、中学校114%、全体で120.3%となり、達成率100%を上回っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	231	一般会計	10	2	1	1	2	臨時職員給与費	20,726
②	241	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	4,845
③	235	一般会計	10	3	1	1	2	臨時職員給与費	10,529
④	242	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	3,044
									39,144

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	小中学生時により多くの本に親しむことは、人間形成に不可欠であり、事業は有効である。文部科学省が示す標準数値を若干上回る蔵書数を確保したことや、貸出数が増えたことを考慮すると、費用対効果は相当である。朝読書や読み聞かせを取り入れている学校も多く、時代に対応した児童生徒を育成するためには蔵書の入れ替えは常に必要であり、事業を継続していく。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	学校図書館の充実事業

加賀市全体の学校図書の蔵書数は、文部科学省の示す基準を超えたが、基準に達していない学校もあるため改善を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D211	事務事業名	特別支援教育の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

特別支援学級の教材用備品を整備し、教育環境を充実させる。
また、通常学級においても、学習支援が必要な児童生徒や多動傾向、コミュニケーションが困難児童生徒等への学習や生活を支援するための特別支援員を各学校に配置し、教育環境の充実を図る。
特別支援教育を推進するための研修や学習会等により教職員の指導スキルを高める。

実施状況

特別支援学級において教材用備品などを揃え教育環境を充実させた。
通常学級において支援を必要としている児童生徒に対して、より良い学習環境を提供するため、特別支援員を40人に増員し、資質向上のため研修を充実させた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	241	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	28,254
②	242	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	12,985
③									
								関連決算額合計	41,239

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	特別な支援を必要とする児童生徒が合理的支援のもと授業を始めとする学校活動に自己肯定感をもち取り組むことができた。安定した授業展開のためにも、当該事業は必須である。学校現場からの増員要請の声も大きい。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	特別支援教育の充実事業

特別支援教育を推進するための研修や学習会等により教職員が共有理解し、指導スキルを高めたり支援員数を含めた配置体制の強化をすることによって、インクルーシブな教育環境を構築する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	2. 教育内容・環境の充実

事業番号	D213	事務事業名	小中学生の教育推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

算数科、数学科でのつまずきを解消するために、学習意欲はあるが、経済的、物理的理由により塾に通えない児童生徒に支援する。また、個に応じた課題に主体的に望むことによって、分かった、できたという経験をさせ、学習に臨む意欲を培い学力向上に資する。

実施状況

市内2箇所に会場を設けて希望者を募り、前期98名、後期102名が参加をし基礎的・基本的な演習問題と回答解説及び個別指導等により実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	1,047
②									
③									
								関連決算額合計	1,047

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	この事業により、児童生徒は熱心に学習に取り組み、講師の先生方の丁寧な個別指導によってつまずきを解消して、分かった、できたという経験ができた。今後も継続が必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	小中学校の教育推進事業

今後は、会場を1箇所増やし、山中地区の児童・生徒も参加しやすいように取り組む。また、今後も、個別での対応によって、さらに学習意欲向上に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D301	事務事業名	市民スポーツ大会の開催		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

加賀市体育協会主催の事業。生涯スポーツイベントの一つであり、老若男女の市民が誰でも気軽に参加できる様々なニュースポーツやレクリエーションの種目を企画し、スポーツに親しみ、運動の素晴らしさが実感できる事業を目指す。また、これをきっかけに、競技スポーツだけでなくニュースポーツなどの生涯スポーツの普及を図ることを目的とする。

実施状況

「市民スポーツ大会」は、加賀市体育協会が主催し、市の委託を受けて実施する市民体育大会の総合開会式とスポーツ少年団の合同開講式を行い、まちづくり対抗競技大会も併せて行った。市はこれに合わせニュースポーツ大会を同時開催している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	1,200
②									
③									
								関連決算額合計	1,200

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	体育協会、各単位協会、スポーツ少年団、まちづくりなど市内の様々な団体が一堂に集う開会式は市民がスポーツを通じて交流できる貴重なイベントとして評価できる。 また、体育協会は、スポーツを通して地域づくりに寄与することを目的として地区対抗のスポーツ大会なども企画しているが、市としてもスポーツ推進計画における「地域住民の交流を目的としたスポーツ振興策」として大いに評価したい。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	市民スポーツ大会の開催

市民体育大会は今年で12回を数え、市民に定着してきている事業であることから、今後も継続して実施、推進していくことが重要である。
市民スポーツ大会が、スポーツ推進計画における基本理念にある「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを楽しめる」ものとなるよう、市体育協会をはじめとした関係団体に対し、引き続き支援を行っていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	B302	事務事業名	各種スポーツ教室の開催		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

市民がスポーツに関心を持ち、日常の生活に取り組むことで、健康で豊かな生活を推進することを目的とする。

実施状況

例年実施しているノルディックウォーキング教室と市民山登りを行った。
ノルディックウォーキング教室では、5月29日、小松市ノルディックウォーキング協会加賀支部の方を講師としてノルディックウォーキングの基本を教わった後、塩屋地区をウォーキングした。参加者18人。
市民山登りについては10月30日、に鞍掛山に登った。参加者14人。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	28
②									
③									
								関連決算額合計	28

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

28年度のノルディックウォーキング教室は会場を橋立自然園から塩屋地区に移して実施した。鹿島の森では普段あまり行くことのない場所で珍しい生き物を観察するなど、スポーツ以外での楽しみもあり、参加者からは好評であり、市内各地での実施の要望も出た。
市民山登りは、山岳会会員の説明とスポーツ推進委員や消防職員のサポートを受けながら、安心して参加できるものとなっている。市内の山々で最も人気のある鞍掛山であったことから、山頂でも顔なじみの市民との交流も行われた。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	各種スポーツ教室の開催

ノルディックウォーキング教室は今後、「加賀市ウォーキングマップ」を参考に、市内の各地区にあるウォーキングコースを会場に実施していく。また、ノルディックウォークは効率的に全身運動ができる生涯スポーツとして、毎年、健康志向の高い方を中心に参加者が集まってきており、今後は、参加者規模を大きくし、健康を意識した市民運動となるような教室として企画する。
市民山登りについては、これまで鞍掛山、富士写ケ岳、蟹ノ目山をそれぞれ順番に上ってきたが、今後はそれ以外の山についても登山対象にし、市内の様々な山を紹介する場とする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D303	事務事業名	ニュースポーツ大会の開催		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

冬期間の運動不足解消やニュースポーツの普及促進を目的とし、市民の誰もが気軽に参加できるニュースポーツを普及することで、市民の健康増進、体力向上を目指す。

実施状況

今回のレクリエーションスポーツ大会では、気軽に楽しめる種目を中心としたものに変更して実施した。種目は鬼のタペストリー、カローリング、シャッフルボード、すまぁとごるふ、バッコー、卓球ラリーの6種目とし、得点を競って上位者に景品をお渡しする形を取った。他に2020年東京オリンピックで正式種目となるボルダリングの体験コーナーを設けた。参加者は42組（84名）。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	1	体力つくり推進費	80
②									
③									
								関連決算額合計	80

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	係員への事前の説明不足で段取りと参加者への十分な説明ができずに終わった競技もあった。 得点を競うメニューにしてあったが、各種目の得点配分にばらつきがあり、他の競技とのバランスが合っていなかったため、競技によっては不公平感がでた。競技そのものは、簡単なものが多く、高齢者でも楽しめ、おおむね好評であった。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	ニュースポーツ大会の開催

冬の運動不足を解消することが、この事業の一つの大きな目的であるが、これまでの種目はあまり体を動かさなくてもよいものがほとんどであるので、暖房がないスポーツセンターの会場では参加者が毎回、寒がってしまう。そこで、今後はニュースポーツの内、多少体を動かして体があたたまるような競技をいくつか取り入れることを検討する。

ニュースポーツは高齢者だけでなく子供から大人まで楽しめるものであるので、広報等を使ってもっと20歳～50歳の市民にも参加を呼びかける。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D304	事務事業名	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

体育施設の比較的利用の少ない日中の時間帯を有効に使用できるように、高齢者や家庭婦人などの教室を開くことで施設の利用促進を図る。
スポーツ施設の充実を図り、安全安心な生涯スポーツ活動を行うことができるよう、効率的な施設運営を行う。

実施状況

指定管理者に対し自主事業による利用促進や施設のより徹底した管理について指導を行った。
水泳プールでは、施設の修繕、改善を自らの手でできるとこから始める取り組みを自主的に始め、細かなところまで清掃したり、施設内の整理整頓などを実施した。
総合サービス管理下の施設では、例えば中央公園野球場におけるグラウンドの整備や競技に必要な備品の更新など、基本的な施設の整備について指導したことから、徐々に施設整備への意識が変わりつつある。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	1,796
②									
③									
								関連決算額合計	1,796

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	指定管理者にはこれまでも施設の維持管理を徹底し、市民から使いやすい、使って気持ちの良い施設とするよう指導を行ってきたが、水泳プールの取り組みといい、中央公園野球場の管理に対する姿勢の変化といい、徐々に改善されてきている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用

指定管理者に対しては、これからも施設利用者の少ない施設や施設利用者の少ない時間帯がある施設については、もっと施設の有効活用ついて努力するよう指導を行う。
また自主事業の実施により利益を得て、その分を指定管理料の削減に充て市の負担を軽減する、といった指定管理者制度の本質についても、併せて繰り返し指導し、自主事業の実施に向けた意識改革につなげる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D305	事務事業名	スポーツ団体の育成支援		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

市内の競技スポーツの競技力向上や競技スポーツの底辺拡大を目指す。スポーツ団体の活発な活動は、加盟者の増加やスポーツ成績の向上となり、市民がスポーツを通じて一体となることで、元気なまちづくりを目指す。

実施状況

加賀市体育協会に対し活動補助金、さらに市民体育大会の委託料、各競技団体の県民体育大会参加のための補助金を支給した。
市民体育大会は、夏季大会が6月から7月にかけて33競技、市内の体育施設において2,230人が参加して行われた。冬季大会は2月に大倉岳高原スキー場で45人が参加して行われた。
県体については、8月6日、7日の両日を中心に、能美市内の体育施設をメイン会場に39種目、総勢889人の参加で行われた。冬季大会は白峰アルペンスキー場で37人が参加して行われた。
県体賞賜金は27件、昨年度から別枠で支給している国体出場激励費は20件となっている。
また、激励費等の支給要綱を見直し、支給対象や支給額などを拡充した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	6,620
②									
③									
								関連決算額合計	6,620

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

市民体育大会は今回で12回となり各競技協会を通じて市民に定着してきている。
石川県民体育大会では、優勝数は昨年度の4から今年度は10に増え、県内順位で見ると、男子総合は昨年6位から5位へ男子壮年は昨年8位から5位へ上がった。女子では、壮年女子が昨年同様3位だったが、一般女子が昨年5位から6位へ落ち、女子総合はこれまでの4位から6位に落ちてしまった。今回は、予算を付けてふるさと選手を招へいし優勝数は増え男子の成績が上向いたが、目標としている県内4位の順位からは程遠い結果となっている。
激励費等の支給要綱の見直しについては、「スポーツ推進計画」の基本施策の一つに競技スポーツの推進を挙げていることから、激励費による競技スポーツの支援を行う施策の一環として行った。改正により支給を受ける手続きの負担軽減をはかったり、中体連の全国大会出場者も新たに対象にするなど対象枠を広げたりして、激励費を通じて市が競技スポーツ選手を支援する姿勢を明確にした。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	スポーツ団体の育成支援

石川県民体育大会での不振の原因の一つは、若い人の参加が少ないことが挙げられる。特に女子の場合、壮年女子はこれまで一般女子で参加していた人が壮年女子に流れて活躍しているのに対し、若い人が入ってきていないので一般女子の参加ポイントが取れない、という声を様々な競技の参加者から聞いた。今後は、市体育協会に所属する各競技団体の人材育成と特に若い人を中心とした底辺の拡大が図れるような施策を打ち出す。
激励費については、全国規模の大会出場者の情報収集を積極的に進めて、対象者にもれなく支給し優秀な競技スポーツ選手の支援に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D306	事務事業名	スポーツ教室の開催の運営支援		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

市内の総合型クラブを発展させ、そのことで体育協会に加盟していない市民でもスポーツを楽しむ場や共に同じスポーツを楽しむ仲間ができるようになることを目指す。

実施状況

スポーツ教室は市内の総合型スポーツクラブを始め市体育協会加盟団体などでも行っている。なかでも、加賀市スポーツ振興事業団は、障がい者を対象とした健康教室を年間44回開催し、体操やストレッチ、ウォーキングなどを通じて、障がい者スポーツを教室として実践している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	総合型地域スポーツクラブは、基本的に民間であるため、これまで直接、スポーツ教室開催等に対する資金的支援等はしていない。加賀市スポーツ振興事業団が行っているスポーツ教室（健康教室）は、指定管理者の自主事業として実施しており、市は指定管理料を通じて間接的にこれを支援している形となっている。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	スポーツ教室の開催の運営支援

加賀市スポーツ振興事業団は、昨年総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、同事業団が指定管理者として管理している市の体育施設（加賀体育館、加賀市武道館）を会場に、ファミリーバドミントン教室、シェイプアップボクシング教室、トランポリン教室を開催している。今後は「加賀市スポーツ推進計画」にある「総合型地域スポーツクラブへの支援」の具体的施策として、この活動を支援してゆく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D307	事務事業名	スポーツ指導員による指導		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

生涯スポーツ推進の一環として、各団体のニーズに合わせたニュースポーツの指導(講義・実技)を行う。かもまる講座を中心として、各々が自分で行うことのできるように指導し、継続してニュースポーツに取り組んでもらうきっかけづくりとする。

実施状況

かもまる講座を中心として、ニュースポーツの指導を行っている。講座ではニュースポーツを体験し楽しんでもらうだけでなく、ルールを記載したプリントを配布し、用具を借りる場所等も併せて案内することで、講座時だけでなくその後も自分たちでニュースポーツが行えるように工夫している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	1	体力つくり推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	これまで受講の要望の多かった地域の高齢者団体のイベント用のほか、小学校の学年行事としてニュースポーツを行うためなどとして、かもまる講座の要望があり、幅広い年齢層にニュースポーツを紹介する機会となってきており、さまざまな要望に応じたニュースポーツの指導を行った。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	スポーツ指導員による指導

今後の方向性

受講団体の中には、これまでとは異なる新しいニュースポーツを指定して紹介してほしいとの要望もでてきており、ニュースポーツへの関心が広がってきていると考えられることから、今後も、ニュースポーツの種類、内容をさらに充実させ継続して、その普及、啓発に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D308	事務事業名	各地区・スポーツ団体を対象とした体力テスト会の開催		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

地域住民に自分の体力レベルを知っていただくと共に、意欲的に健康の保持増進を行うきっかけとしていただく。

実施状況

4月10日、ファミリー健康体力測定会をスポーツセンターで実施した。スポーツ少年団7チーム・クラブ11チームの青少年とその保護者、その他体協関係者等を対象に参加者は297人で、スポーツ推進員19人の協力を得て実施した。 種目は上体起こし、握力、片足立ちなど6種目で、その結果を基に体力レベルを判定し簡単な体力向上の指導を行った。

9月25日、KAGA健康フェスタに合わせ、フェスタの参加者のうち65歳以上の希望者約50名を対象に、中央公園体育館で握力や上体おこし、長座体前屈などの体力測定をスポーツ推進員9名の協力を得て行った。

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	256	一般会計	10	6	5	2	1	体力つくり推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

体力テストの用具は加賀体育館に全て揃っており、係員もスポーツ推進員がボランティアで行っていることから、事業の費用対効果は高い。

体力テストは、現在の自分の体力がどの程度なのかを理解し、体力向上のきっかけとするもので、年齢を問わず参加者の関心も高く好評であった。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	各地区・スポーツ団体を対象とした体力テスト会の開催

今後の方向性

今回はスポーツ少年団・クラブチームを中心に体力測定を行ったが、これからも広く市民全般を対象としたものとして継続して実施する。また、28年度はKAGA健康フェスタの機会を利用して体力テストを実施した。今後ともそのような機会を積極的に活用し、参加者を増やして実施する。

さらに、これまでの体力測定会に参加した団体には、毎年、参加を呼びかけ、継続的にデータをとることで自身の体力の状態をより良く知る機会としてもらえるよう啓発を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D309	事務事業名	各種活動情報の提供		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

生涯学習活動の様々な情報を市広報・ホームページを活用して市民へ周知し、市民に情報提供することによって、生涯学習の推進を図る。

実施状況

生涯学習活動の様々な情報を市広報・市ホームページ、教育委員会のホームページに掲載し、情報の発信を
行っている。また、各地区の公民館へも積極的に情報提供を行い、地区広報誌の活用を行っている。
その他、子育てカレンダーや自然体験カレンダーを作成し、小学校等関係個所に配布している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	250	一般会計	10	5	2	3	4	自然体験活動費	18
②									
③									
								関連決算額合計	18

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

生涯学習に関しての活動やイベントの紹介を、市広報やホームページに掲載し広く情報を発
信している。また、市内で開催されている年間の自然体験活動をカレンダーに集約し、市内全小学生に配布したり、公共施設に配置している。また、親子カレンダーにも掲載している。
今後も、加賀市民に活動やイベントを周知するために継続する。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	各種活動情報の提供事業

今後の方向性

見やすく分かりやすい記事の掲載や活動情報を広く市民に発信する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D310	事務事業名	かがやき市民大学の促進		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

広く市民が生涯学習に親しむきっかけづくりとして、自己申告による点数獲得運動（100点運動）を展開し、獲得した点数により単位認定証の交付を行い、継続的な運動の促進を図る。

実施状況

32名の自己申告があり、獲得した得点に応じて、認定証や称号授与書の交付や市広報への掲載を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	250	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	11
②									
③									
								関連決算額合計	11

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	1000点達成後も運動を続けている参加者がいる。また、新規に運動に取り組む市民も多くおり、生涯学習の推進に大きく寄与している。今後も、生涯学習に取り組むきっかけづくりとしてのかがやき市民大学校100点運動の普及を広く進めていく必要がある。 28年度は、殿堂入り2000点達成者が1名、博士1000点達成者が4名、修士500点達成者が7名、学士300点達成者が8名でした。また、新規に取り組んで、100点を達成した者が12名でした。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	かがやき市民大学の促進事業

今後の方向性

広く生涯学習活動に親しむ運動として手軽に取り組める事業であり、さらにPRすることにより多くの市民の参加を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D311	事務事業名	かもまる講座の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

市民から依頼された内容の講座に、職員が出向き出前講座を行うことにより、市民の行政等に対する理解を深め、諸問題に関する知識を習得することを目的とする。

実施状況

各課から毎年出前講座として可能なメニューを提出してもらい、市民と担当課の仲介役としている。28年度は
55の講座メニューがあり、233件出前講座として出向いている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	249	一般会計	10	5	1	3	1	職員給与費	689
②									
③									
								関連決算額合計	689

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	高齢社会や自然災害の急増等により、市民の行政に対する関心（特に防災や介護）が高くなっている。 また、講座は市の業務に関して理解を示すバロメーターにもなり、市民が必要とする要望に応えることで、市の政策を理解していただける。 手軽に申込みが出来ることにより、講座の認知度が高まっている。市民に行政に対する理解を深めていただくために本事業を継続する。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	かもまる講座の充実事業

今後の方向性

人気のある講座やそうでない講座にばらつきがあるため、市民にPRする方法を検討する必要がある。また、市民ニーズにあった講座メニューの検討や開拓を行い、利用の拡大や事業の更なる充実を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D312	事務事業名	蔵書の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	中央・山中図書館

目的・概要

乳幼児から高齢者まで、全ての市民の要望に応じた幅広い分野の資料を収集する。

実施状況

司書による選書会議を週1回開く中で、市民の要望についても協議を行い、一般書8,098冊、児童書3,160冊、視聴覚資料133点を新たに受け入れ、蔵書を充実させた。

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	5	3	1	2	図書購入費	18,471
②									
③									
								関連決算額合計	18,471

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	蔵書の充実は、利用者のニーズに応えるためには、必要不可欠であり今後も継続する。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	蔵書の充実事業

今後の方向性

選書については、蔵書数と蔵書分類をバランス良く維持していくと共に、図書館資料収集方針、除籍基準の見直しを行い、蔵書の充実にも努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D313	事務事業名	レファレンス（相談機能）能力の向上		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	中央・山中図書館

目的・概要

利用者から情報や資料を求められた時に的確に提供するため、レファレンス(相談機能）能力を高める。

実施状況

自館で受けたレファレンス記録や、研修会等での他館の事例を参考とし、レファレンス事例の蓄積と共有を図ることでレファレンス能力の向上に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	99
②	249	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	1,898
③									
								関連決算額合計	1,997

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

難度の高い相談が増える傾向にあるが、おおむね対応できて来ている。
今後更なる多様な相談業務も増える可能性があることから、引き続き職員のレファレンス能力の向上と、相談に対する信頼性を高める必要があり、継続して取り組んでいく。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	レファレンス(相談機能)能力の向上事業

今後の方向性

引き続きレファレンス事例集を作成し、職員のレファレンス能力の向上を図ると共に、相談に対する信頼度を高める。
また、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを自館で閲覧、複写が出来るよう手続きを行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D314	事務事業名	行政資料や郷土資料の充実		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	中央図書館

目的・概要

行政資料や郷土資料を集積し、市民をはじめ、議員や市職員が必要とする情報を迅速に提供する。

実施状況

郷土資料の1つである昭和初期の郷土の新聞「聖城口論」をデジタル化し、図書館ホームページで閲覧できるようにした。
市政・議会図書室に新たに入った資料一覧をパワーエッグに掲載し、市職員への資料利用促進を図った。
また、北國新聞縮刷版をDVD化した事で、北國新聞縮刷版、データベースの閲覧用パソコンを設置し、複写サービスを開始した。更に、パンフレット、チラシの収集にも力を入れ、利用者に目立つように配置したり、話題性を取り入れた所蔵本の展示を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	2
②	252	一般会計	10	5	3	1	2	図書購入費	842
③	249	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	1,177
								関連決算額合計	2,021

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	話題性を取り入れた展示を行った結果、貸出しや滞在者が増えた。また、遠隔地からのレファレンスや資料の問い合わせも増え、適切に対応ができた。 また、行政関係の資料を充実したことで、広く市民へ資料を提供することができた。今後も、更なる要望に応えるため、継続して資料の充実を図る必要がある。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	行政資料、郷土資料の充実事業

郷土資料については、所蔵している資料を展示し、市民に郷土の歴史や文化に興味、関心を持ってもらうと共に、未整理の郷土資料を公開できるようにする。
積極的に市職員から行政関係資料等の要望を聞き、行政資料を充実することで、市民・議員・市職員の利用向上を図る。
法規や例規等のデジタルデータでの提供を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

事業番号	D316	事務事業名	自動車文庫・地区巡回サービスの充実		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	中央図書館

目的・概要

市民に公平な図書館サービスを提供するために、市内を巡回し、市民全体の読書活動を推進する。

実施状況

自動車文庫については、大規模小学校と自動車文庫が入ることが出来ない保育園を除く市内38か所の各施設を、3週間ごとに巡回している。
地区巡回サービスにおいては、市内15か所を各施設を1週間ごとに巡回し、図書の貸出や回収を行っている。また、未巡回地区の巡回経路・所要時間等を検討調査した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	2,048
②	249	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	1,719
③									
								関連決算額合計	3,767

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	幼児・児童の減少傾向から自動車文庫の貸出冊数は減少しているが、地区巡回サービスの貸出冊数は増えている。 また、図書館から遠隔地の市民への利便性を高め、市民の読書活動を幅広く推進するためにも、今後も継続して取り組む。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	自動車文庫・地区巡回サービスの充実事業

今後の方向性

自動車文庫は学校との連携により、利用度を上げる。保育園においては、保育園訪問の際に保育園への団体貸出を呼びかけることで、子ども達により多くの本を提供する。
地区巡回サービスにおいては、認知度を上げるための広報活動を行い、利用者増につなげる。
自動車文庫に新たなステーションを加えたり、地区巡回サービスのルートを見直すことで、より多くの市民に本の提供を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	4. 青少年の健全な育成

事業番号	D401	事務事業名	家庭教育の推進		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

子どもたちが健やかに成長する上では、家庭の果たす役割が重要であるが、近年核家族化や地域とのつながりの変化等により家庭の教育が大きく変化している。そのような中で、全ての親が安心して子育てできるよう学校・企業・地域・行政がそれぞれの役割を果たし、市全体で家庭への支援を行うことを目的とする。

実施状況

学校・PTA・子ども会育成連絡協議会や公立・法人立保育園の代表者で構成する「家庭教育推進会議」や保育園や主任児童委員、助産師などの実務者で構成される「家庭教育支援団体連絡会や庁内連絡会を開催し、「加賀市家庭教育支援計画」作成にあたり協議した。また、「加賀市家庭教育支援条例」に基づき「親の学びの講演会」、「親になるための講演会」や子育てについて不安を抱えている保護者等に助産師が育児について話をする「地域お出かけ支援隊事業」を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	255	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	606
②									
③									
								関連決算額合計	606

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

市全体が一体となって家庭教育や子育てを応援することで、子育てに不安や問題を持つ家庭への支援を行うことが出来る。また、そのことにより子どもの基本的な生活習慣や豊かな情操、社会的マナーが身に付き、子どもたちの健やかな成長に大きく寄与する。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	地域お出かけ支援隊事業 家庭教育の啓発・周知活動の推進事業

教育と福祉が連携を図り、妊娠期・乳幼児期から高校卒業、就労まで、いわゆる子育て時期に、不安や困り感を持っている家庭の子どもたちを支援するために、「加賀市家庭教育支援計画」を作成し、保育園等・学校、保護者、地域、事業者など関係する全ての団体に情報の発信を行い、家庭での子育ての支援を行う。

また、継続的に子育てについての「親の学びの講演会」や子育てについて不安を抱えている保護者等に助産師が育児について話をする「地域お出かけ支援隊事業」を実施する。

「親になるための講演会」については、高校生を対象にするために学校で講演会ができないか、学校と協議をする。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	4. 青少年の健全な育成

事業番号	D402	事務事業名	野外活動などの自然体験活動の推進		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

市内小学校高学年の児童が、自然に触れ合いながら野外活動を体験する宿泊を伴う自然体験活動を実施することで、自然を愛する意識を育成するとともに、集団生活を経験することによる社会性の育成を目指す。

実施状況

平成28年度は計17校が野外活動体験を行い、自然と触れ合える機会を得ることができた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	1	3	3	2	集団生活体験学習費	162
②									
③									
								関連決算額合計	162

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	児童にとって学校内だけでは得ることができない体験をすることができ、一定の成果はある。次年度以降も継続すべきものである。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	野外活動などの自然体験活動の推進事業

実施場所は要領に「原則、加賀市内」と定めているが、現状は小松市など市外の施設を多く使っている。要領からの逸脱を解消するため、平成30年度からは市内の施設の利用に限定する等対策を講じる必要がある。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	4. 青少年の健全な育成

事業番号	D403	事務事業名	いじめ・不登校の解消		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

加賀市内の小中学校での「いじめ」への対策として、全ての学校でアンケート調査や個人懇談等を頻繁に実施し、早期発見・早期対応を徹底する。また「不登校」への対策は、家庭訪問を繰り返すなど家庭と連携し教諭や友人との関わりを深めながら、別室登校、電話、迎えを行うなどのケアを行うことで改善を図る。
市内3校には「心の教室相談員」を配置し、また平成24年度からは児童生徒に対して心理検査を実施し、その分析結果を実践に反映させることで、問題行動や不登校の未然防止につなげ、学級集団状態の良好化を図りながら、諸問題の改善を目指す。

実施状況

各校において、いじめ防止基本方針の策定を進めた。その中で、いじめ発生時の外部人材を活用した対策チームの設置を検討するほか、いじめの未然防止のためアンケート調査や個人懇談、児童生徒会を活用する取り組みを実施、その成果を検証する体制を整えた。また、不登校への対策としても、年度当初の家庭訪問をするなど、きめ細かな生徒理解を進めた。一方で、市内3校に配置した「心の教室相談員」は教育相談担当教員と協力して児童生徒理解に取り組んだ。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	1	3	1	3	就学指導費	1,165
②	239	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	3,303
③									
								関連決算額合計	4,468

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	「いじめ」「不登校」への対応を進めた結果、その発生率を抑えることができた。今後も継続が必要である。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	いじめ・不登校の解消事業

「いじめ」「不登校」問題の未然防止にこれまで以上に力点を置くとともに、初期対応に遅れが生じないよう各校の取り組みを改善、検証する体制を強化する。また、「心の教室相談員」などの児童生徒理解の取り組みの情報交換も行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	4. 青少年の健全な育成

事業番号	D404	事務事業名	青少年育成センターの充実		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

加賀市内の青少年の健全育成を目指し、非行補導、教育相談、教育支援センターのぞみ教室（学校へ登校できない児童生徒のための学校復帰支援）の運営を行う
①補導巡視…地区指導員・育成センター職員による巡視指導
②教育相談…電話・面接等による教育相談、相談会の開催
③学校復帰支援…のぞみ教室の運営
④広報啓発…機関誌の発行

実施状況

平成28年度
①補導巡視…地区指導員延数（352人）・育成センター職員による巡視指導（81回）
②教育相談…電話・面接等による教育相談、相談会の開催（1,293件）
③学校復帰支援…のぞみ教室への通所述人員（1,193人）
④広報啓発…機関誌の発行　18回（のぞみ教室：13回・巡回指導：5回）

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	1	3	5	1	指導員賃金	16,804
②	239	一般会計	10	1	3	5	2	指導推進費	1,984
③									
								関連決算額合計	18,788

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

相談によるのぞみ教室の通所への動きがあること（家から出る）を最初のステップとし、教室での個別活動や集団活動から自己肯定感を高め、保健室や相談室への登校チャレンジを果たすケースもあった。
その結果、今年度、自分で奮起し学校へと完全復帰を果たした通室生は8人、高校進学をきっかけに復帰した生徒は9名いたことから、育成センターの最大の目標を達成していると思われる。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	青少年育成センターの充実事業

今後の方向性

保護者が仕事上送迎できないことで家から出れな児童生徒が多いことからセンター車による送迎も保護者と話の中で少しずつ対応している。送迎も含めた多角的な支援は心穏やかに過ごせる場が増えることに繋がり、「ひきこもり」などの改善の方向に進むと思われる。今後も、スクールソーシャルワーカーや子育て支援課との連携を密にして事業を進めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	4. 青少年の健全な育成

事業番号	D405	事務事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	係	学校指導係

目的・概要

児童生徒のいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動、子どもの貧困問題については、学校だけでは解決困難な場合が多いことから、スクールソーシャルワーカーが地域や関係機関と連携を図りながら問題の解決に向け取り組む。

実施状況

学校だけではなく、家庭、専門支援機関、行政機関など各機関の合計で1,159件の訪問を行い、これらの機関との連携、調整により問題の解決を進展させた。また、各学校へのアドバイス、状況確認を行うための訪問を年間で複数回計画し、実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	1	3	5	1	指導員賃金	16,804
②	239	一般会計	10	1	3	5	2	指導推進費	1,984
③									
								関連決算額合計	18,788

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	学校現場への負担が軽減し、改善に向かうケースも増え成果が大きい。				

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業

今後の方向性

アドバイス等のための全学校への訪問を、複数回定期的に実施し、学校の指導力を高めていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	D_文化・教育
施　策	4. 青少年の健全な育成

事業番号	D406	事務事業名	青少年健全育成の推進		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

携帯電話やスマートフォン等の情報機器や有害図書など、青少年を取り巻く問題を解決することで、青少年の
健全育成を図る。

実施状況

青少年育成協議会の開催の他に、県主催の研修会等に参加して青少年を取り巻く社会情勢の動向を学び、青少年育成に関係する団体と情報の共有を図った。また、「かがっ子ノー携帯、ノースマホ運動」を展開するとともに市内の小中学生のスマートフォン等の利用に関する実態を把握するためにアンケート調査を実施した。グッドマナーキャンペーンでは、学校や保育園、駅などで挨拶やマナーの声かけを行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	255	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	112
②									
③									
								関連決算額合計	112

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	
	有害図書に関しては、問題事項の発生がない。 携帯電話やスマートフォン等の情報機器は、使い方によって、事故やトラブルに巻き込まれるケースがあり、ネット被害から子どもたちを守るため青少年育成協議会が核となり、「かがっ子ノー携帯・ノースマホ運動」を展開し、適切な使用や家庭内でのルールづくりを呼びかけた。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	青少年健全育成の推進事業

情報機器については、日々機能が更新されており、また、こどもたちの所持率も増加が予想され、今後も更に継続して、携帯電話やスマートフォン等の情報機器の正しい使い方についての啓発活動を進めていく必要がある。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	E_都市基盤
施　策	1．安全な地域社会の形成

事業番号	E101	事務事業名	消防施設・設備整備		
所管部局	消防本部	所管課	消防総務課	係	総務係

目的・概要

大規模災害が発生した場合の災害活動拠点となる施設・設備の安全性・耐震性を確保し、もって被害の軽減及び住民の安全を確保できるよう、防災機能向上を図ることを目的とする。

実施状況

老朽化し、水漏れ等が発生している消防本部屋上について、消防本部棟の一部と通信指令室棟部分の屋上防水工事を実施した。（残りの消防本部棟屋上は平成29年度実施予定）
平成29年度に計画している片山津分署の耐震・改修工事設計業務について予算計上するために市関係部局と協議を実施した。なお、消防5署所（消防署、大聖寺分署、片山津分署、山代分署、山中分署）の耐震化については、平成24年度までに片山津分署を除く4署所が完了しており、平成26年度に片山津分署の耐震診断を実施している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	227	一般会計	9	1	3	3	6	庁舎等施設整備費	4,239
②									
③									
								関連決算額合計	4,239

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	災害への迅速かつ適切な活動及び対応には耐震基準を満たしていない署所の耐震補強をはじめとする消防施設・設備の機能向上や機能維持は不可欠であり、本事業を継続する。				

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	消防施設・設備整備事業

消防5署所全ての耐震化を実施する。また、署所を適正に維持管理することにより、防災機能の向上を図り、もって市民の安心安全を確保する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	E_都市基盤
施　策	1．安全な地域社会の形成

事業番号	E102	事務事業名	消防車両整備		
所管部局	消防本部	所管課	消防総務課	係	総務係

目的・概要

災害等の発生に備えて、老朽化した消防車両を計画的に更新配備することにより、安心安全な地域社会を形成することを目的とする。

実施状況

消防署に配備されている救助工作車（平成8年度整備）を国庫補助事業により更新整備した。山代第2分団、山中第4分団に配備されている消防ポンプ自動車2台を更新整備した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	227	一般会計	9	1	3	3	2	消防車両整備費	111,982
②									
③									
								関連決算額合計	111,982

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	高い機動力をもって迅速かつ的確に災害活動や対応にあたるため、各消防車両を適正に管理整備していくことは不可欠であり、本事業を継続する。

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	消防車両整備事業

今後の方向性

これまでの事業の継続と、今後も適切な更新計画により、車両整備計画を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【重点】

政　策（分野）	E_都市基盤
施　策	1．安全な地域社会の形成

事業番号	E103	事務事業名	放水器具購入助成		
所管部局	消防本部	所管課	警防課	係	警防係

目的・概要

火災の被害を最小限に抑えるには、初期消火が最も効果的であり、防火・防災意識の高揚と防災体制の確立を図るため、消防施設の新設、改良に対して必要な事業について補助事業を行う。

実施状況

各町内からの申請に基づき、必要に応じて現地調査を行い補助実施の要件について審査する。必要と認めるものについては、「加賀市消防施設整備事業補助金交付要領」に基づいて、消防器具及び設備の補助を行う。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	227	一般会計	9	1	3	3	5	自衛消防装備整備	2,760
②									
③									
								関連決算額合計	2,760

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	この事業は、市内の各町内会が自主防災の観点から自主的に消防器具を整備し、火災などに備えるための補助事業で、この事業に対し多くの町内会から要望があることは、自主防災意識の高揚が認められる。

今後の方向性

第2次総合計画　前期実施計画「加賀躍進プロジェクト」に向けて	継続性（有/無）	有	継続する事務事業名	放水器具購入助成事業

事業の継続は、減災の観点からも重要であり、今後も現地調査を行い補助の可否や優先度などで決定し、公平で効果的な事業を実施する。また、消火栓の取り扱い講習をはじめ、自主防火訓練の実施などで事業効果を上げ、さらなる自主防火組織の強化を図る。

平　成　28　年　度　決　算

内　部　評　価　報　告　書

【公の施設】

加　賀　市

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市美術館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	23,739

事業番号	A01	事務事業名	加賀市美術館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

加賀市の玄関口であるJR加賀温泉駅前にある総合美術館として、観光客に加賀市の伝統工芸や美術文化を紹介するとともに、児童生徒の情操教育や市民が身近に美術に触れる場としての役割を担う。

実施状況

施設の運営、維持管理等の委託を行い、市民の美術に対する関心を高め、その知識の普及および教養の向上を図り、芸術文化活動の発展に努めた。具体的には各美術団体との共催展や企画展を開催したほか、郷土作家を紹介する常設展を年間を通じて開催。また、夏休みの児童生徒対象の教室や市民の発表の機会である貸館展示も開催した。さらに、郷土出身の鉄打出しの名工山田宗美没後100年を記念した特別展を開催し、多くの来場者を集めた。加賀市ゆかりの美術工芸作家の顕彰と情報発信を大規模に行うことで、観光誘客、地域の芸術文化の振興に寄与した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	8	1	管理委託費	23,739
②	164	一般会計	10	5	3	8	2	維持補修費	2,400
③	164	一般会計	10	5	3	8	6	企画事業費	2,000
								関連決算額合計	28,139

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	16	△	2	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	8	△	3	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。特別展を開催することで入館者の増加につながったが、今後も市民や観光客の関心を集める事業を企画することを期待する。

今後の方向性

JR加賀温泉駅前にあり、市民にとって交通の便もよく、また観光客の入り込みも十分見込める立地条件であることから、より魅力あり事業展開を推進するとともに、適切な施設管理を行っていく。平成29年度においては、開館20周年にあたり、これを記念して郷土出身画家である森本仁平の比較的大きな展覧会を開催する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	中谷宇吉郎雪の科学館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社・I Love 加賀ネットグループ		
指定期間	H27.4.1～H32.3.31	指定管理委託料（千円）	19,167

事業番号	A02	事務事業名	中谷宇吉郎雪の科学館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

加賀市が生んだ雪博士中谷宇吉郎の業績を広く紹介するとともに、身近な雪や氷を通して特に児童生徒に科学に関心を持ってもらえるような事業を開催する。また、観光施設として加賀市を訪れる観光客に満足してもらえるような展示、事業を展開する。
隔年で開催している雪のデザイン賞作品募集事業等を通じて国内外に中谷宇吉郎雪の科学館を発信する。

実施状況

科学普及事業として年間8回の子ども雪博士教室や企画展を開催したほか第9回目となる雪のデザイン賞の作品募集を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	7	1	管理委託費	19,167
②	164	一般会計	10	5	3	7	2	維持補修費	1,716
③	164	一般会計	10	5	3	7	3	運営費	2
								関連決算額合計	20,885

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。来館者への実験解説等サービス向上にも努力し、来館者からの高評価につながっている。

今後の方向性

時宜にかなった魅力的な事業の実施と継続的な科学普及事業を開催することで、若い世代の理解離れを減らし、また、中谷宇吉郎の人物と業績を継続的に情報発信していく。幅広い年代が楽しめる加賀市にしかない特徴的な科学館として観光客にもPRにつとめ入館者の増加につなげる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	北前船の里資料館		
（指定）管理者			
指定期間		指定管理委託料（千円）	

事業番号	A03	事務事業名	北前船の里資料館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

全国的にも稀な北前船主を多く輩出した、船主のふるさと加賀橋立とあわせて北前船の専門資料館として発信する。ふるさと学習の面から児童生徒への学習の機会を提供するとともに、観光施設としての情報発信を行い、より多くの観光客に訪れてもらう。また、文化財建造物の保護の観点から、適正な管理を行う。

実施状況

加賀市有形文化財に指定されている歴史的な建物であることから、文化財保護課と情報を共有し、適切な維持管理を行い、北前船専門の資料館としてテーマを設けて企画展を開催。また、全国北前船研究会との共催で全国北前船セミナーを開催している。さらに、オリジナルミュージアムグッズとしてクリアファイルと一筆箋を製作、販売し一層の魅力向上に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	6	1	管理委託費	6,630
②	164	一般会計	10	5	3	6	2	維持補修費	624
③	164	一般会計	10	5	3	6	3	運営費	319
④	164	一般会計	10	5	3	6	4	光熱水費	651
⑤	164	一般会計	10	5	3	6	5	その他管理費	274
⑥	164	一般会計	10	5	3	6	6	企画事業費	652
⑦	164	一般会計	10	5	3	18	1	北前船の里資料館整備事業費	5,887
								関連決算額合計	15,037

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○		△		×		優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○		△		×		

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	適正な施設管理を行うとともに、市の観光・教育施策の方針に対応した運営を行っている。北前船に関する企画展の実施やボランティア解説員による解説案内の提供等により、観光客へのサービス向上に努めている。

今後の方向性

北前船を加賀市における重要な観光資源ととらえ、より効果的な情報発信をしていく。老朽化する建物を、歴史的な価値を損なうことなく適切に管理し整備活用していくとともに、増加しているインバウンドに対応した情報発信も検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	石川県九谷焼美術館		
（指定）管理者	加賀市		
指定期間		指定管理委託料（千円）	

事業番号	A04	事務事業名	九谷焼美術館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

郷土の誇りである伝統工芸「九谷焼」の歴史や存在意義を市内外に宣伝・発信することで、文化的愛好層を広め観光振興ひいては地場産業九谷焼の振興・発展につなげ、当市のアイデンティティ形成に寄与する。
当館が魅力あふれる展開をすることによって、訪れた観光客や観光業者に満足を与え、リピーターや高い評判を全国的に得ることが予想される。教育面では市民や子どもたちはわが街の誇りとして「九谷焼美術館」をあげ、加賀市の文化都市、観光都市としての大きなアイデンティティが確立する。

実施状況

開館14年となり、当館が九谷焼をPRする中核施設であることは、さまざまな活動によりすでに県内外で認められるようになっている。県外観光客の入館も、従来の関西圏、中京圏のみならず、北陸新幹線金沢開業が追い風となり、首都圏からの来館者が増えてきている。
「加賀市は九谷焼発祥の地」をモットーに当館の企画事業を発信しつづけた成果と捉えられる。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	5	1	管理委託費	20,109
②	164	一般会計	10	5	3	5	2	維持補修費	3,312
③	164	一般会計	10	5	3	5	3	美術品購入費	7,320
④	164	一般会計	10	5	3	5	4	運営費	6,885
⑤	164	一般会計	10	5	3	5	5	光熱水費	5,449
⑥	164	一般会計	10	5	3	5	6	その他管理費	674
⑦	164	一般会計	10	5	3	5	7	企画事業費	2,985
								関連決算額合計	46,734

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○		△		×		優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○		△		×		

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	九谷焼をPRする中核施設として、適切な管理運営を行っている。 費用対効果も、県内に設置された県立市営の博物館施設と比較して、大幅に低額な予算で運営しており、非常に高い。

今後の方向性

平成28年度は、北陸新幹線金沢開業効果による波及効果が弱まり前年度の実績を下回る結果となったが、新館長を迎え、運営委員会を発足させるなど、運営体制を整えた年でもあった。
平成29年度は開館15周年にあたり、魅力ある企画展の開催により、集客力を高める。記念展として、全国的に知名度の高い「魯山人と初代須田菁華」および「九谷焼にみる絵画性」をテーマとする2つの企画展を開催。さらに日本陶磁協会と協力して現代陶芸の公募展を新規に実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	魯山人寓居跡いろは草庵		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	12,900

事業番号	A05	事務事業名	魯山人寓居跡いろは草庵管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

北大路魯山人が山代温泉を訪れ、滞在した吉野屋の別荘である建物のうち仕事部屋、書斎、囲炉裏などを当時のままに公開している。魯山人の陶磁器、書、絵画や山代温泉ゆかりの作品を展示し、情報発信する。

実施状況

施設の管理運営の委託を行い、魯山人や山代温泉との関わりについての企画展等を開催、情報発信した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	10	1	管理委託費	12,900
②	164	一般会計	10	5	3	10	2	維持補修費	0
③									
								関連決算額合計	12,900

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	10	△	1	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。来館者へのサービスや解説案内も概ね好評であり、満足度向上につながっている。学芸的業務のレベルアップを期待する。

今後の方向性

山代温泉の中心部に近い立地から、観光客のニーズに応じた企画展や館の特色を活かした事業を行い、観光協会や旅館組合等とも連携を図ることで、更なる入館者の増加を目指す。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	九谷焼窯跡展示館		
（指定）管理者	加賀九谷陶磁器協同組合		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	13,783

事業番号	A06	事務事業名	九谷焼窯跡展示館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

再興九谷吉田屋窯以来の窯跡を発掘整備し、調査状況をそのまま公開している展示館として、九谷焼の制作工程や歴史を常設展や年4回の企画展で紹介。九谷焼発祥の地 加賀市を情報発信する。あわせて蹴ロクロ体験や絵付け体験ができる施設であり観光施設としての魅力も発信する。

実施状況

施設の運営、維持管理等の委託を行い、市民や観光客等の九谷焼に対する関心と理解を高め、普及につとめた。年間4回の企画展を開催したほか、体験事業として蹴ロクロ体験、絵付け体験を行っている。また、ふるさと学習として、市内の小学校からの見学を受け入れている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費	13,783
②	164	一般会計	10	5	3	9	2	維持補修費	572
③									
								関連決算額合計	14,355

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理、運営を行っている。九谷焼を理解してもらうための企画展や、窯焚き、体験事業等を行っているほか、館内スタンプラリーの実施やグッズ制作など、より魅力的な事業を積極的に実施し、来館者の満足度の向上やリピーターの増加につながっている。

今後の方向性

国指定史跡の窯跡をはじめ、九谷焼お歴史や作品を深く知ることができ、また、体験施設としての独自性を強調し、その魅力をより情報発信することで入館者の増加につなげる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	深田久弥山の文化館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人深田久弥と山の文化を愛する会		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	7,600

事業番号	A07	事務事業名	深田久弥山の文化館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

加賀市が生んだ山の文学者 深田久弥の業績や山の魅力、文化を紹介することを目的とする。

実施状況

常設展示室で深田久弥の業績を紹介しているほか、毎月の「聞こう会（ミニ講演会）」の開催、「ふるさとの自然ふれあいコンクール」募集、審査、展示事業を実施している。
深田久弥山の文化館の情報発信のひとつとして、また、深田久弥ゆかりの地 加賀市のブランド力を強化するため、久弥ゆかりの山である富士写ヶ岳ガイドマップを作成したほか、有志により山頂に方位盤を設置した。さらに、増え続ける資料を保管し公開するための施設増設に係る実施設計を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	113
②	164	一般会計	10	5	3	11	1	管理委託費	7,600
③	164	一般会計	10	5	3	11	2	維持補修費	0
④	164	一般会計	10	5	3	18	3	深田久弥山の文化館整備事業費	1,275
								関連決算額合計	8,988

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	13	△	5	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	8	△	3	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づいた運営、管理は概ねよいが、事務の改善は必要。対外的には深田久弥及び生誕地加賀市の積極的なPR活動を行っている。

今後の方向性

8月11日の山の日にちなみ、山の文学者深田久弥の魅力を発信して加賀市への誘客につなげる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中温泉芭蕉の館		
（指定）管理者	芭蕉の館		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	3,650千円

事業番号	A08	事務事業名	山中温泉芭蕉の館管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

山中温泉の歴史的な建造物を保存活用し、温泉街の景観造成を図り、市民の文化活動と観光振興に資する。

実施状況

山中温泉と松尾芭蕉に関する常設展示や企画展、俳句に関する講習会、コンサート等を開催し、文化の振興、交流の場として多くの観光客や市民に活用されている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	221	一般会計	10	5	3	20	1	管理委託費	3,650
②	221	一般会計	10	5	3	20	2	その他管理費	96
③	221	一般会計	10	5	3	20	3	維持補修費	100
								関連決算額合計	3,846

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき概ね適正な管理を行っている。 自主事業にも積極的に取組んでおり、企画展の実施、館所蔵資料の充実にも取り組んでいる。

今後の方向性

市民の文化活動及び観光交流の振興を図るため施設として更に利用促進されるよう管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	鴨池観察館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H29.4.1～H35.3.31	指定管理委託料（千円）	

事業番号	A09	事務事業名	鴨池観察館管理		
所管部局	経済環境部	所管課	環境政策課	係	環境政策係

目的・概要

来館者の野鳥をはじめとする自然観察等を通じて、自然保護の知識の普及や意識の向上、ラムサール条約登録湿地の片野鴨池を周辺住民とともに保全することを目的としている。

実施状況

ラムサール条約登録湿地の貴重な資源を活用した自然体験プログラムや保全活動などの実施により、館の設置目的に沿った適正な施設管理を、加賀市総合サービス株式会社に運営委託している。
平成28年度より小学生向けの「土曜日の研究室」や写真展「江沼の鳥」の開催など新たな事業を実施し、集客を図っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	193	一般会計	4	2	6	2	3	管理委託費	15,670
②	193	一般会計	4	2	6	2	4	その他管理費	3,360
③	193	一般会計	4	2	6	2	5	維持補修費	225
								関連決算額合計	19,255

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	10	△	1	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
近年、減少傾向であった入館者数の増加に向けて努力している。

今後の方向性

指定管理者に対して、市民のニーズに応じたより良いサービスと環境教育の機会を提供するとともに、市内外からのリピーターを増やし、片野鴨池の生態系を守り育てていける安定した施設運営ができるよう管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀体育館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	13,000

事業番号	B01	事務事業名	加賀体育館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

様々なスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

様々なスポーツのための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事として、屋外階段腐食部分取替、正面玄関自動ドア修繕、男女シャワー温水化工事、シャワー用カーテン等取替工事、シャワールームガスメータ取付け工事を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	1	1	管理委託費	13,000
②	260	一般会計	10	6	6	1	2	維持補修費	877
③	260	一般会計	10	6	6	20	4	加賀体育館整備費	1,402
								関連決算額合計	15,279

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
施設を利用して、障がい者を対象とした健康教室を実施しているが、これは大いに評価したい。このように利用者に対するサービスにも積極的に取り組んでいる。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対し更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市武道館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	900

事業番号	B02	事務事業名	武道館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

柔道・剣道・弓道など、それぞれの武道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

柔道・剣道・弓道のための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	11	1	管理委託費	900
②									
③									
								関連決算額合計	900

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービスにも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対し更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	大聖寺グラウンド		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	500

事業番号	B03	事務事業名	大聖寺グラウンド管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

少年サッカーやソフトボール競技など、それぞれのスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

少年サッカーや少年野球、ソフトボール競技のための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事として、夜間照明用タイマー修繕を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,000
②	260	一般会計	10	6	6	18	2	維持管理費	13
③									
								関連決算額合計	1,013

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービスにも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	大聖寺テニスコート		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	500

事業番号	B04	事務事業名	大聖寺テニスコート管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

テニス競技のための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事としては、夜間照明修繕を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,000
②	260	一般会計	10	6	6	18	2	維持補修費	151
③									
								関連決算額合計	1,151

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
利用者に対するサービスにも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市陸上競技場		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	8,700

事業番号	B05	事務事業名	陸上競技場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

陸上競技やサッカーなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

陸上競技やサッカーなどの競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	7	1	管理委託費	8,700
②	260	一般会計	10	6	6	7	2	維持補修費	139
③									
								関連決算額合計	8,839

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
主な利用者である陸上競技とサッカー競技の利用者について、利用の棲み分けができるよう工夫するなど利用者に対するサービスにも積極的に取り組んでいる。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスと自主事業を提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市相撲場		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	6,500

事業番号	B06	事務事業名	相撲場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

少年相撲競技等を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

少年相撲競技競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,000
②									
③									
								関連決算額合計	1,000

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	13	△	3	×	2	可
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っているが、清掃や整理整頓について、不十分な点があった。。
上記の点及び利用者に対するサービスについて強く指導した結果、改善が見られた。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスと自主事業を提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市スポーツセンター		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	16,810

事業番号	B07	事務事業名	スポーツセンター管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

様々なスポーツのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事としては九―ビクル修繕工事、チーリングユニット・換気修繕、エアインバーター取替工事、合併浄化槽流入ポンプ取替工事を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	10	1	管理委託費	16,810
②	260	一般会計	10	6	6	10	2	維持補修費	9,568
③									
								関連決算額合計	26,378

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	16	△	2	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
これまで見逃されてきた細かい修繕個所についても、自主的に修繕するようになってきており、利用者に対するサービスにも積極的に取り組む方向に改善が見られている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	中央公園体育館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	6,700

事業番号	B08	事務事業名	中央公園体育館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

様々なスポーツのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事としては、雨樋修繕、テレビアンテナ撤去を行った。また、耐震診断も併せて行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	12	1	管理委託費	6,700
②	260	一般会計	10	6	6	12	2	維持補修費	419
③	260	一般会計	10	6	6	12	3	その他管理費	1,901
								関連決算額合計	9,020

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービスにも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

平成29年6月をもって体育施設を廃止し、その後、子供の遊び場のための施設になる予定。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中健民体育館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	14,500

事業番号	B09	事務事業名	山中健民体育館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

様々なスポーツのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事としては、バスケットゴール取替工事、合併処理槽電気配線改修、屋外倉庫屋根葺き替え工事、枯れ木伐採委託を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	13	1	管理委託費	14,500
②	260	一般会計	10	6	6	13	2	維持補修費	1,188
③	260	一般会計	10	6	6	20	9	山中健民体育館整備費	4,536
								関連決算額合計	20,224

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	16	△	2	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
備品管理等に不適切なものがあったが、それを指摘し、指導したことにより改善が見られた。
また、合宿誘致を受け入れるなど利用者に対するサービスには積極的に取り組み利用促進に努めている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中武道館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	1,200

事業番号	B10	事務事業名	山中武道館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

柔道・剣道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

柔道・剣道のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	14	1	管理委託費	1,200
②									
③									
								関連決算額合計	1,200

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 地元だけでなく、他県の合宿も受け入れて利用促進を図っている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中弓道館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	700

事業番号	B11	事務事業名	山中弓道館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

弓道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

弓道のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	16	1	管理委託費	700
②									
③									
								関連決算額合計	700

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 特に利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市中央公園野球場		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	9,300

事業番号	B12	事務事業名	中央公園野球場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

少年野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事として、水漏れなどで傷んだ天井を中心とした内装修繕を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	3	1	管理委託費	9,300
②	260	一般会計	10	6	6	3	2	維持補修費	259
③									
								関連決算額合計	9,559

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
これまでグラウンドの整備不良、傷んだ備品の長期使用など課題が山積していたが、必要な個所に土をいれたり、ベースなど利用者が使用するために必要な備品を更新したりと、徐々に改善してきている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中球場		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	4,000

事業番号	B13	事務事業名	山中球場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

少年野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	17	1	管理委託費	4,000
②									
③									
								関連決算額合計	4,000

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 特に、利用団体によるグラウンド整備は秀逸で、適切な施設管理がなされている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市片山津野球場・加賀市ソフトボール場		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	6,500

事業番号	B14	事務事業名	片山津野球場・ソフトボール場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

少年野球やソフトボールなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

少年野球などのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技などによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事としては、ソフトボール場ベンチ屋根修繕工事を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	2,000
②	260	一般会計	10	6	6	18	2	維持補修費費	207
③									
								関連決算額合計	2,207

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	16	△	1	×	1	可
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 施設管理については、グラウンドの土の入れ替えなど整備に課題を残している。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山代グラウンド・動橋グラウンド		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	6,500

事業番号	B15	事務事業名	グラウンド（山代・動橋）管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

少年野球などの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

少年野球などのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技などによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	2,000
②									
③									
								関連決算額合計	2,000

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
特に、動橋グラウンドは利用団体による清掃を自主的に行うなど適切な施設管理がなされている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市中央公園テニスコート		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	6,500

事業番号	B16	事務事業名	中央公園テニスコート管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

テニス競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、テニス競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事として、コート内へ出入りするスチールドアの取替修繕を行った。
このほか備品として、軟式テニス、硬式テニスのそれぞれのネットとコートブラシを購入した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,500
②	260	一般会計	10	6	6	18	2	維持補修費	411
③									
								関連決算額合計	1,911

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービスにも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対し更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	水泳プール		
（指定）管理者	エイム株式会社		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	21,600

事業番号	B17	事務事業名	水泳プール管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ推進係

目的・概要

水泳競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

水泳競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、水泳競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
修繕工事としては、天井材の老朽化による部分的落下があったことから、天井の全面撤去工事を行った。また、これに伴う休館への補償費も支払っている。
そのほか屋外プール給水加圧ポンプユニット更新工事、消防設備改修工事、屋外プール合併処理施設修繕、屋内プールシャワー混合栓修繕、屋内プールシャワー配管取替工事、屋内プール、男子シャワー外付け配管、屋外プール濾過ポンプ修繕、屋内プール給湯昇温ポンプ取替工事を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	2	1	管理委託費	21,600
②	260	一般会計	10	6	6	2	2	維持補修費	4,183
③	260	一般会計	10	6	6	2	3	その他管理費	2,100
④	260	一般会計	10	6	6	20	11	水泳プール整備費	6,134
								関連決算額合計	34,017

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
利用者を対象とした自主事業を積極的に行っているほか、施設管理についても、自主的に修繕を積極的に行っている。また、コース管理についても、きめ細かな配慮をしており、利用者から好評を得ていることから、高く評価している。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対し更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	いきいきランドかが		
（指定）管理者	（株）エイム		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	0

事業番号	B18	事務事業名	いきいきランドかが管理		
所管部局	市民生活部	所管課	生活安全課	係	生活安全係

目的・概要

市民の保養と健康増進を図るとともに、福祉の向上と地域振興に資することを目的としている。

実施状況

（株）エイムを指定管理者として、環境美化センターの余熱を利用した市民等への入浴施設、体育施設の提供及び各施設の維持管理等の運営委託を行い、市民の健康増進や市民サービスの向上、施設の適正管理に努めた。
また、平成28年度は、環境美化センターの余熱を供給するための高温水配管継手部の修繕工事と平成29年度に予定している施設の大規模修繕工事に係る実施設計業務を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	84	一般会計	4	1	2	3	3	その他管理費	131
②	84	一般会計	4	1	2	3	4	維持補修費	6,296
③	84	一般会計	4	1	2	6	1	いきいきランドかが整備費	3,123
								関連決算額合計	9,550

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	38	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	19	△	1	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき適正な施設管理を行っている。
利用者増加にも努めているとともに、利用者への運動指導等の健康増進にも積極的に取り組んでいる。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民へのより良いサービスやメニューを提供すること、また、スポーツ課、健康課と連携した事業を行うことについて、管理指導を実施する。
設置から18年以上が経過し、特に機械設備等の劣化が著しいため、大規模改修工事を計画しており、平成29年度は1カ月間休館しての改修工事、平成30年度は休館を伴わない設備の改修工事を予定している。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中温泉ゆけむり健康村		
（指定）管理者	株式会社コーワ		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	44,000千円

事業番号	B19	事務事業名	山中温泉ゆけむり健康村管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

市民の保養と健康増進、福祉の向上及び観光振興に寄与し、並びに一般道路利用者に対し、良好な休憩の場及び道路情報を提供する。
指定管理者委託により山中温泉ゆけむり健康村を適正に管理する。

実施状況

利用者は、市民、観光客と幅広く年間約25万の利用者がある。平成26年度から新しい指定管理者の営業努力により利用客数の減少に歯止めをかけるとともに、自主事業も積極的に行い、収支状況も改善されている。
温泉を利用した温浴施設とスポーツ施設を備えた複合型施設となっており、健康増進と憩いの場として活用している。
道の駅の物販施設では地元農産物や特産品を多数販売し、観光振興、地域振興に貢献する施設となっている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	218	一般会計	7	2	3	11	1	管理委託費	44,178
②	218	一般会計	7	2	3	11	2	その他管理費	146
③	218	一般会計	7	2	3	11	3	維持補修費	9,177
								関連決算額合計	53,501

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき概ね適正な管理を行っている。 自主事業にも積極的に取組んでおり、利用者増とサービス向上に努めている。

今後の方向性

指定管理者は、複数の温浴施設の指定管理を請け負っており、これらの施設運営のノウハウを生かした新しいアイデアによる運営を行っている。さらに利用者増とサービス向上のため協力し施設運営を行う。
また、施設は25年以上経過し老朽化が進んでいる。大規模改修を見据えた施設の計画的な修繕、改修を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	橋立自然公園運動広場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	1,000

事業番号	B20	事務事業名	橋立自然公園運動広場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ課	係	スポーツ振興係

目的・概要

少年サッカーやグラウンドゴルフなど、青少年から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

少年サッカーの試合や練習および地元グラウンドゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。
少年サッカーじょうとしての利便性をたかめるため一部拡幅工事を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,000
②	260	一般会計	10	6	6	20	10	橋立自然公園運動広場整備費	12,852
③									
								関連決算額合計	13,852

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 無料で利用している地元グラウンドゴルフ愛好者については、広場の草刈りを依頼するなどの工夫を行い、適正な施設管理に努めている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対し更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市セミナーハウスあいりす		
（指定）管理者	Paradies・のと楽・仁志会グループ		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	12,285千円

事業番号	C01	事務事業名	セミナーハウスあいりす管理		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	生涯学習係

目的・概要

市民に生涯学習推進の場を提供するとともに、あいりすの適正管理・有効活用のため指定管理者と連携して、利用者のさらなる増加を目指す。

実施状況

企業の研修や大ホールの利用が減少したため、利用者数が減少した。しかし、新規の自主事業の企画やホー
ムページによる情報発信に努めるとともに、積極的に企業や大学等に対する誘致活動を展開している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	5	3	3	1	管理委託費	12,285
②	252	一般会計	10	5	3	3	2	維持修繕費	5,103
③	252	一般会計	10	5	3	3	3	その他管理費	30
								関連決算額合計	17,418

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者増加にも努めている。

今後の方向性

ホームページによる情報発信や企業、団体、学校（大学、高校、中学）に対する誘致活動を積極的に展開する。また、魅力のある自主事業を企画・運営し、利用者の増数を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市文化会館		
（指定）管理者	株式会社コーワ		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	20,500

事業番号	C02	事務事業名	加賀市文化会館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	文化振興室

目的・概要

市民の文化の振興、教養の向上及び集会その他各種行事に使用し、もって市民の福祉の増進に資するため。

実施状況

指定管理者制度の導入により、音楽や伝統芸能等の自主事業やイベント等を開催し、利用者の増加に努め、積極的な営業活動により貸館事業の拡大も図っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	4	1	管理委託費	20,500
②	164	一般会計	10	5	3	4	2	維持補修費	459
③	164	一般会計	10	5	3	4	5	その他管理費	68
④	164	一般会計	10	5	3	14	2	文化会館整備事業費	47,128
								関連決算額合計	68,155

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	10	△	1	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき、管理運営、維持管理は適正に行われている。運営委員会を定期的に開催し、利用者の声を反映した事業の拡大に努めている。

今後の方向性

自主事業について、ロビーコンサート等を定期的に開催し、毎回工夫を凝らして集客を図っている。今後も継続して行うが、これに加えて営業活動も積極的に行い、集客効果のあるイベント等の誘致を検討していく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中温泉文化会館		
（指定）管理者	加賀市		
指定期間	―	指定管理委託料（千円）	―

事業番号	C03	事務事業名	山中温泉文化会館管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

市民の文化振興、集会、各種行事、及び地域住民のまちづくり活動の場として適正に使用できるように、維持管理する。

実施状況

市民の文化振興、集会、各種行事、及び地域住民のまちづくり活動の場として適正に使用できるように、維持管理している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	221	一般会計	10	5	3	19	1	光熱水費	4,473
②	221	一般会計	10	5	3	19	2	管理委託費	2,711
③	221	一般会計	10	5	3	19	3	その他管理費	331
④	221	一般会計	10	5	3	19	4	維持補修費	1,087
								関連決算額合計	8,602

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○		△		×		良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○		△		×		

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	市直営の施設なのでモニタリングは行っていないが、職員による適切な管理は実施されている。

今後の方向性

市民の文化振興、集会、各種行事、及び地域住民のまちづくり活動の場として適正に使用できるように、維持管理している。
平成23年度からは温泉地区の地区会館としても利用されており、地域住民の利用も多い。
施設は、40年以上経過しており老朽化が進んでおり、山中温泉文化会館の機能を含む複合施設の整備を検討するため、地元との調整を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中座		
（指定）管理者	山中温泉旅館協同組合		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	15,000千円

事業番号	C04	事務事業名	山中座管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

伝統芸能「山中節」を中心に郷土芸能と観光の振興を図る。

実施状況

山中節認定審査会、定期上演、舞初め鑑賞会等の各種イベント、山中節道場、カルチャー教室などを開催し、観光客、地元住民が利用している。
また、公演に出演する芸妓や座員らの育成の場としても活用している。
山中温泉の観光の中核施設として、漆器祭やこいこい祭に施設及び広場を全面的に開放し、賑わいを創出している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	218	一般会計	7	2	3	12	1	管理委託費	15,000
②	218	一般会計	7	2	3	12	2	その他管理費	16
③	218	一般会計	7	2	3	12	3	維持補修費	134
								関連決算額合計	15,150

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

指定事業部門においては、貸館事業は、利用者数は前年度比11.5%減となったが利用料金は前年度比8.4%減に止まった。また、もう一つの主要事業である山中座『四季の舞』上演事業については、予約上演利用者数が前年度比を56.5%減となったこと等が影響し、「四季の舞」上演全体利用者数は前年度比46.5%の減となった。自主事業として実施した企画公演は前年度比110.5%の増となった。
自主事業部門(物販等)で黒字計上をしており、全体的に収益がでており経営管理は良好と思われるが、先に述べたように利用者数が大きく減となり利用者数増になる対策が必要など解決すべき課題もあった。

今後の方向性

山中温泉旅館協同組合が指定管理事業者になったことから、より地域と連携した積極的な事業の展開が期待できる。
組合加入旅館を通じて宿泊客へ積極的な宣伝を行うなど利用者増に向けた努力を行っている。また、山代温泉、片山津温泉の観光客にも宣伝を行う等さらに利用数増に向けた取り組みを行う。
山中節『四季の舞』の内容についても、現行の問題点を洗い出し、演目や日時、料金等の設定を見直し、よりお客様を呼べる環境に変えていくことを検討している。
山中節の振興のために活動している「山中節振興会」と業務を連携、協働して裾野の維持・拡大を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市はづちを楽堂		
（指定）管理者	特定非営利活動法人　はづちを		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	4,800

事業番号	C05	事務事業名	はづちを楽堂管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進係

目的・概要

本施設は、2つの総湯を核とした湯の曲輪の賑わい創出の一助となるとともに、地域住民や観光客の世代間交流を図り、市民の福祉向上を図る。

実施状況

施設の運営・維持管理を指定管理として、特定非営利活動法人はづちを　に委託している。
指定管理者は、各種教室や会議のために研修室の貸し出しを行っている。また、自主事業として、土産物店の運営、ギャラリー展示、陶芸教室や朝市などのイベント実施を行い、地域福祉の向上及び湯の曲輪の賑わい創出に努めている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	159	一般会計	7	2	3	3	1	管理委託費	4,800
②	159	一般会計	7	2	3	3	2	その他管理費	46
③	159	一般会計	7	2	3	3	3	維持補修費	500
								関連決算額合計	5,346

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

施設の運営・維持管理を指定管理として、「特定非営利活動法人はづちを」に委託している。
指定管理者は、各種教室や会議のために研修室の貸し出しを行っている。また、自主事業として、土産物店の運営、ギャラリー展示、陶芸教室や朝市などのイベント実施を行い、地域福祉の向上及び湯の曲輪の賑わい創出に努めている。

今後の方向性

利用者数の目標数値達成のため、指定管理者の自主事業イベントの開催やご当地グルメ「加賀パフェ」の参加を通じて、湯の曲輪の賑わい創出に引き続き取り組んでいく。
また、池・水路や設備の老朽化に伴う修繕箇所が見当たることから、優先順位を指定管理者と確認した上で、大規模修繕を検討し、施設の適切な維持・管理を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	竹の浦館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人　竹の浦夢創塾		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	5,169

事業番号	C06	事務事業名	竹の浦館管理		
所管部局	経済環境部	所管課	農林水産課	係	農業政策係

目的・概要

豊かな自然環境及び伝統的食文化を生かして、都市と農村の交流促進及び農林水産業の振興を図る。

実施状況

施設の運営・維持管理等の委託を行い、加賀市の食文化の継承、農産物の地産地消に関するそば打ち、豆腐作り等の各種教室を開催し、10月には「竹の浦館ふれあいデー」を開催し、各種教室の体験やへしこ、豆腐の試食を行った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	183	一般会計	6	1	3	5	2	管理委託費	5,169
②	183	一般会計	6	1	3	5	3	その他管理費	62
③	183	一般会計	6	1	3	5	4	維持補修費	146
								関連決算額合計	5,377

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	36	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	20	△	2	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。

今後の方向性

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、指定管理者に対して、市民へのより良いサービスを提供するように、管理指導を実施し、自主事業においても日本遺産の認定を受けた北前船関連の観光資源も活用するなど、様々な取組みを実施し、来館者の増大に努める。

また、改築後10年以上を経過し、施設設備の修繕箇所が増えているため、施設設備の修繕・改修を計画的に実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	ろくろの里施設		
（指定）管理者	有限会社みやま		
指定期間	H27.4.1～H32.3.31	指定管理委託料（千円）	400千円

事業番号	C07	事務事業名	ろくろの里施設管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

地域資源の利活用、及び地域住民と都市住民との交流を促進し、地域の活性化を図る。

実施状況

各施設において、そば打ち・木地挽きろくろの各種体験や、飲食物、農産物・漆器工芸品の販売などに活用している。また、観光総合案内所としての機能も果たしている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	217	一般会計	7	1	4	1	1	光熱水費	47
②	217	一般会計	7	1	4	1	2	管理委託費	400
③	217	一般会計	7	1	4	1	3	その他管理費	203
④	217	一般会計	7	1	4	1	4	維持補修費	0
								関連決算額合計	650

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき概ね適正な管理を行っている。自主事業にも積極的に取組んでいる。

今後の方向性

他の施設の見学などをして、更に利用促進されるよう、積極的運営に取り組む。
温泉街にある観光施設と比較すると利用者数が少ないため、更に広報活動を行うなど利用者増に向けた取り組みを行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀山代温泉総湯		
（指定）管理者	加賀山代温泉財産区		
指定期間	H24.4.1～H29.4.1	指定管理委託料（千円）	0

事業番号	D01	事務事業名	山代温泉総湯管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進

目的・概要

市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域振興に寄与するためのもの。

実施状況

施設の運営・維持管理を指定管理として、加賀山代温泉財産区に委託し、指定管理者は総湯の管理運営・自主事業として売店の運営や休憩コーナーで観光案内を行い、公衆浴場として市民の健康増進と福祉の向上および地域の賑わい創出を図った。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	159	一般会計	7	2	3	6	2	その他管理費	182
②	159	一般会計	7	2	3	6	3	維持補修費	3,754
③									
								関連決算額合計	3,936

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理・運営を行っている。

今後の方向性

全体的な利用者が減少傾向にあるが、市民の健康増進と福祉の向上を図る施設であることから、継続して施設管理・運営を行う。加賀山代温泉財産区の財産である「古総湯」と一体的に管理運営し、利用促進を図っていく。

観光協会・旅館組合をはじめとする各種団体と連携しながら「湯の曲輪」の賑わい創出を図り利用促進につなげる。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀片山津温泉総湯公園		
（指定）管理者	株式会社岸グリーンサービス		
指定期間	H24.4.21～H29.3.31	指定管理委託料（千円）	0

事業番号	D02	事務事業名	片山津温泉総湯公園管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進

目的・概要

市民および観光客が集う憩いの場を提供するとともに、市民の健康増進と福祉の向上を図り、温泉地の賑わい創出に資するもの。

実施状況

施設の運営・維持管理を指定管理として、株式会社岸グリーンサービスに委託し、指定管理者は総湯公園の管理運営及び自主事業である「まちカフェ」の運営を行い、温泉街の賑わい創出につなげている。特に「まちカフェ」では、ご当地グルメである「加賀パフェ」を提供しており、人気商品の1つとなっている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	159	一般会計	7	2	3	8	2	その他管理費	89
②	159	一般会計	7	2	3	8	3	維持補修費	705
③									
								関連決算額合計	794

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	14	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき適正な施設管理を行っている。
利用促進につなげるため、積極的に情報発信しながら定期券の販売促進を行っている。
自主事業として運営する「まちカフェ」では、ご当地スイーツの「加賀パフェ」も提供しながら、独自に様々なフェアを開催することで利用者増加に努めている。

今後の方向性

総湯利用者数の数値目標を達成するための取り組みを行い、温泉地の賑わいの創出について指定管理者と協議しながら利用促進に努める。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀山中温泉共同浴場		
（指定）管理者	加賀山中温泉財産区		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	9,500千円

事業番号	D03	事務事業名	加賀山中温泉共同浴場管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

市民の健康増進と福祉向上を図り、加賀山中温泉共同浴場施設の適正、円滑な管理運営を行う。

実施状況

施設の維持管理経費を削減しつつ、質の高いサービスを提供している。
加賀山中温泉共同浴場(菊の湯)は、市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域振興に寄与することを目的とする施設であり、指定管理者制度を活用し、主に(1)共同浴場の運営、(2)共同浴場の施設及び設備の維持管理に関する業務を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	218	一般会計	7	2	3	15		菊の湯管理費	3,551
②	335	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	1	1	1	臨時職員給与費	5,010
③	336	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	1	光熱水費	49,179
④	336	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	2	その他管理費	46,727
⑤	336	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	3	維持補修費	1,022
								関連決算額合計	105,489

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書、仕様書に基づき、概ね適切な施設管理を行っている。
施設内に意見箱を設置し、利用者の意見をチェックし、改善可能なものは対応するように努めている。

今後の方向性

施設の安全利用につとめ、修繕箇所は早急に対処し、衛生面においても細心の注意を払って利用促進につとめていく。
施設の老朽化が進んでおり、大規模改修を見据えた設備の修繕、改修を計画的に実施していく。
引き続き、山中温泉旅館協同組合と協力し、各種温泉利用クーポン券の活用による菊の湯利用者数の拡大を図る。
自主事業として行っている菊の湯たまごの製造を継続実施し、財産区の収支の安定化を図っていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	瀬越キャンプ場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人　竹の浦夢創塾		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	503

事業番号	E01	事務事業名	瀬越キャンプ場管理		
所管部局	経済環境部	所管課	農林水産課	係	農業政策係

目的・概要

自然に親しむ野外活動の場を提供し、福祉の増進及び地域の発展を図るため。

実施状況

施設の維持管理等の委託を行い野外キャンプ等、自然に親しむ野外活動の場を提供し、市民の自然に対する意識向上、施設の適正管理に努めた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	183	一般会計	6	1	3	5	2	管理委託費	461
②	183	一般会計	6	1	3	5	3	その他管理費	42
③									
								関連決算額合計	503

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	36	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	20	△	2	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。

今後の方向性

主な施設を利用する団体（ボーイ・ガールスカウト）の会員数の減少等により、利用者が毎年減少している状況を踏まえ、指定管理者に対して、竹の浦館のイベント等の自主事業、ホームページ等も充実させ、館の魅力を向上させることで、キャンプ場利用者の増加も図っていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	高齢者ふれあいセンターみやま		
（指定）管理者	西谷宝寿会		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	475千円

事業番号	F01	事務事業名	高齢者ふれあいセンターみやま管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

高齢者のいきがいづくり及び健康増進を図り、高齢者福祉の向上に資する。

実施状況

高齢者対象の講座、ゲーム、体操等の各種行事を実施し、高齢者同士の交流の場として活用している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	217	一般会計	7	1	4	1	1	光熱水費	47
②	217	一般会計	7	1	4	1	2	管理委託費	400
③	217	一般会計	7	1	4	1	3	その他管理費	203
④	217	一般会計	7	1	4	1	4	維持補修費	0
								関連決算額合計	650

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき概ね適正な管理を行っている。 高齢者同士の交流の場となるよう様々な行事を実施している。

今後の方向性

引き続き高齢者のいきがいづくり及び健康増進を図り、高齢者福祉の向上に取り組むよう指定管理者に対し、適正な指導を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	高齢者ふれあいセンターゆざや		
（指定）管理者	加賀市社会福祉協議会		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	821千円

事業番号	F02	事務事業名	高齢者ふれあいセンターゆざや管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	係	総務係

目的・概要

高齢者のいきがいづくり及び健康増進を図り、福祉の向上に資する。

実施状況

高齢者を対象とした講座、各種クラブ、将棋等を実施し高齢者同士の交流の場として活用している。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	217	一般会計	3	1	5	9	1	管理委託費	821
②	217	一般会計	3	1	5	9	2	その他管理費	0
③	217	一般会計	3	1	5	9	3	維持補修費	0
								関連決算額合計	821

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	17	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	10	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書、仕様書に基づき概ね適正な管理を行っている。 高齢者同士の交流の場となるよう様々な行事を実施している。

今後の方向性

引き続き高齢者のいきがいづくり及び健康増進を図り、福祉の向上に取り組むよう指定管理者に対し、適正な指導を行う。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市観光情報センター		
（指定）管理者	一般社団法人　加賀市観光交流機構		
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	指定管理委託料（千円）	17,577

事業番号	G01	事務事業名	観光情報センター管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進係

目的・概要

多くの観光客が利用するJR加賀温泉駅構内に観光情報センターを設置し、市全域の観光案内を行うことで、観光客の利便性を高め、観光振興を図る。

実施状況

施設の管理運営を指定管理として、一般社団法人　加賀市観光交流機構に委託し、観光・接遇研修を積極的に受講した専門スタッフによるニーズに即した観光案内を行っている。
平成28年度は、36,500人の窓口問い合わせ、4,145件の電話問い合わせ実績があった。
また、観光情報サイトの運営も行っており、市内観光地を紹介するとともに、スタッフブログ更新などを通じて観光情報を提供している。平成27年度の閲覧数は、797,239件であった。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	159	一般会計	7	2	3	2	3	管理委託費	17,577
②	159	一般会計	7	2	3	4	1	観光情報センター整備費	0
③									
								関連決算額合計	17,577

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	18	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	0	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

協定書・仕様書に基づき適正な施設管理を行っている。
北陸新幹線金沢開業効果により外国人観光客が増加傾向にあることから、平成28年11月より英語以外の言語も堪能な外国人専門家の派遣を観光情報センターで受けている。

今後の方向性

加賀市観光情報センターの指定管理者である（一社）加賀市観光交流機構は、市内観光事業者はもとより農業や漁業、地場産業などが会員となり連携しながら情報を収集・提供するとともに、第3種観光業に登録し、企画旅行の募集も行うことができる。そのため、施設の設置目的を効果的、効率的に達成するには、本機構に管理運営をさせることが適当であり、今後も市と連携しながら観光振興を図る。
また、加賀温泉駅の新幹線工事に伴い、観光情報センターは平成29年5月に加賀温泉駅仮駅舎に仮事務所として移転している。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	橋立自然公園		
（指定）管理者	特定非営利活動法人　加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H28.4.1 ～ H33.3.31	指定管理委託料（千円）	4,400

事業番号	G02	事務事業名	橋立自然公園管理		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	係	都市整備係

目的・概要

橋立自然公園の自然環境保全と自然体験学習を通じた環境意識の向上を図るとともに、レクリエーションの場を提供する。管理運営は、民間事業者の知識、ノウハウを生かすために指定管理者が行う。

実施状況

公園内の除草や竹林整備等の保全活動と管理棟等の日常管理を行うとともに、「キノコ栽培体験」や「野鳥や昆虫の観察」などの自然学習プログラムを管理者が企画・運営した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	209	一般会計	8	5	6	3	1	管理委託費	4,400
②									
③									
								関連決算額合計	4,400

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	26	△	4	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	11	△	3	×	0	

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な管理運営がなされている。自然園を生かした自主事業を8回開催し139人の参加人数が確保されているが、利用者増加に向け更なる情報発信が必要である。

今後の方向性

来園者の要望に応じた自主事業の開催と情報発信を充実するように管理者と検討を行う。
また、本施設は完成後6年目を迎え、園路等について施設改修への対応が必要となってくるため、修繕・改修を計画的に実施する。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	中央図書館		
（指定）管理者	加賀市		
指定期間		指定管理委託料（千円）	

事業番号	G03	事務事業名	中央図書館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	中央図書館

目的・概要

市民の生涯学習活動を活発化し、市民の文化向上に貢献するため、施設を適正に管理し、資料の収集、分類、提供、相談、各種講座の開催に努める。
これにより、利用者の増加を図る。

実施状況

乳幼児、児童及び一般を対象とした事業の内容を充実したことにより、市民の生涯学習を支援した。施設整備については、閲覧室のLED化やソファーの入替を行い、利用者から館内が明るくなり快適になったとの声が多く聞かれた。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	5,266
②	252	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	3,766
③	252	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	279
④	252	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	1,388
⑤	252	一般会計	10	5	3	14	1	図書館整備事業費	4,995
								関連決算額合計	15,694

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○		△		×		良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○		△		×		

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

市民の生涯学習に対し、資料・情報の提供や相談対応などのさまざまな支援を行うと共に、祝日開館などで利便性を高めている。
また、講座や講演会については、新たに事業内容を充実したことにより、参加人数が増加した。

今後の方向性

人口減少、少子化の影響により、利用者数は減少傾向にあるが、利用者が快適に過ごせるよう施設改修の計画的実施や、魅力的な事業、資料の充実、サービスの向上などにより、利用増を図る。
更に、平成30年度予定するシステム更新に合わせ、誰でもが使いやすいホームページや様々な情報提供機能を持ったwebOPACなど、利用者の利便性の向上を図っていく。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中図書館		
（指定）管理者	加賀市		
指定期間		指定管理委託料（千円）	

事業番号	G04	事務事業名	山中図書館		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	係	山中図書館

目的・概要

市民の生涯学習活動を活発化し、市民の文化向上に貢献するため、施設を適正に管理し、資料の収集、分類、提供、相談、各種講座の開催に努める。
これにより、利用者の増加を図る。

実施状況

乳幼児、児童及び一般を対象とした事業を充実し、利用者の増加を図ると共に、市民の生涯学習を支援した。施設整備としては照明器具LED取替、ソファー生地張替を実施した。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	2,363
②	252	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	2,044
③	252	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	110
④	252	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	392
								関連決算額合計	4,909

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○		△		×		良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○		△		×		

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）

市民の生涯活動に対し、資料・情報の提供や相談対応などの支援並びに、祝日開館などで利便性を高めると共に、所蔵本展示の見直しや児童書等資料の充実を図った。
全体の貸出冊数は若干減少傾向にあるものの0歳から6歳の幼児の利用は増加した。

今後の方向性

人口減少、少子化の影響により、利用者数は減少傾向にあるが、施設改修の計画的実施や魅力的な事業、資料の充実、サービスの向上で魅力的な図書館とすることで、利用増を図る。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市高齢者健康プラザ		
(指定)管理者	社会福祉法人篤豊会		
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	指定管理委託料(千円)	1000

事業番号	G05	事務事業名	高齢者健康プラザ管理		
所管部局	健康福祉部	所管課	長寿課	係	高齢者支援係

目的・概要

市民に健康づくり活動の実践の場を提供することにより、心身の健康の保持及び増進を図る。また、高齢者においては、要介護状態になることを予防する場を提供する。

実施状況

市民への利便性と民間ノウハウによる経営を図るため、平成16年度から指定管理者制度の下に運営を行っている。
建物･設備の老朽化への対応として、平成23年度から修繕費を、人件費や備品修繕費等の経費の増大への対応として、平成27年度から委託料を計上している。

決算　(主要施策報告書との関連)

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	127	一般会計	3	1	5	7	1	その他管理費	2,479
②									
③									
								関連決算額合計	2,479

内部評価

モニタリング結果(指定管理施設のみ)							内部評価(優/良/可/不可)
維持管理(適正な施設の維持管理･運営がなされたか)	○	15	△	2	×	0	良
利用促進(施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	9	△	1	×	0	

評価に関するコメント(施設の設置目的に対し、(指定管理者)の運営･維持管理･サービス等は適正に行われたか)

協定書･仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。
利用者数は毎年増加しており、特に高齢者(60歳以上)の利用が増加している(平成28年度年間延利用者数54,158人、平成27年度年間延利用者数51,621人)。
地域支援事業の高齢者筋力トレーニング教室などの介護予防拠点としての事業も委託しており、事業としては高齢者の健康維持、体力維持につながっていると考えられる。

今後の方向性

年々利用者が増加している一方で、施設及びトレーニングマシーン等の設備の老朽化に伴い、修繕の必要性のある箇所が増えてきている。
今後、設備機器等の点検･整備を徹底し、計画的に修繕を行い、健康づくり活動実践の拠点施設としての役割を果たす。

平成29年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	越前加賀県境の館		
（指定）管理者	あわら市（事務管理委託先）→越前加賀県境の館管理運営委員会（あわら市より管理委託		
指定期間	H27.4.11～H31.3.31	指定管理委託料（千円）	

事業番号	G06	事務事業名	越前加賀県境の館管理		
所管部局	観光戦略部	所管課	観光交流課	係	観光推進係

目的・概要

石川県加賀市と福井県あわら市の県境に建ち、市民及び観光客に憩いの場を提供するとともに、広域的に観光情報を発信し、広域観光振興を図る。

実施状況

本施設は、加賀市があわら市に事務管理委託をし、あわら市が越前加賀県境の館運営管理委員会に指定管理委託をしている。指定管理料や修繕費は、面積按分の負担割合（あわら市70%、加賀市30%）としている。

平成27年4月11日に開館し、平成28年度は5,486人の来館があった。2県にまたがる周辺観光の拠点として、広域的な観光振興を行っている。

決算　（主要施策報告書との関連）

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	159	一般会計	7	2	3	9	1	その他管理費	972
②									
③									
								関連決算額合計	972

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○		△		×		良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○		△		×		

評価に関するコメント（施設の設置目的に対し、（指定管理者）の運営・維持管理・サービス等は適正に行われたか）	施設管理運営を通じて、広域的な連携の下に、越前加賀の広域的な観光資源や文化資源の情報発信と広域観光を促進する活動を行っている。

今後の方向性

広域観光の情報スポットとして観光情報を提供するほか、越前加賀の一向一揆や吉崎御坊などの歴史、周辺に生息する生き物などを紹介しており、その魅力をより情報発信することで施設利用者数を増加するよう努める。